

令和七年度

館山市学校教育のあらまし



館山市教育委員会

館 山 市 民 憲 章

青い海。

あざやかな緑。

すなおな人から。

わたくしたちは、この恵まれた郷土を愛し、
清新な希望とたくましい発展を求めて、ここに、
市民憲章を定めます。

わたしたち館山市民は

- 1 みんなで体力づくりにはげみましょう。
- 1 なごやかで明るい家庭をつくりましょう。
- 1 たがいにきまりを守りましょう。
- 1 すすんで親切をつくしましょう。
- 1 力をあわせて豊かな郷土を築きましょう。

館山市歌

わ が ま ち 館 山

S 3 4 . 4 . 8 制定

作 詞 山 口 晋 一
作 曲 明 本 京 静

(三)

冬 な き 空 に 富 士 の ね 晴 れ て
常 春 う れ し わ が ま ち よ
城 山 ざ く ら 歴 史 を 秘 め て
ゆ か り の 安 房 の 詩 ど こ ろ
麗 わ し そ の 名
お う お う お う 館 山 市

(二)

や ま な み め ぐ る ひ る の は み ど り
豊 か に そ だ つ わ が ま ち よ
海 山 こ め て あ ふ れ る 幸 に
人 の 和 そ え て た く ま し く
の び ゆ く す が た
お う お う お う 館 山 市

(一)

さ や か に 澄 め る 鏡 が 浦 の
潮 の 香 に お う わ が ま ち よ
か も め の う た に 希 望 を の せ て
七 つ の 海 を と ぶ 夢 の
花 咲 く み な と
お う お う お う 館 山 市

目 次

館山市民憲章

地域とともにある学校

I 令和7年度 館山市学校教育重点施策	1
II 館山市教育委員会の組織	8
III 教育施設の整備	9

小学校の概要

○ 船形小学校	1 3
○ 那古小学校	1 7
○ 北条小学校	2 1
○ 館山小学校	2 5
○ 西岬小学校	3 0
○ 房南小学校	3 4
○ 神余小学校	3 8
○ 豊房小学校	4 2
○ 館野小学校	4 6
○ 九重小学校	5 0

中学校の概要

○ 第一中学校	5 4
○ 館山中学校	5 8
○ 房南中学校	6 5

幼稚園・こども園の概要

○ 船形こども園	6 9
○ 那古幼稚園	7 1
○ 館山幼稚園	7 4
○ 西岬幼稚園 (休園中)	7 6
○ 房南こども園	7 8
○ 豊房幼稚園	8 0
○ 館野幼稚園 (休園中)	8 2
○ 九重こども園	8 4

資 料

○ 学校教育	8 6
--------------	-----

令和 7 年度 館山市学校教育重点施策

基本方針

本年度の館山市の基本方針は、伝統を尊重しながら質の高い個性ある教育を実践するとともに、子供たちから明るい挨拶が聞こえる元気な学校づくりを推進する。

昨年度より引き続き、「生きる力」の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動を展開する中で、幼児・児童生徒の学ぶ意欲を引き出し、人生を拓く「確かな学力」、自他の生命を大切にし、思いやりのある「豊かな心」、健康で安全な生活を実践し、活力にあふれる「健やかな体」を育む。また、「発達の段階に応じたキャリア教育」を推進するとともに、「地域とともに歩む学校づくり」に努める。併せて、この方針の実現に向け、教職員の働き方改革を推進する。

基本的対応策

1 教育内容及び方法の充実・改善

学習指導要領の全面实施から小学校は 6 年目、中学校は 5 年目を迎える。地域や幼児・児童生徒の実態を基盤に、それぞれ学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた教育計画を作成し、学校教育目標達成の具現化に努める。

また、幼・小・中学校と家庭・地域との密接な連携・交流を図り、「地域に信頼される学校（園）づくり」を推進するための教育内容の工夫改善に努める。併せて、若手・中堅教職員の育成を図り、指導の一層の充実を目指すとともに、小中学校が連携し、魅力と活力のある学校づくりを推進する。

2 教職員研修の充実

21 世紀をたくましく生き抜く「生きる力」を身につけさせることが学校の役割であり、教職員には職能に応じた資質や能力が要求される。教職員研修を体系化し、各幼稚園・小中学校そして地域の実態に即した研修の充実に努める。併せて、若手・中堅教職員の育成及び教員の指導力の向上並びに教育公務員としてのコンプライアンス意識の徹底を図る。

また、千葉県教育委員会及び市教育委員会主催研修事業や公開研究会への参加奨励並びに各種研修会・講習会を実施し、教職員の資質や能力の向上、教養を深める。併せて、全国教員研修プラットフォーム（研修履歴システム『Plant（プラント）』）の運用による能動的研修を推進する。

3 教育環境の整備

急激な少子化の状況を踏まえ、令和 20 年度においても適正な学校規模を維持可能とする「館山市立小中学校再編計画（令和 6 年 11 月策定）」に基づく取組を着実に進める。「学校再編を通じて、新しきもの・より良きものを創造する」ことで、未来を担う子供達の「生きる力」の育成のため、より良い教育環境の提供を実現する。

また、「豊かな学びを支える教育環境の整備」「安全・安心な教育環境の整備」を目標に、施設・設備や電子黒板・タブレット PC 等、学校教育環境の計画的整備を図るとともに、その効果的な活用と適切な管理に努める。

併せて、教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整え、子供たちの成長に真に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことができるよう、学校における働き方改革を推進する。

施策の概要

1 教育内容及び方法の充実・改善

（1）幼稚園教育の充実

各園の教育目標を達成するため、幼稚園教育要領の趣旨に則り、地域の実態及び幼児の発達

課題に応じた特色ある教育課程の編成と教育内容・指導方法の改善に努める。また、幼児が夢や希望を抱き、楽しく充実した園生活を送ることを通して、心身の調和のとれた発達の基礎を培う幼稚園経営に努める。

集団遊びを中心とした様々な体験を通して、主体的に遊ぶ力を育て、「生きる力」の育成につながる教育を推進する。

地域に開かれ、保護者に信頼される幼稚園づくりに努め、預かり保育等「子育て支援センター」としての役割も果たすよう努める。

幼保連携や幼小連携をより充実させるとともに、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を考慮した教育課程の編成を工夫する。

幼児の発達の特性を踏まえ、好ましい生活習慣の形成を図る。また、人との関わりを通して相手を尊重した行動ができる豊かな感性と、思いやりの心の育成に努める。

多様な体験を通して、豊かな心情や意欲・態度などが培われるよう、適切な保育実践に努める。

教育の過程における幼児の変容の姿を的確にとらえ、日々の保育と評価の一体化に努める。

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を営む好ましい生活習慣の育成と心の教育の一層の充実に努める。

家族や身近な人に接するとともに、あこがれの人に関わる機会を多くし、将来の夢や希望を持たせる。

社会の変化、地域や保護者のニーズ及び幼児の実態に応じた研究課題を設定し、幼児一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援が行えるよう家庭や地域、関係機関との連携を図り、組織的な支援体制の整備に努める。

(2)「生きる力」を育てる、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラムマネジメントの確立

特色ある教育計画を作成し、児童生徒が夢や希望を抱き、楽しく充実した学校生活を送ることができるようにする。

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、「発達の段階に応じたキャリア教育」、「地域とともに歩む学校づくり」を推進するなど、「生きる力」を育成するために特色ある教育を推進する。

学校の教育活動全体を通じて、基本的人権を尊重する態度や国際的な視野に立った民主的な社会人としての必要な資質を身につけさせるとともに、道徳性を高める実践的人間教育の推進に努める。

児童生徒の興味・関心や体験的な活動を重視し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、一人一人の特性に応じた学習が行われるよう指導内容・方法の工夫改善を図り、個を生かした教育の推進に努める。

少人数指導・習熟度別指導など、個に応じたきめ細かな指導を推進するとともに、理解の進んでいる児童生徒には発展的な学習を取り入れるなど、学力向上のための取組を推進する。

授業等でＩＣＴ機器（タブレットＰＣ・電子黒板や情報通信ネットワークなど）を効果的に活用することにより、児童生徒の理解を深めるとともに情報活用能力を高めるよう努める。また、ＩＣＴ支援員を活用し、教員のＩＣＴ活用研修を実施するとともに、令和４年度館山市教育問題研究委員会の答申を参考に、タブレットＰＣ・電子黒板等の授業での積極的な活用を計画的に進める。

中学校に授業力向上推進コーディネーターを配置し、各学校を訪問し、授業者に対して学力向上の視点で授業改善に関する指導、助言を行う。

小学校外国語教育については、デジタル教材やＡＬＴ等の効果的な活用により、コミュニケーション能力の素地を養う。

総合的な学習の時間については、地域や学校、児童生徒の実態に応じて、横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習など、創意工夫を生かした教育活動に努める。

教科等における指導とキャリア教育との関連を常に意識し、指導の工夫を図るとともに、職業体験・ボランティア活動などの体験活動を通し、社会的職業的自立に向けて必要な基盤となる態度や能力を育成するとともに、発達段階に応じた望ましい職業観・勤労観の育成に努める。

生涯学習の基礎づくりの視点から、学習活動に社会人交流を積極的に導入し、開かれた学校の具現化に努める。

評価規準に基づいた評価の定着を進めるとともに、評価方法を工夫することにより、児童生徒の学習意欲を喚起するとともに、教師自らの「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に努める。

関係機関と連携し、ネットいじめや犯罪から児童生徒を守るため、情報モラル教育の充実に努める。

（３）「開かれた学校（園）」の具現

前年度の学校（園）の教育活動を見直し、「生きる力」を育てる視点から、教育活動その他の学校運営の状況について自己評価、学校関係者評価等を通して、その結果を公表し、学校経営上の課題解決につなげる。

授業公開等、学校運営の状況について積極的な情報発信を行い、学校（園）が家庭・地域社会等との連携の促進に向けて中心的な役割を果たすよう努める。

学校（園）・家庭・地域それぞれの役割を明確にする中で連携の在り方を探り、地域ぐるみの教育の推進に努める。

学校（園）の教育機能を広く地域に開放するための具体的方策について検討する。

地域人材活用事業を積極的に活用し、幼児・児童生徒が楽しく生き生きと学び、能力を発揮できるよう努める。

学校評議員を全小・中学校に置き、地域に開かれた学校を目指す。

地域と連携した安全な学校づくりに努める。

（４）「総合的な学習の時間」の一層の工夫改善

地域や学校、児童生徒の実態、学校の全教育活動との関連等を踏まえ、全体計画を作成する。

関係機関等との連携を推進し、地域の学習環境の積極的な活用を図る。

家庭、地域、児童生徒等と教職員との関係を密にし、実態から課題を設定できるよう努める。

（５）生徒指導の充実

楽しく充実した学校生活が送れるよう、発達に即した子供理解を深め、学校・家庭・地域との連携を促進するとともに、全教職員の共通理解の上、生徒指導の機能を生かせる組織、指導体制の確立に努める。

学校として、いじめを含む問題行動防止対策について、「館山市いじめ防止対策推進条例」、「館山市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを含む問題行動の未然防止、早期発見、早期対応の体制の確立を一層推進する。

学校の教育活動全体を通じて、児童生徒理解を深め、教育相談活動の充実を図るとともに、好ましい人間関係を確立し、児童生徒の自己教育力の育成に努める。

学校、家庭、地域がそれぞれの果たすべき役割を明確にして、基本的な生活習慣の重要性を児童生徒に理解させ、自己を生かす能力と態度の育成（心の教育の充実）に努める。

「自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成」等を重視し、生徒指導の機能を生かしたわかる授業の展開や生徒指導を意識した学級経営に努め、児童生徒一人一人の自己指導能力を育む。

人権意識の向上、規範意識の醸成を図るとともに、生命を大切にする心を育てることによって、いじめや暴力行為等の防止に一層努める。

中学校区生徒指導連絡会を核に、小中連携した生徒指導の充実を図る。

Hyper-QU を活用することにより、学級集団の状態や学級における児童生徒一人一人の状況を把握し、児童生徒一人一人への具体的な対応方法や学級集団の状態から今後の学級経営方針を決定し、いじめ・不登校の防止は勿論のこと、より良い学校生活が送れるように努める。

(6) 不登校対策の推進

心のふれあいを大切にした教育を推進するとともに信頼関係をつくり、児童生徒が楽しくのびのびとした学校生活を過ごせるように努める。

早期対応による不登校の解消の方針を全教職員が共通理解し、組織で取り組む体制づくりに努める。

児童生徒の欠席状況の実態を学級担任以外も正確に把握し、校内指導組織を挙げて積極的に不登校の対策に努める。特に成果を上げている取組事例は積極的に導入し、不登校の解消に努める。

館山市教育支援センターのアウトリーチ型機能の充実を図り、不登校あるいは不登校傾向にある児童生徒及び保護者にセンターが主体的に相談等を行い、早期的、継続的に支援を行っていく。

館山市教育支援センター、家庭、地域、関係諸機関・団体との連携を一層深め、不登校の解消体制の確立に努める。

幼・小・中学校が、一貫した指導体制で取り組めるよう学校（園）間の連携を強化する。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー及び訪問相談担当教員の有効活用を心掛け、より適切な相談活動や関係機関との連携を密にし、不登校の解消に努める。

(7) 特別支援教育の充実

校内教育支援委員会と市教育支援委員会の連携をさらに充実し、就学指導の適正化と就学援助を図るとともに、特別支援教育についての理解を深める。

一人一人の児童生徒の障害の状態及び特性等を十分考慮し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成するなど、適切な教育課程の編成と、指導の形態や指導の場を工夫改善する。

児童生徒の社会性を育て、好ましい人間関係を育てる視点から、児童生徒の実態を考慮しながら通常学級との「交流及び共同学習」を積極的に推進する。また、市内の学校の特別支援学級や特別支援学校等との交流を図る。

自立活動や現場体験の充実を通して適切な進路指導の充実に努める。

校内教育支援委員会を組織し、特別支援教育コーディネーターを中心に、インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進に向け、関係機関との連携を図り、総合的な支援体制を整備し、学校全体で特別支援教育の充実を一層推進する。

専門家チームによる巡回相談を充実させる。

特別支援教育学習支援員と密接な連携を図り、学習支援を必要とする幼児・児童生徒に対する支援すべき内容や方法を明確にするなど、有効な活用に努める。

(8) 道徳教育・人権教育の充実

生活習慣や規範意識の向上を目指す道徳教育を推進するとともに、校長の方針の下、道徳教育推進教師の役割を明確にし、組織的な取組を展開する。

自他の人権を重んじ、人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、思いやりの心を大切にする。また、いじめをはじめ差別や排除等、非人道的な行為を「しない、させない、ゆるさない」ことの徹底を図る。

学校の教育活動全体を通じて、教師と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を豊かにするとともに、芸術文化活動等豊かな体験活動を生かし、道徳的实践力の育成に努める。

校内における相互授業参観を通じて、「考え、議論する道徳」を意識した指導方法や評価の工夫改善を図る。

家庭や地域との連携・地域人材の活用・体験的活動の積極的な導入等，心の教育の充実に努める。

道徳教育・人権教育の年間計画の着実な遂行を心がけ，心を豊かにする教育の充実に努める。

(9) 文化と伝統の尊重と国際理解教育の推進

ふるさと学習（歴史副読本「さとみ物語」を活用した地域学習における館山市モデル）を積極的に進め，地域人材の活用に努める。

国際的な視野に立って物事を考え，日本人としての自覚を持ち，主体的に生きていくうえで必要な資質や能力の育成に努める。

A L T を有効に活用し，外国語教育の充実を推進するとともに，姉妹都市等との交流をとおり，異文化理解を深める。

(10) 図書館教育の充実

多種多様な本との出会いを通して，児童生徒が本の持つすばらしさやおもしろさに触れるとともに，読むことの楽しさを体得するよう努める（各校の実態に応じた読書活動を推進する。）。

司書教諭等を中心として，図書館資料を積極的に活用する教育活動を計画し，児童生徒の情報活用能力の育成に努める（各校の実態に応じ，司書教諭の積極的な活用を図る。）。

館山市図書館との連携や外部人材の活用，ボランティア活用による図書館の整備など，図書館教育の一層の充実に努める。

学校図書館図書整備・充実に努める。

(11) 環境教育の充実

ふるさと館山の保全と育成の視点から，環境情報や学習機会の提供により，児童生徒の環境学習の充実推進に努める。

自然の美しさ豊かさ，生命の尊さに気づかせ，大切にしようとする心情の育成に努めるとともに身近な環境に関心を持ち，よりよい環境づくりへの実践力の育成に努める。

総合的な学習の時間を有効に活用し，環境教育の充実を図る。

(12) 健康体力づくりの推進

学校の教育活動全体を通して体育に関する指導の充実を図ると共に，運動に親しむ機会を増大させ，体力及び運動技能の向上に努める。特に，小学校においては，水泳がんばりカードの活用を推進する。

運動することの楽しさを実感させ，生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成する。

栄養教諭や学校栄養職員，管理栄養士等の食の専門家と連携し，発達段階に応じた望ましい食生活を実現する態度を養う。

(13) 安全・安心な教育の推進

生涯を通して，健康・安全で活力ある生活を営む基本的な生活習慣の育成に努めるとともに，安全に対する意識の改善や実践力の向上に努める。

交通安全・防犯・防災教育等の更なる充実を図り，自助共助の意識の高揚に努めるとともに，危機管理マニュアルや安全マップの見直しを行う。また，地震・津波・火災を想定した避難訓練など，保護者や地域と連携した避難体制を確認し，安全確保のための具体的な取組を推進する。同時に，危険から身を守るための知識や避難の仕方を身につけさせるとともに，自らの判断で危険を回避できる力を育てる。

「館山市立小中学校における食物アレルギー対応ガイドライン」を活用し，学校生活におけるアレルギー疾患への対応を教職員相互で共通理解を図ると共に，医療機関や消防署と連携し，校内体制の確立を推進する。

(14) 学校事務共同実施の推進

事務職員の資質向上を図り，専門分野の強化による学校経営の参画を進めるとともに事務

の合理化・効率化を推進する。

教員の事務負担の軽減を進め、子供の教育に専念できるような環境整備を進める。

(15) 研究委託・研究助成の推進

関係諸機関からの指定研究校（園）に対する事業を側面から支援すると共に、研究成果の市内各校への還元を進める。

2 教職員研修の充実

(1) 校内研修活動の活性化

教職員の共通理解の下に、地域や学校の実態に即した研修課題を設定し、計画的、組織的、継続的な校内（園）研修活動の充実に努める。

全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえて、児童生徒の学力向上、教師の授業改善に向けた具体的な取組を推進する。

教育の今日的課題の解決、教職員の資質能力の向上、幼児・児童生徒の資質能力の向上、地域・保護者からの要望等、前年度までの課題を踏まえて設定し、組織的・計画的に研修を行う。

(2) 各種研修会等への主体的な参加

市教委主催の研修・研究活動への参加を奨励する。

- ・生徒指導、長欠対策研修
- ・層別研修（主任（教務・英語・生徒指導・長欠・安全 等）研修、若手・中堅研修、ICT教育研修、特別支援教育研修、幼稚園教頭研修等）

千葉県教育委員会主催研修事業及び公開研究会等への主体的参加を奨励する。

(3) 館山市教育振興会活動の充実

教師の専門性を高め、指導力の向上を図るため、館山市教育振興会活動及び館山市幼稚園教育研究会活動の充実を図る。

3 教育環境の整備

(1) 学校再編の推進

少子化の時代においても一定の学校規模を継続的に維持（令和20年度においても中学校1校、小学校2校を標準規模校とする）し、児童生徒がより多くの友人と触れ合い、新たな関係を築く機会を提供する。

小規模の教育環境を望む保護者の考えや児童の特性に合った「学校の選択肢」を確保するため、「小規模特認校」を設置する。

学校再編後の豊房小の跡地を利用し、不登校児支援・発達支援機能の充実を図る。

投資の「選択と集中」により、集約化した学校施設の環境を充実させる。

(2) ICTによる教育環境の充実

令和2年度に導入したタブレット端末の更新や教師用デジタル教科書の本格導入などICT教材教具や情報通信ネットワークの整備充実を図ることでその効果的な活用の促進を図る。

教育用コンピュータの積極的な活用の促進を図る。

備品の適切な管理に努める。

全小・中学校でホームページ・ブログ等の活用、充実により、積極的な情報発信に努める。

(3) 働き方改革の推進

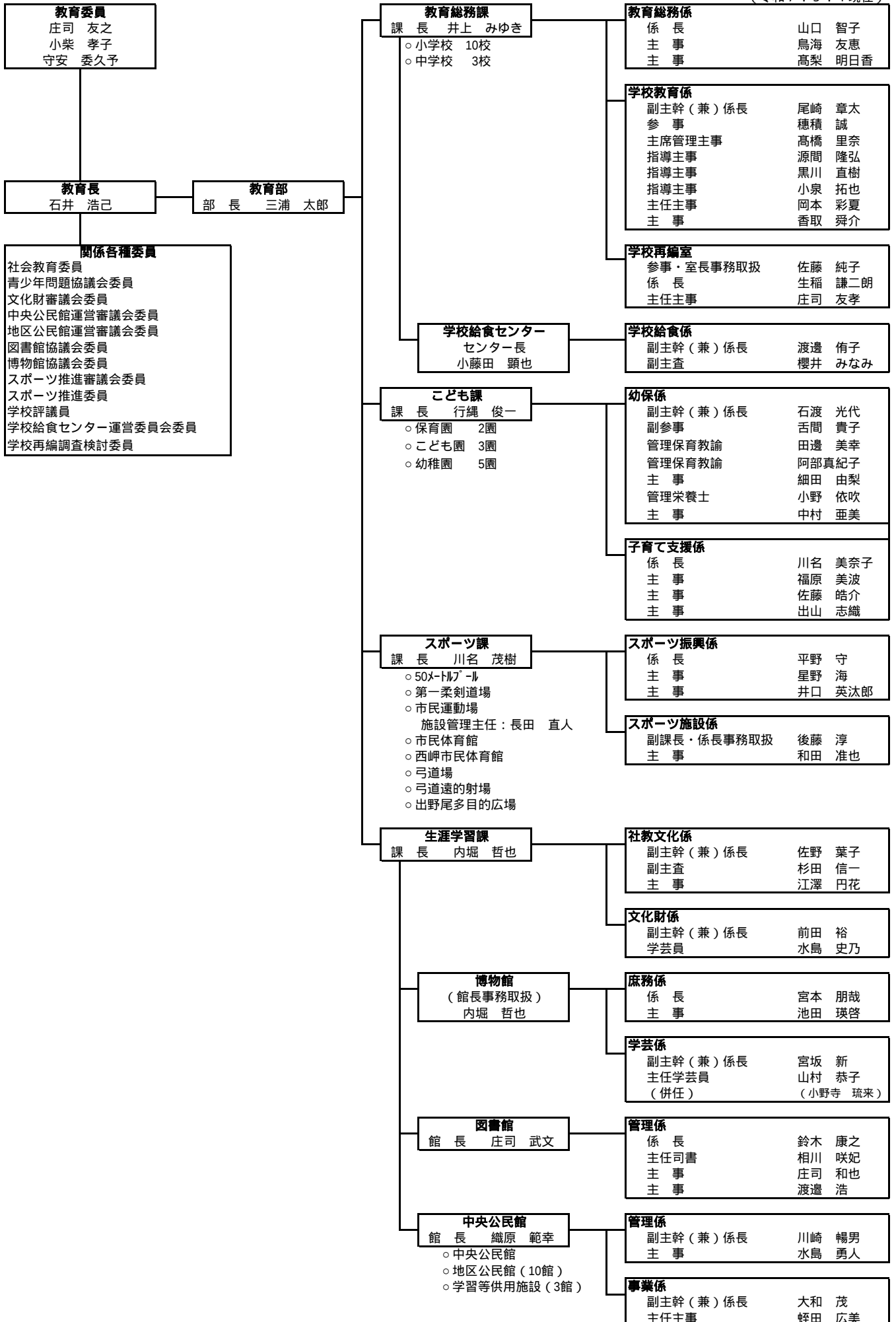
教育委員会内に設置した働き方改革推進委員会において、館山市働き方改革推進プランを策定し、働き方改革の推進を図るとともに、学校への達成状況の調査等、業務改善に係る点検・評価、検証を行う。

統合型校務支援システムや採点支援システムの積極的な活用を推進すると共に、学校と教育委員会とで課題等を共有し、より効率的な活用を目指す。

学校における電話対応時間の設定、教育課程の見直し、「部活動ガイドライン」の順守、部活動加入の在り方の見直し等を推進すると共に、これら取組の保護者への周知を図る。保護者連絡システム「すぐーる」の各種機能を積極的に活用し、学校の業務負担軽減に努めると共に、配付資料の電子化やアプリケーションを利用した欠席連絡等により保護者の負担軽減を図る。

館山市教育委員会の組織

(令和7.5.1現在)



III 教育施設の整備

▼施設の整備経過

平成 17 年	館山・館野小プール塗装工事 豊房小体育館壁改修工事 北条小 2 年棟屋根改修工事 那古小新エネルギー外灯設置工事 三中外トイレ改修他工事 二中学校舎改修工事(第 2 期工事)	平成 23 年	館山幼稚園舎・プレイルーム屋上防水改修工事 西岬幼プレイルーム棟屋根改修工事
平成 18 年	豊房小プール塗装工事 船形小プールサイドマット設置工事 北条小トイレ改修工事 館山小講堂改修工事 房南中バリアフリー整備工事	平成 24 年	神余小校庭整備工事 船形・館山小空調機移設工事 那古小高圧ケーブル交換工事 西岬小・館野小高架水槽等改修工事 船形小トイレ器具改修工事 富崎小給排水管切替工事 北条小耐震改修工事(第 1 期工事) 二中校庭排水整備工事 三中廊下改修工事
平成 19 年	神戸小体育館床改修工事 那古小校舎及び体育館改修工事 一中プール塗装工事 一中・房南中プールサイドマット設置工事 三中トイレ改修工事 館野幼トイレ改修工事		館野幼体育倉庫改築工事 幼稚園遊具設置工事(北条・西岬) 幼稚園遊具撤去新設工事(館山・館野) 館山幼テラス改修工事 幼保一元化施設整備工事【民生費予算】 (船形幼・船形保・九重幼・九重保)
平成 20 年	船形小体育館屋根改修工事 北条小 1 年生棟屋根改修工事 事務室エアコン設置工事 (船形小・館山小・神戸小) 北条小洋式トイレ設置工事 西岬小プール塗装工事 一中体育館改修工事 三中プール塗装工事 北条幼床下防湿工事	平成 25 年	北条小耐震改修工事(第 2 期工事) 北条小低学年棟耐震改修工事(2 年棟) 西岬小西棟耐震改修工事 館野小・幼稚園耐震改修工事 一中体育館バスケットボールコートライン修正工事 二中体育館バスケットボールコートライン修正工事 三中体育館バスケットボールコートライン修正工事 三中洋式トイレ設置工事 房南中洋式トイレ設置工事 一中テニスコート整備工事 西岬小洋式トイレ設置工事 九重小洋式トイレ設置工事 豊房小プール便所洋式トイレ設置工事 豊房小遊具交換工事 館山小遊具交換工事 豊房幼稚園遊具交換工事
平成 21 年	船形小図書室エアコン設置工事 北条小洋式トイレ設置工事 神戸小管理棟屋根改修工事 神戸小プール塗装工事 九重小体育館屋根改修工事 一中太陽光発電導入工事 三中太陽光発電導入工事 二中自転車置場設置工事 三中体育館改修工事	平成 26 年	北条小耐震改修工事(第 3 期分) 館山小北棟・体育館耐震改修工事 豊房小体育館・幼稚園耐震改修工事 神戸小学校付属棟耐震応急補強工事 船形小非常階段改修工事 那古小インターホン配線工事 九重小校舎屋上防水改修工事 二中保健室空調機交換工事 三中受水槽交換工事 三中外構改修工事 房南中図書室空調機設置工事 北条幼耐震仮補強工事
平成 22 年	那古小体育館トイレ改修工事 館山小図書室空調機設置工事 神戸小図書室空調機設置工事 館野小体育館屋根防水改修工事 二中公共下水道接続工事 三中保健室空調機交換工事 館山幼暖房機煙道改修工事	平成 27 年	館山小東・西棟耐震改修工事 神戸小体育館耐震改修工事 九重小・こども園耐震改修工事(校舎・体育館)
平成 23 年	西岬小校庭一部整備工事 館野小屋上防水改修工事 小学校洋式トイレ設置工事 (船形小・那古小・西岬小) 三中校長室空調機交換工事 房南中洋式トイレ設置工事		

平成 27 年	豊房小校長室空調機設置工事 船形小校舎手摺その他改修工事 小中学校洋式トイレ設置工事 (西岬小・富崎小・館野小・神余小・豊房小・一中・二中) 房南地区小中一貫校施設整備工事 (Ⅰ期工事) 二中駐輪場改築工事 三中駐輪場改築工事 北条幼稚園建設工事(Ⅰ期工事) 館野幼・九重こども園遊具更新工事	令和元年	船形小講堂非構造部材耐震対策工事 西岬小講堂非構造部材耐震対策工事 小中学校プールろ過装置修繕工事 (那古小・北条小・館山小・神余小・豊房小・九重小・一中・二中) 小中学校給食用小荷物専用昇降機改修工事 (船形小・那古小・館山小・一中) 那古小グラウンド暗渠排水設置工事 館山小電気室内改修工事 三中ブロック塀等改修工事 房南中排煙窓改修工事 【台風災害復旧工事】 北条小体育館開口部壁等復旧工事 西岬小講堂屋上防水復旧工事 館野小校舎防水復旧工事 一中西棟屋上防水復旧工事 二中柔剣道場棟天井復旧工事
平成 28 年	船形小・西岬小高圧ケーブル等取替工事 船形小多目的トイレ設備等改修工事 北条小プール塗装修繕工事 九重小プール改修工事 房南地区小中一貫校施設整備工事(Ⅱ期工事) 二中部室棟雨漏り修繕工事 北条幼建設工事(Ⅱ期工事) 北条幼稚園舎解体及び周辺整備工事 北条幼跡地駐車場舗装工事 豊房幼鋼製複合遊具更新工事 館山幼電気引込開閉器盤等改修工事	令和 2 年	小中学校空調機設置及び移設工事 (北条小・館山小・一中・二中) 旧神戸小浄化槽設置切替工事 船形小階段床修繕工事 豊房小低学年棟トイレ改修工事 那古小体育館非構造部材改修工事 (建築・電気設備) 一中体育館非構造部材改修工事 (建築・電気設備) 一中体育館トイレ改修工事 二中給水管漏水調査・修理工事 房南こども園自動火災報知設備更新工事 館山幼屋根防水及び外壁補修工事 【統合中準備工事】 二中樹木撤去・舗装工事 二中フェンス設置・舗装工事 二中駐輪場増設工事 二中外構整備工事 二中カウンセリングルーム間仕切壁改修工事 【令和元年台風災害復旧工事】 那古小プールフェンス復旧工事 館山小校舎床復旧工事 旧神戸小倉庫等解体工事 九重小体育館棟樑復旧工事 那古小擁壁設置工事 館野小擁壁設置工事 神余小土留柵設置工事 神余小越屋根復旧工事 房南小第二体育館屋根復旧工事 館山小算数ルーム建具交換工事 那古小フェンス補修工事 一中プールフェンス復旧工事 房南中防球ネット等復旧工事
平成 29 年	豊房小洋式トイレ設置工事 館山小北棟汚水桝・配管改修工事 小学校等浄化槽修繕工事 (那古小・西岬小・九重小・旧神戸小・旧富崎小・館山幼) 船形小・西岬小講堂ガラス交換工事 九重小屋外排水管修繕工事 豊房小遊具修繕工事 船形小換気扇更新工事 二中講堂・柔剣道場非構造部材 耐震改修工事 一中校舎等軒裏補修工事 二中講堂緞帳修繕工事 房南中職員室空調機修繕工事 房南中ペントハウス防水改修工事 一中職員室鋼製建具取替工事 二中音楽室等建具修繕工事		
平成 30 年	船形小女子トイレバリアフリー対応工事 船形小外壁等改修工事 那古小防災設備改修工事 豊房小ブロック塀安全対策工事 館野小体育館非構造部材耐震対策工事 一中駐輪場改築工事 小中学校給食用小荷物昇降機改修工事 一中校舎軒裏補修工事		
令和元年	西岬幼空調設置工事 豊房幼空調設置工事 小中幼空調機設置工事 小中空調機電源接続工事(西岬幼・豊房幼を除く)		

令和2年 三中体育館屋根復旧工事
 二中高圧電線改修工事
 二中フェンス等復旧工事
 房南中学校舎屋根復旧工事
 房南中駐輪場屋根改修工事

令和3年 船形小プール解体工事
 船形小外部建具改修工事
 船形小遊具解体工事
 那古小校舎非構造部材
 (ガラスブロック)改修工事
 那古小校舎トイレ改修工事
 那古小裏山法面樹木伐採工事
 那古小裏山 落石防護工事
 館山小給水設備改修工事
 西岬小講堂トイレ改修工事
 豊房小キュービクル内絶縁改修工事
 旧富崎小渡り廊下屋根撤去工事
 一中校舎西棟トイレ改修工事
 一中スロープ設置工事
 館山中特別支援教室等改修工事
 旧三中空調機移設工事
 旧三中校舎等施設解体工事
 小中学校プールろ過装置修繕工事
 (北条小・館山小・西岬小・豊房小・九重小・一中・館山中)
 小中学校照明設備改修工事
 (那古小・西岬小・一中)
 小中学校防災設備改修工事
【新型コロナ対策交付金事業】
 遮熱フィルム貼り工事
 (船形小・那古小・館野小・館山中・房南中)

令和4年 那古小受水槽更新工事
 那古小裏山防風ネット設置工事
 北条小南棟オープンルーム空調機設置工事
 館山小給水管漏水改修工事
 西岬小トイレ洋式化他工事
 神余小理科室空調機設置工事
 神余小ガラス屋根改修工事
 九重小教室内装改修工事
 九重小普通教室等天井補修工事
 一中校舎東棟トイレ改修工事
 一中散水設備修繕工事
 館山中特別支援教室空調機設置工事
 館山中防球ネット改修工事
 館山中校舎軒裏補修工事
 房南中学校舎照明設備改修工事
 旧三中プール解体工事
 新館山中校舎及び武道場建設工事(Ⅰ期工事)
 小中学校防災設備改修工事

令和4年 **【新型コロナ対策交付金事業】**
 小中学校電話設備更新工事
 (船形小・那古小・館山小・館野小・豊房小・九重小・一中)
 一中職員室空調機交換工事
 一中建具改修工事
 一中特別支援教室空調機設置工事
 房南中オペレーター窓修繕工事

令和5年 北条幼渡り廊下改修工事
 船形小職員室空調機更新工事
 船形小外部階段修繕工事
 那古小職員室空調機交換工事
 那古小校舎屋上防水改修工事
 那古小フェンス改修工事
 那古小増築棟外壁改修工事
 北条小特別支援教室空調機交換工事
 北条小プール改築工事(Ⅰ期工事)
 西岬小渡り廊下改修工事
 第一中テニスコート改修工事
 新館山中校舎及び武道場建設工事
 (Ⅱ期工事)
 館山中第二体育館建設その他工事
 (Ⅰ期工事)
 館山中南側テニスコート整備工事
 小学校防火設備改修工事
 (那古小、館山小、西岬小)
 小学校遊具撤去工事
 (船形小、北条小、館山小、豊房小、九重小、旧神戸小)
 小中学校バスケットゴール改修工事
 (館山小、西岬小、神余小、第一中)
 小中学校プールろ過装置修繕工事
 (北条小、館山小、西岬小、神余小、豊房小
 九重小、第一中、館山中、房南中)
 小中学校防災設備改修工事
 (船形小、那古小、北条小、館山小、西岬小、神余小
 豊房小、館野小、九重小、第一中、館山中、房南中)

令和6年 北条幼外部木部塗装工事
 那古小増築棟東面外壁撤去工事
 北条小プール改築工事(Ⅱ期工事)
 北条小廊下流し台水栓配管修繕工事
 館山小仮設間仕切壁設置工事
 神余小柱脚改修工事
 旧神戸小渡り廊下解体その他工事
 第一中渡り廊下改修工事
 第一中校舎外壁補修工事
 第一中門扉改修工事
 新館山中校舎及び武道場建設工事
 (Ⅲ期工事)

令和 6 年 館山中第二体育館建設その他工事
(Ⅱ期工事)
館山中北側外構整備工事
館山中付帯施設整備工事
館山中校庭整備その他工事
小中学校防災設備改修工事
(船形小、那古小、北条小、館山小、神余小、館野小
第一中、館山中、房南中)



館山市立船形小学校

所在地 館山市船形 405-2
電 話 0470-27-2528
F A X 0470-27-6419

1．学校教育目標

「やる気いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」

- よく考え、自ら学びぬく子（やる気いっぱい）
- 思いやりのある子（やさしさいっぱい）
- 進んで体をきたえる子（元気いっぱい）

2．経営方針

「子どもの夢を育み、創造と活力あふれる学校をめざす」

- （１）知・徳・健のバランスのとれた心豊かな人間性と社会性を培い、子どもの自己実現を支援します。
- （２）基礎的・基本的な知識・技能の習得と、個性を認め伸ばす教育の推進に努めます。
- （３）家庭・地域との連携を密にし、信頼を深め、地域と共に歩む学校づくりに努めます。

3．経営の重点

- （１）学力の向上と主体的に学ぶ態度の育成

- 基礎・基本の定着
- 読書活動の推進
- 考え、表現する力の育成
- ＩＣＴ教育の推進
- 児童の興味・関心を大切にした総合的な学習の実践
- 層別研修の推進

- （２）心の教育の推進 ～自己肯定感の育成～

- 認める、ほめる場の設定と工夫
- 教育活動全体を通じた道徳教育の推進
- 縦割り活動を通じた交流
- 地域を生かした教育活動の実践
- いじめの予防、早期発見、早期解決
- 望ましい学習集団の育成
- 清掃活動の充実
- インクルーシブ教育の推進

- （３）体力・健康・安全教育の推進

- 体育授業の充実
- 体力の実態の分析と対策
- ロング昼休みの活用
- 健康面の実態把握と家庭との連携
- 安全教育（自分の命は自分で守る）
- 感染症対策の徹底

- （４）地域に開かれ、地域とともに歩む学校

- 情報発信
- 地域・関係機関との連携
- 学校評価の分析と反映

4. 研究計画

(1) 研究主題 「できた！わかった！！」を実感できる子どもの育成
～デジタル教材を活用した授業づくり～

(2) 研究目標 主体的・対話的で深い学びに向けた有効な手立てについて、授業実践を通して明らかにする。
日常の実践から、授業で「デジタル教科書」を含めたＩＣＴ機器を積極的に活用し、その効果を検証する。

5. 日課時程 曜日により、午後の日程に一部変更あり

8 9 10 11 12 13 14 15
00 10 25 1015 00 25 1015 00 40 00 05 20 25 10 15 00 05 20

朝 読 書	朝 の 会	1 校 時	2 校 時	業 間	3 校 時	4 校 時	給 食	昼 休 み	清 掃	5 校 時	6 校 時	帰 り の 会	下 校
-------------	-------------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	--------	-------------	--------	-------------	-------------	------------------	--------

6. 学級編成

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	こすもす (知的)	たんぼぼ (知的)	なのはな (情緒)	合計
男子	5	4	6	3	4	5	2	4	2	35
女子	0	4	2	8	8	7	3	0	1	33
合計	5	8	8	11	12	12	5	4	3	68

7. 職員構成

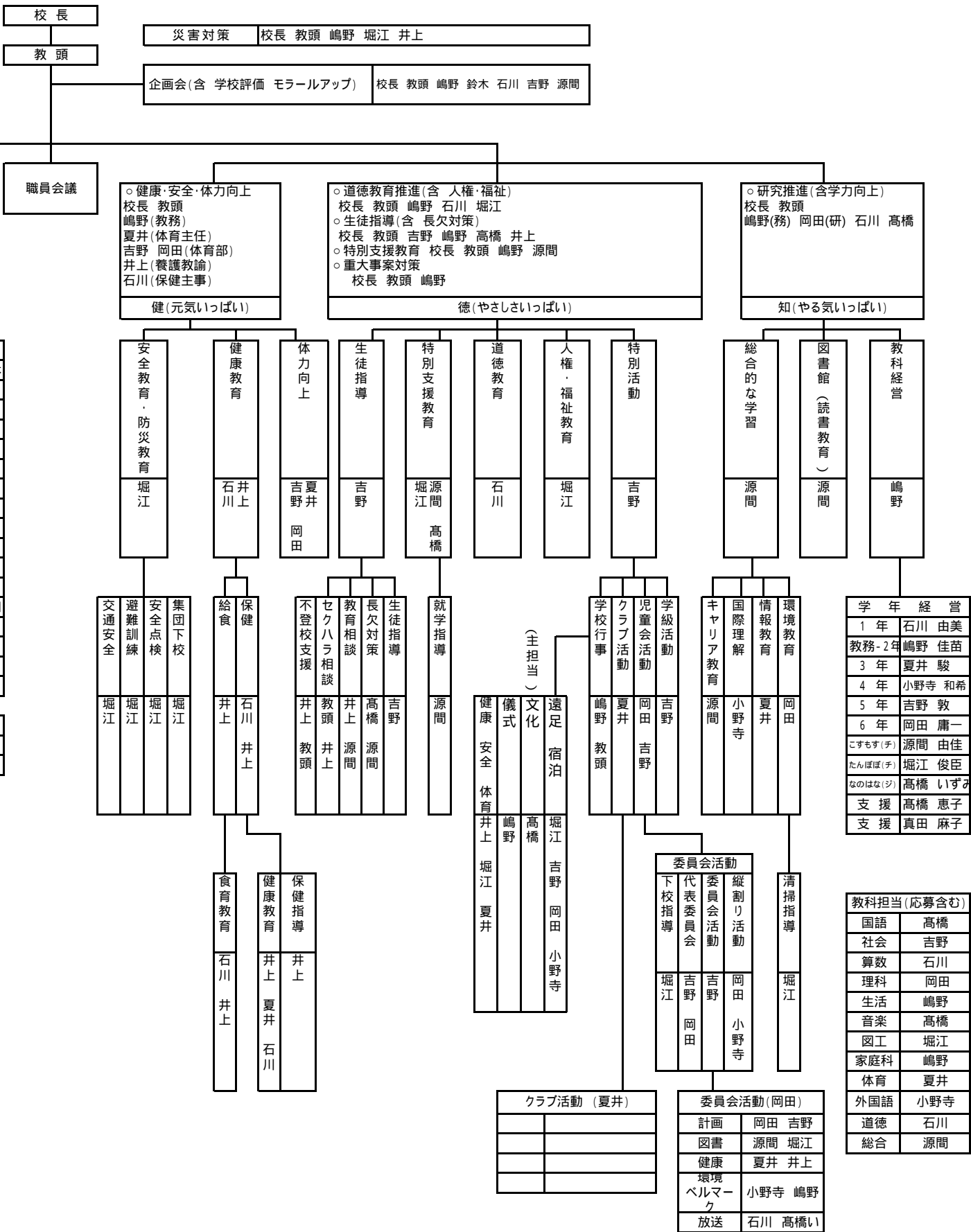
職名・担任	氏名	教科・分掌	職名・担任	氏名	教科・分掌
校長	水上 賢治		たんぼぼ (知的)	堀江 俊臣	安全主任 人権・福祉教育
教頭	田中福太郎		なのはな (情緒)	高橋いずみ	出席統計・学籍 長欠対策
教務・2年	嶋野 佳苗	教育課程 音楽・家庭	養護教諭	井上 里枝	保健・給食 教育相談
1年	石川 由美	保健主事 道徳教育推進教員	事務長	鈴木由貴子	庶務、経理
3年	夏井 駿	体育主任 情報教育	スクールサポート スタッフ	相場 光帆	事務作業補助
4年	小野寺和希	教科書給与 国際理解	学習支援員	高橋 恵子	学習支援
5年	吉野 敦	生徒指導 特別活動	学習支援員	真田 麻子	学習支援
6年	岡田 庸一	研究主任 児童会活動	事務補助員	羽山 京子	給食業務 学校用務
こすもす (知的)	源間 由佳	特支コーディネーター 図書館教育・キャリア教育	スクール カウンセラー	篠田 梓	教育相談

令和7年度 校務分掌一覽

教務主任	嶋野
研究主任	岡田
生徒指導主任	吉野
保健主事	石川
特別支援コーディネーター	源間
道徳教育推進教員	石川
衛生推進者	井上

学校評議員会	校長 ○教頭 ・評議員
--------	-------------------

学力向上推進コーディネーター	岡田
体力向上推進コーディネーター	夏井



9. 沿革

- 明治 5 船形地区は西行寺、川名区は長勝寺を校舎にあてる
22 船形村立船形小学校と称し、現在地に校舎を新設
- 大正 12. 9 関東大震災のためほとんどの校舎が全壊（一部校舎は半壊）
- 昭和 22. 4 館山市立船形小学校と改称
28.10 火災のため校舎・講堂計 1,580 m²消失（以後約 2 年で新校舎竣工）
46. 7 プール(25mコース竣工)
55. 4 新運動場用地 5,104 m²を取得（一部借地・56.1 造成完了）
55.12 「船形史考」1,200 部発行（P T A 共同編集）
56. 2 防音校舎第 1 期工事着工（57.2 完了）
58. 2 防音校舎第 2 期工事完了（校舎移転・旧校舎解体）
58. 3 防音校舎 幼・小竣工式
59. 3 P T A 事業でアスレチック工事開始（60.9 まで 3 期実施）
61. 8 新講堂工事着工（62.3 新講堂竣工式）
62.12 中庭庭園完成
- 平成 2.11 交通安全教育推進地域事業全国公開研究会開催
3. 9 プールトイレ工事完了
5. 7 P T A 作業で旧アスレチック解体、改修工事
7. 7 ターザンロープ新設
9. 7 校庭整地作業
10. 7 アスレチックの改修工事（網の張り替え）
11. 4 文部省指定「地域の人材を活用した道徳推進事業実践研究協力校」
12.11 文部省指定「道徳教育公開研究会」
18. 4 船形地区子ども見守り隊発足
20. 4 県教委及び安房地区教育委員会連絡協議会から体育学習の指定を受ける
20. 6 体育館屋根改修工事
21. 5 開校 120 周年記念春季大運動会開催
22.10 千葉県教育委員会指定「学校体育」の公開研究会開催
23.11 全国学校体育研究優良校受賞
26.10 非常階段改修工事完了
27. 1 船形地区こども見守り隊交通安全県優良団体表彰
27. 2 アスレチック改修工事完了
27. 2 体育倉庫脇外灯設置
28. 4 特別支援学級（肢体不自由）開設
29. 6 温水プールでの水泳授業開始
31. 2 北側校舎 2 F・3 F 女子トイレバリアフリー工事完了
- 令和 1. 6 教室エアコン取り付け工事完了
2. 3 体育館天井改修工事完了
2.10 校舎内階段床材張替工事完了
2.12 浄化槽移設工事完了
3. 4 文科省指定「ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実」研究指定校
4. 3 アスレチック解体工事完了
4. 3 プール解体およびプール跡地への駐車場設置工事完了
6. 6 セントラルスポーツクラブ館山のプールで水泳授業実施



館山市立那古小学校

所在地 館山市那古 2 7 2
電 話 0 4 7 0 - 2 7 - 2 6 4 4
F A X 0 4 7 0 - 2 7 - 6 8 9 6

1 学校教育目標

何でも、ゴシゴシ磨いて、しなやかに生きる児童の育成

那(な) ...何でも = 頭(勉強)も【知】、体(運動)も【体】、心(自分自身)も【徳】
古(こ) ...ゴシゴシ磨いて
= 一生懸命勉強して【知】、たくさん鍛えて【体】、自分に厳しく、人に優しく【徳】
小(しょう) ...しなやかに
= とにかくやってみよう チャレンジ(Challenge)
無理せずに続けてみよう チャンス(Chance)
意地を張らずに、受け入れてみよう チェンジ(Change)

2 経営方針

「熱意・誠意・創意」ある教育を実践する！ ～「子ども」を主語に～

- フットワーク → 「迅速・切り替え」の素早い行動(知覚動考)
- チームワーク → 一人一人が持つ能力を掛け合わせた成果へ
- ネットワーク → 報告・連絡・相談(ホウレンソウ)を基盤とした繋がり

3 めざす子どもの姿

- 自ら課題を見つけ、主体的に問題を解決する子(確かな学力)
- 自ら律しつつ、他人を思いやる心をもつ子(豊かな人間性)
- 健康や体力に関心を持ち、たくましく生きる子(健康・体力)

4 めざす教師像

- 熱意・誠意・創意をもって職責を遂行する教師
- 「わかる→できる→たのしい」授業ができる教師
- 子どもの心を掴み(寄り添い)よさを引き出せる教師
- 協働でき学び続ける教師

5 研修計画

- (1) 研究主題 自分の思いや考えを伝え合い、学びを深める児童の育成
(2) 研究の目標 自分の思いや考えを伝え合うことに焦点を当て、主体的に伝え合い、さらに学びを深める児童の育成を目指し、授業力の向上を図る。

6 生徒指導

- (1) 目標 一人一人の児童の個性の伸長をはかりながら、社会的な資質や能力・態度を育成する。将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成していくための指導・援助をし、個々の自己指導能力を育成する。
(2) 本年度の取り組み
生徒指導の会・・・生徒指導の会を月に1回開催する。
教育相談・・・教育相談月間を年3回(6月・10月・1月)位置づける。
不登校対策・・・不登校0をめざす。

7 日課時程

	時 程
朝の会	8 : 0 0 ~ 8 : 1 0
フレッシュタイム	8 : 1 0 ~ 8 : 2 0 月...朝読書 火・水...算数チャレンジ 木...学級裁量 金...国語チャレンジ
1校時	8 : 2 5 ~ 9 : 1 0
2校時	9 : 1 5 ~ 1 0 : 0 0
業 間	1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0
3校時	1 0 : 2 0 ~ 1 1 : 0 5
4校時	1 1 : 1 0 ~ 1 1 : 5 5
給食・歯みがき	1 1 : 5 5 ~ 1 2 : 3 5
昼休み	1 2 : 3 5 ~ 1 3 : 1 0
清 掃	1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 2 5
5校時	1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 1 5
6校時	1 4 : 2 0 ~ 1 5 : 0 5
月曜日	企画会、職員会議、生徒指導の会
水曜日	委員会
木曜日	清掃なし 5校時 13:10~13:55 6校時 14:00~14:45 校内研修、職員打ち合わせ

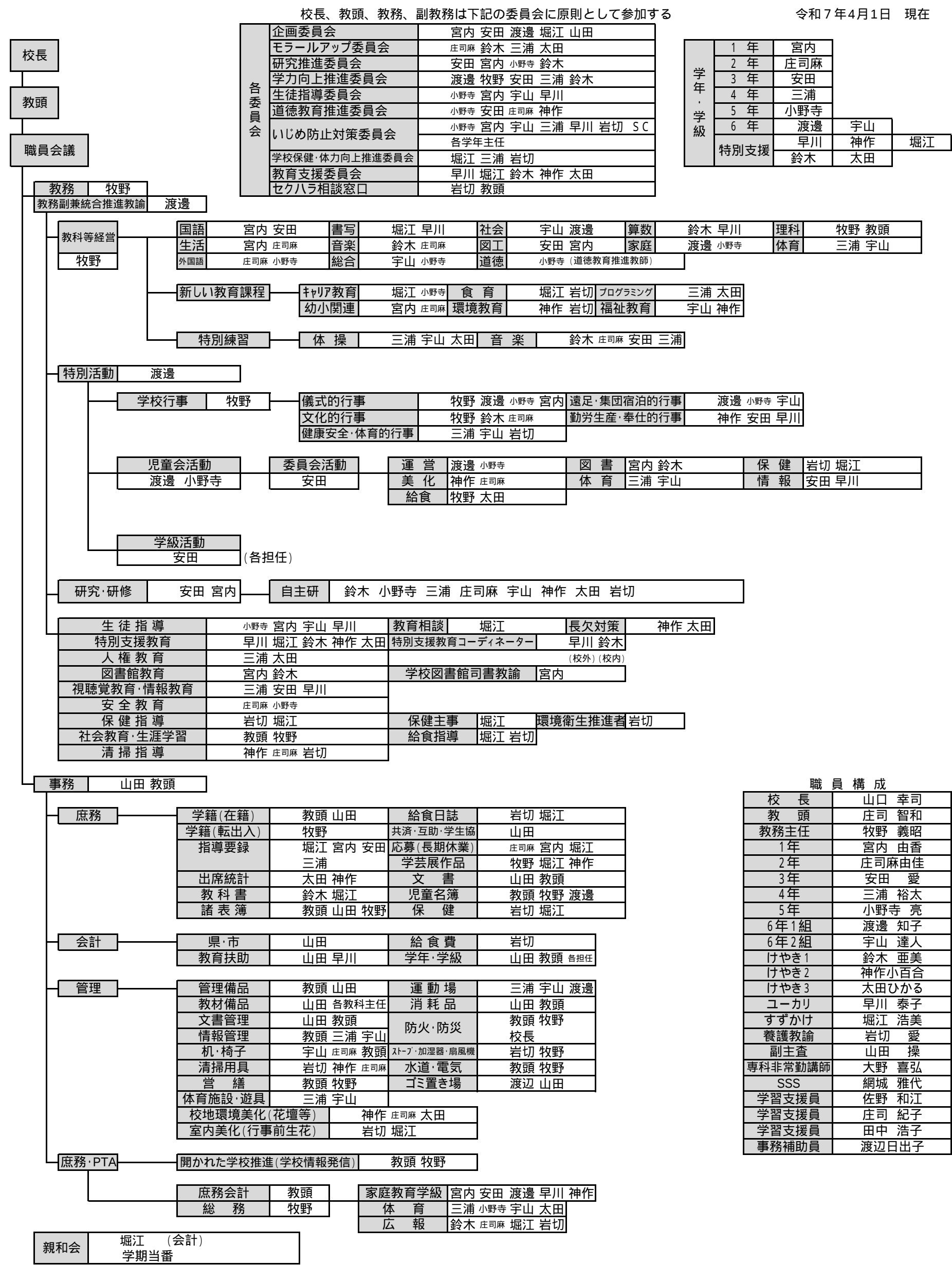
8 学級編成・担任

令和7年4月1日現在

学 級	児童数			担任等	主 な 分掌等	学 級	児童数			担任等	主 な 分掌等
	男	女	合計				男	女	合計		
校 長				山口 幸司	校務全般	6年1組	8	12	20	渡邊 知子	学力向上主任
教 頭				庄司 智和	庶務PTA	6年2組	9	11	20	宇山 達人	体育主任
教 務				牧野 義昭	教育課程	養護教諭				岩切 愛	学校保健
けやき1	4	1	5	鈴木 亜美	算数・自主研リーダー	副主査				山田 操	学校事務
けやき2	7	0	7	神作小百合	長欠・清掃担当	非常勤講師				大野 喜弘	理科専科
けやき3	5	1	6	太田ひかる	出席統計担当	支 援 員				佐野 和江	学習支援
ユ-カリ	5	1	6	早川 泰子	特別支援コーディネーター	支 援 員				庄司 紀子	学習支援
すずかけ	5	4	9	堀江 浩美	保健主事	支 援 員				田中 浩子	学習支援
1 年	11	12	23	宮内 由香	図書館・幼小関連	S S S				網城 雅代	学校・学習サポート
2 年	16	11	27	庄司麻由佳	安全主任	事務補助員				渡辺日出子	給食補助・学校用務
3 年	14	9	23	安田 愛	研究主任	教 諭				木村 香映	育児休業
4 年	6	20	26	三浦 裕太	体育主任	教 諭				大山 密	育児休業
5 年	18	13	31	小野寺 亮	生徒指導主任						

男子 103名 女子 91名 全校 194名

令和7年度 校務分掌



10 沿革

- 明 7.6 正木尋常小学校（大泉寺） 亀ヶ原尋常小学校（秀満院）開校
- " 7.7 那古東尋常小学校、那古西尋常小学校開校
- " 16.1 那古東、西尋常小学校を統合し、那古寺に那古尋常小学校開校
- " 17.1 正木、亀ヶ原両尋常小学校を統合し、大泉寺に正木尋常小学校開校
- " 34.4 明倫尋常小学校開校
- " 36.4 那古、正木、明倫尋常小学校を統合し、現在地に那古尋常小学校開校
- 大 12.9 関東大震災のため全校舎倒壊
- 昭 3.3 全校舎新築完了
- " 16.4 館山市那古国民学校と改称
- " 22.4 館山市立那古小学校と改称
- " 29.2 創立 50 周年記念事業実施
- " 29.4 那古小学校に付属幼稚園を設置（44.4 幼稚園独立）
- " 29.7 関東ブロック放送教育大会指定校として公開
- " 38.8 特殊学級設立
- " 44.4 幼稚園独立
- " 45.8 水泳指導用プール完成
- " 49.11 全国女子体育研究大会指定校として成果を公開
- " 52.9 校舎新築工事着工
- " 53.3 第 1 期工事完成、特別教室（図工室、理科室、音楽室、家庭科室 2 室）
- " 54.2 第 2 期工事完成、普通教室（10 教室） 保健室、放送室、玄関
- " 55.2 第 3 期工事完成、普通教室（4 教室） 図工室、職員室、応接室、事務室
- " 56.2 体育館完成
- " 57.9 校庭歩道舗装工事完了
- " 58.1 学校安全教育優良校として県教育長賞を受ける
- " 60.3 普通教室（3 教室）増築工事完成
- " 60.3 裏山健康体力づくり道路舗装完成
- " 61.3 体力づくり大型遊具等完成
- " 63.10 健康優良校として県教育長賞を受ける
- 平元.4 言語治療教室開設
- " 2.4 福祉教育推進校の指定を受ける（2～4 年度）
- " 2.8 言語教室改造工事、給食車進入路舗装工事完成
- " 2.11 那古 PTA、交通安全活動で千葉県教育長表彰
- " 4.3 飼育小屋、小鳥小屋完成
- " 4.9 ことばの教室、会議室前ベランダ側壁の窓建築工事完了
- " 5.3 音楽室床改修
- " 6.4 県教育委員会より「生徒指導推進地域指定」（2 ヶ年）を受ける
- " 7.11 「生徒指導推進地域指定」研究発表
- " 12.6 プール内塗装、プールサイド補修工事
- " 14.4 情緒障害児学級開設
- " 15.11 那古小創立 100 周年記念事業の実施、12 町内会の山車、屋台が校庭に集合
- " 17.3 アスレチック改修工事完了
- " 17.3 県教育委員会より「学校環境衛生教育」研究指定（17～18 年）
- " 18.1 ネットデイ実施
- " 18.4 地教連より学校課題研究推進指定校となる
- " 19.11 地教連指定により「国語力の育成」公開研究発表会実施
- " 19.12 校舎・体育館耐震工事
- " 20.4 全校文集「なごの子」全国表彰される
- " 20.11 自主公開授業研究会開催「国語力の育成」
- " 22.11 体育館外トイレ新設
- " 29.9 「命の大切さを考える防災教育公開事業」地区合同避難・引き渡し訓練実施
- " 29.11 「命の大切さを考える防災教育公開事業」防災教育公開授業・講演会実施
- 令 3.4 県教育委員会より「特色ある道德教育推進校」（2 ヶ年）研究指定を受ける
- " 4 県教育委員会指定「特色ある道德教育推進校」公開研究会 3 回実施

2025



館山市立北条小学校

所在地 館山市北条456

電話 0470-22-2141

FAX 0470-22-2142

館山市の教育施策

伝統を尊重しながら質の高い個性ある教育を実践するとともに、子供たちから明るい挨拶が聞こえる元気が学校づくりを推進する

「生きる力」の育成と教職員の働き方改革

- 教育内容及び方法の充実・改善
- 教職員研修の充実
- 教育環境の整備

保護者の願い

- ・心、頭、体、バランスよく育てほしい。
- ・基礎学力の定着を図ってほしい。
- ・学ぶ意欲を育成してほしい。
- ・思いやりのある子どもに育てほしい。
- ・一人一人にきめ細かな指導をお願いしたい。
- ・子どもたちの安全・安心を確保したい。

教育目標

たくましく現代に生きる子どもの育成

北条教育の理念

- ・子ども一人一人の人間性を尊重する教育。
- ・子どもたちの問題意識を中心にとらえ、枠を取りはらい自由で柔軟性のある教育を目指す。

子どもの実態

- ・活動的で、創造的である。
- ・地道な活動を選けたがる傾向がある。
- ・後片付けが苦手である。
- ・挨拶や返事ができる。

目指す学校像

活力あふれ、
夢が膨らむ学校

- ・子ども主体で、子どもにとっても教師にとっても楽しく活力あふれ、夢が膨らむ学校
- ・「あいさつ」と「歌声」が響く学校

目指す子ども像

認め合い、やり抜く子ども

- ・いろいろなことにチャレンジし、最後まであきらめずにやり抜く子ども
- ・自らの課題をもち、解決しようとする子ども
- ・自分の考えをしっかりと主張する、表現する子ども
- ・一人一人が違うことを理解し、認め合う子ども

目指す教師像

継承と変革をめざす教師

- ・北条教育が大切にしてきたものを知る教師
- ・教育目標、研究テーマを自分なりに実践し、具現化する教師
- ・教師自身がやりたいことをもち、自分自身を高める教師
- ・仲間と補い合い、支え合い、チームで最大の力を発揮する教師
- ・分担に耐え、分担を超える教師

本年度の重点

- ・子ども主体：子ども理解に立った子ども主体の教育活動の創造
- ・個性の尊重 子ども一人一人の良さを認め、さらに伸ばす
教員一人一人のやりたいことの実現と資質能力の向上
- ・チームの力を最大化：補い合い、支え合い、高め合い、協働

課題へのアプローチ（教育の成果は子どもの姿で語られる）

（１）学校経営：伝統の継承と変革

教育方針（教育理念）の共通理解と実践
安心・安全な学校

子どもや保護者との信頼関係に基づく経営
認め合い、高め合える教師集団の形成

（２）学習指導：やってみたい、話したがり育てる

基本的事項の徹底

「やってみたい」「できた」「わかった」を大切にした授業の工夫

表現する力の育成

ＩＣＴ活用による主体的・対話的で深い学びの展開

（３）生徒指導：子ども理解、生徒指導の質を１段階 Up

基本的事項の徹底

認め合える集団の育成

子ども理解

自ら考え行動できる子どもを育てる

（４）人材育成：自らを高め、魅力ある教師に

具体的目標をもち、成長を実感できる教師

授業力の向上

キャリアに応じた資質能力の向上

（５）働き方改革：ワークライフバランスのとれた教師に

業務改善に努める

時間外勤務の縮減

心身の健康の保持

迫る努力点

<学校経営>

- ・学校経営ビジョンや研究テーマを理解する。
- ・教育課程、研究・指導方法、教育環境の一体化を図る
- ・プラン実践検証サイクル(PDCA)の充実を図る。
- ・子どもの主体的取組を推進する。
- ・教師から明るい挨拶をする。
- ・教師の笑顔で子どもに安心感を与える。
- ・迅速かつ丁寧で誠実な対応に努める。
- ・情報発信(各便り、メール、ブログ)に努める。
- ・報連相を徹底する。
- ・校外における事故の要素を洗い出し対応策を徹底する。
- ・事故等の対応を全職員が的確に行えるようにする。
- ・産業医の活用を推進する。
- ・不祥事につながらないよう、小さな変化に目を配る。
- ・分担に耐え、分担を超える学校、学年。
- ・他学年の様子を自ら知ろうとし、全校的な視点を持つ。
- ・何事もチームで対応する。

<学習指導>

- ・学習規律の何を、いつまで、どのように身につけるのか、各学年で明確にして取り組む。
- ・教師が授業の開始時間を守る。
- ・学習問題とまとめの一致。
- ・評価時期を明確にし、対策を講ずる。
- ・評価での説明責任を果たす。
- ・デジタルドリルを効果的に活用する。
- ・学習支援員、外部講師等を有効活用する。
- ・問題解決型の授業となるよう、学習過程を工夫する。
- ・導入を工夫し、「やってみよう」気持ちを持たせる。
- ・「できた」「わかった」を実現する手立ての工夫と継続的な働きかけを行う。
- ・45分の中に思考場面を十分に確保する。
- ・発達段階に応じ、体験活動、グループ活動を導入する。
- ・話したい、伝えたい気持ちとなる授業を工夫する。
- ・発表機会を確保し、学び合いを重視する。
- ・聞き手を育てる。
- ・ICTの活用による主体的・対話的で深い学びを展開する。

<生徒指導>

- ・「北条っ子の一日」を共通理解し、守れるようにする。
- ・いじめ防止基本方針の理解促進。
- ・思いやりのある言葉を使えるようにする。
- ・発達段階における、子ども理解を図る。
- ・休み時間の子ども様子を把握する。
- ・子どもの話(言い分)を丁寧に聞く。
- ・教室に一人一人の居場所をつくる。
- ・一人一人の良さががんばりを伝える工夫をする。
- ・授業での認め合う場面を大切に作る。
- ・課題を自ら解決できる方法を考えさせる。
- ・子どもの個性を認め、その子に応じた指導をする。

<人材育成>

- ・各分掌の今年度の具体的目標を設定し、達成に向けて努力する。
- ・例年通りではない、新たな試みを工夫する。
- ・教員としてのキャリアを向上させる取組をする。
- ・日々の授業を大切にする。
- ・教材研究、指導法の研究に励む。
- ・1人1実践(公開研究会、指導室訪問の活用)。
- ・交換授業、教科担任制に積極的に取り組む。
- ・OJTの充実を図る。
- ・「どうしたらよいですか」ではなく、「～したいが、どうですか」と尋ねる教師となる。
- ・自分だったら...と常に考える教師となる。
- ・子どもの気持ち、保護者の気持ちに寄り添える教師となる。
- ・若手研修を実施する。

<働き方改革>

- ・既成の方法にとらわれず、改善できることを洗い出す。
- ・「明日を語る会」で検討し、職員自らが改善の意識を持つ。
- ・ICT、デジタル機器を効果的に導入する。
- ・見通しをもった業務遂行に努める。
- ・授業時数の適切な運用を行うための時数の適切な管理と授業の充実を図る。
- ・互いのモチベーションを高める声のかけ方を工夫する。

職員構成

		校長 石川 康浩	教頭 鈴木美枝子
1	年	徳永武史(主)、鈴木綾乃、武田薫子(副)	
2	年	郡司翔梧(主)、小山 裕、鈴木里奈(副)	
3	年	高木 恵(主)、和田拓海(副)、渡かなえ	
4	年	江澤真里(主)、中川大珠、山口彩乃(副)	
5	年	奥村麻美(主)、堀瑞真紀(副)、北原萌未	
6	年	島田理央(主)、佐粧啓子(副)、坂井啓佑	
特 別 支 援		押本一代里(主)、秋山雅彦、木本みゆき、佐久間博紀、大山一郎、庄司喬允(副)、石井麻子、鈴木友和、大金美穂、山田 淳、鈴木智子、網代明子	
カリキュラム管理室		山下剛史(教務主任)、坂口由紀子、吉見聡雄、伊藤みな江(専科)、小澤純子(訪問相談担当)、鈴木容子(初任研指導)、田中圭祐(長期研修)、田山優子、伊介麻央(きめ細かな指導)	
事 務 室		鈴木久美子(事務長)、宮本佳織(副主査)、大川千秋(養護教諭)、畔上未奈子、平島弘子(事務補助員)、庄司憲弘(教頭マネジメント支援)	
		松本沙希、熊澤あさな、田邊あい、小川すみれ(休暇)	

児 童 数

(R7.5.1現在)

年	1	2	3	4	5	6	知的	自閉・情緒	合計
人数	76	75	76	80	90	101	35	26	559

教育課程

「たくましく現代に生きる子ども」を育成する教育課程

1. 核としての「北条プラン」

本校の教育目標「たくましく現代に生きる子どもの育成」具現化のための教育課程編成の核は、北条プランの編成である。北条プランは、目の前の子どもに理想として与えるべく編成した北条小独自の教育課程である。北条プランは、常に絶えることなくPDCA サイクルを繰り返し、「プラン」(1962)から始まり、平成 29 年度に「北条プラン」が完成した。

平成 28 年からは「創時力」を育成するために最も必要なことは何かを考え、思考力に焦点を当てることとし「創時力における思考力」をテーマに研究を進め令和元年度に公開研究会を実施した。

令和6年度からは新たに「社会に生きる個性の創造」を新たな研究テーマとし、新しい授業像を模索している。このテーマと関連づけながら「北条プラン」をPDCA サイクルで改善しながら作成していく。

2. 今年度の教育課程編成と具体的方策

下記にある目指す子ども像を念頭に置き、次の具体的方策を教育課程編成の視点及び手立てとする。

- (1)一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子
- (2)思いやりと優しさをもち、前向きに生きる子
- (3)やり遂げる意思と体力の向上を目指す子
- (4)あらゆる場での問題解決能力の向上

一人でも仲間とでも、主体的・創造的に学び、豊かに表現する子
学び方を学ばせる

授業改善に努め、わかる授業を目指し、一人一人の学力を確実に向上させる

子どもたちの主体的・創造的な学習を積極的に展開する

学習内容を積極的に工夫する

目標に応じて、学習形態を柔軟にする

令和の日本型教育を意識した取り組みの充実

思いやりと優しさをもち、前向きに生きる子

思いやりの心をもち、前向きな子を育む

地域の方との連携

自治的活動の推進

道徳教育の充実

生徒指導及び特別支援教育の充実

やり遂げる意思と体力の向上を目指す子

体力・意欲力の向上

体力向上委員会を活性化

昼のフリータイムを活用した体力向上

学校保健委員会を活性化

いろいろなことにチャレンジできる子の育成

あらゆる場での問題解決能力の向上

切実な問題意識を持たせる

個々の考えや思いの形成の場を設ける

互いに高め合える関わりを形成する

具体的、体験的な学習を取り入れる

振り返りの場の確保

指導と評価の一体化を図る

【カリキュラムの編成にあたっての留意点】

カリキュラムの作成、運用にあたって

は、学校教育目標の実現に向けてカリキュ

ラムマネジメントの視点を持って作成に

あたる

教科横断的な学び

P D C A サイクルの活用

教育資源の活用

3. 研究・研修計画

(1) 研究テーマ

「社会に生きる個性の創造」(2年次)

高度な情報化が進んだ現代においては、自分の興味・関心があることを追究していくことが益々重要となる。自分の強みを認識し、伸ばし、自己肯定感を得ていくことで、自分の人生を切り開いていくたくましさ身に付けていく必要がある。自分の個性を発揮しながら、他者と協働的に、新たな価値を想像していくことこそ、現代に求められるたくましさであると考え、研究テーマを「社会に生きる個性の創造」とした。

(2) 目指す子ども像

自分の個性を自覚し、それを活かそうとする子ども

学び合いを通して、他者の個性を尊重したり、自分の個性を磨こうとしたりする子ども

課題を見つけ、解決の方法を考え、社会(集団)に働きかけようとする子ども

(3) 研究の視点

個性が表出される授業を通した多様性の尊重

子ども主体の授業展開

自己選択・自己決定機会の確保

三層構造による単元構想

個人追究と集団追究の調和

(4) 研究の進め方

・一人1実践のプラン実践を行う。

・研究教科グループは各教科(統合・算数・国語・理科 他)、特別支援学級の担任は特学内でグループを構成する。

・同じ研究教科グループのメンバーは原則として参観、同学年職員もできるだけ参観して協議会に出席する。

・各展開教科で協力員を要請する。指導主事も可とする。

本校の沿革

明治 5	北条・八幡・高井の三学区が基本金を抛出し、学校許可を申請 翌 6 年認可	59	言語障害教育研究会開催
6	北条学区小学校を旧長尾藩陣屋を仮校舎として開校	60	「望ましい運営と指導のあり方を求めて」にれの木そばに彫刻「断片」設置
11	三学区を合併し、北条尋常小学校と改称		千葉県視聴覚教育研究大会開催
12	長須賀編入 北条 1740 番地に新校舎完成	61	「クローズアップ北条」作成
大正 7	講堂完成		第 7 回全国公開研究会
12	関東大震災で校舎全壊		「学校の人間化—自己学習力の育成」
昭和 14	市政施行 館山市立北条小学校と改称	62 長谷川純夫	学習プラン 作成刊行
16	館山市立北条国民学校と改称	63	「教育技術法則化運動」と共同研究
21	和泉久雄 生活教育 5 か年計画を立てる。	平成 元	本館スカイライト・外壁全面改修
22	(学 校 長) 館山市立北条小学校と改称		第 8 回全国公開研究会
	「コミュニティに立つ民主教育の実践」出版		「子ども文化の創造 冒険する子どもたち」
	社会科公開研究会	2 土橋保夫	大規模改修開始(屋根・サッシ)
24	「コアカリキュラムの構成と展開」出版	3	大規模改修(サッシ・ポーチ)
	第 1 回全国公開研究会		大規模改修完了 普通教室を特別教室に
	PTA 設立	4	一部転用 情緒障害学級開設
27	開校 80 年祭記念事業実施		プラン 作成刊行
	和泉久雄校長 読売教育賞受賞		学習のオープン化公開研究会
30	第 2 回全国公開研究会「生活教育」	5 柴山 齋	「子ども文化の創造—自己創造力の育成 - 」
	(生活カリキュラム 生活単元)	6	ティームティーチング教員 2 名配置
35 安田豊作	「たくましい人間」教育の発想	7 武田金市郎	第 9 回全国公開研究会「新しい生活教育」
37	学習の効率化をめざす「教材の組織案」		時事通信社教育奨励賞優秀賞及び文部
	(学習プラン) 作成		大臣賞を受賞
	精薄学級開設	8	文部省「読書指導」研究指定校(7、8 年度)
	第 13 回関東ブロック放送教育研究会		北条教育公開研究会
	(教育近代化の基礎、機器利用学習)		「新しい生活教育 - 最適空間の創造 -
38	千葉県下公開研究会(個別化と集団化)		学校のミュージアム化」
39	「学習指導の個別化と集団化」出版	9 佐藤宏武	本館防水工事実施
	第 3 回全国公開研究会(ティームティー		校庭整備(暗渠排水工事) 実施
40	チング・プログラム学習等提案)		上越教育大附属小、山口大教育学部附
	市民科公開研究会「学校教育において市		属小、奈良女子大附属小で北条小学校
	民意識をどう育てるか」	12	の「統合学習」提案
	土曜日をスポーツデーとする		第 10 回全国公開研究会開催
	「実践ティームティーチング」出版		「生活力ある子どもであれ」
	言語治療学級開設		学習プラン 作成刊行
	カリキュラム管理室の創設	13 安西迪彦	「ふだん着の総合学習」出版
44	第 4 回公開研究会「教育のシステム化」	14	にれの木広場に芝生を張る
45	新校舎竣工(現校舎)		教室用テレビすべて更新(市予算)
	北条 456 番地に移転(9 月)		VTR も併せて設置(PTA 予算)
	「教育のシステム化実践」出版	15	校旗の寄贈を受ける(木更津在住山田ぬい様)
46	千葉県視聴覚教育研究会開催		校内 LAN 設置ネットデイ
	プール竣工	16	文部科学省 総合学習 調査研究協力校
	視聴覚教育学校部門文部大臣賞受賞		第 11 回全国公開研究会開催
	幼児教育研究会(1 年授業) 開催	17 諸岡 研	「生きることに有能な子どもを育てる」
47 高木 正	関東ブロック放送教育研究大会開催	18	千葉県造形教育部会研究発表会
48	(千葉県視聴覚教室研究大会)	19	黒潮サミット開催、ネットデイシンポジウム
	教育のシステム化公開研究会「自己開発」		第 12 回全国公開研究会開催
	開校百年祭実施「北条小百年誌出版」		「生きたつながりを創造する子どもたち」
	館山市「体力づくり」研究指定校	20 溝江 晃	中庭の樹木の剪定(同窓会の協力)
51 吉田隆夫		21	県指定「ちばっ子」学びフェスタ授業公開
52	第 5 回全国公開研究会開催	22	千葉県学校教育功労表彰
	「創造的市民の育成」	23	第 13 回全国公開研究会開催
	文部省研究開発指定校(52～54)		「生きたつながりを創造する子どもたちの育成」
	(教育課程の研究開発)	24 八巻一哉	校舎耐震補強 改修工事第 期
	千葉県算数数学教育研究会会場校	25	校舎耐震補強 改修工事第 期
53	「ゆとりと充実の実践」出版 東洋館刊	26	校舎耐震補強 改修工事第 期
54	校舎(5 年棟 6 年棟) 竣工(3 月)	27	第 14 回全国公開研究会開催
	下真倉の一部、北条学区に編入		「創時力」の育成
54	校舎(本館・低学年棟) 屋根全面補修	28 田中順勝	正門・「にれの木広場」改修完了
55	本館前に大木移植	29	北条プラン XI 作成刊行
56 田島克巳	第 6 回全国公開研究会		千葉県教育研究会社会科部会研究大会
57	「学校の人間化をめざして」	令和 元 山口健一	安房大会にて授業公開
	県教育委員会指定「幼小関連教育」研究		台風により被災した体育館の修理
	指定(57・58)		第 15 回全国公開研究会開催
	PTA による青空タワー建設	令和 3 安藤深佳子	G I G A スクール環境整備
昭和 58 金木賢三	県教育委員会指定「幼小関連教育」		新型コロナウイルス感染症拡大防止のための
	公開研究会開催「遊ぶ力を学ぶ意欲に」	4	分散登校(9.1～9.10)
	交通安全こども自転車大会 全国優勝		通級指導教室「ステップ」開設
	本館アルミサッシに全面改修	令和 6 石川康浩	創立 1 5 0 周年記念行事開催
			プール改修工事



館山市立館山小学校

所在地	館山市館山 3 1 7
電 話	0 4 7 0 - 2 2 - 2 1 5 5
F A X	0 4 7 0 - 2 2 - 2 1 5 4

1．学校教育目標

『やればできる』『やさしくなれる』『やすまずできる』

2．めざす子ども像

- (1) 『やればできる』 ～夢を持って進んで学習する子～
 - ・「やってできた」という体験を積み重ねる子ども
 - ・生きて働く学力を身につけた子ども（思考力・非認知能力）
 - ・新しいことにチャレンジする子ども
- (2) 『やさしくなれる』 ～相手を気遣い思いやりのある子～
 - ・思いやりの心を持ち、友達の良さや弱さを認め合える子ども
 - ・友達の失敗や間違いを受け入れる子ども
 - ・仲間とともに活動を楽しめる子ども
- (3) 『やすまずできる』 ～たくましく活力に満ちた子～
 - ・健康に関心を持ち、休まず登校できる子ども
 - ・運動に親しむたくましい子ども
 - ・諦めず粘り強く継続する子ども

3．めざす学校像

- (1) 笑顔で登校し、進んで学習に取り組める学校
- (2) 明るい挨拶、元気な歌声、意欲的な取り組みに満ちた学校
- (3) 清潔で機能的に整備された学校
- (4) 地域・家庭との連携により、子どもの成長を共にめざす開かれた学校

4．経営のコンセプト ～わたしらしく あなたらしく 館小らしく～

- (1) 当たり前を捨てる
- (2) 子どもと共に歩む
- (3) 思考力を育てる

5．四大ミッション

- (1) 公開研究会の充実
- (2) 長欠ゼロを目指した取り組み
- (3) なかよし言葉・挨拶・歌声の展開
- (4) 生活・学習習慣の確立

6 . 研究計画

【研究主題】

進んで学習する子どもの育成をめざして

- 子どもに学習力を！ 教師に授業力を！ 「館小モデル」での取組 -

7 . 学級編制・担任・学校医

(令和7年5月1日現在)

校長 鈴木 賢一 教頭 吉田 香 教務主任 黒政 晋太郎
職員 37名(市職含む) 学級数 19 児童数 314名

	1 組	2 組
1 年	渡邊 聡美(主)	吉田 佳織
2 年	日高 美樹	天野 楓(主)
3 年	川上 将伍(主)	風間万莉子
4 年	田中 光葉	御子神由美子(主)
5 年	吉野 高史(主)	吉川奈津子
6 年	福田 雅昂	中田 愛乃(主)
特別支援	1 組(知的)	2 組(知的)
	庄司 歩(主)	石井 希
	5 組(情緒)	6 組(情緒)
	尾形 伸一郎	荒井麻友子
ことば	須田麻称美	
L A	高橋 洋子	
< 児童支援・理科担当 > 吉野 薫 < 養護教諭 > 鈴木 三鈴 < 県事務 > 和泉 玲子 < スクールカウンセラー > 牛山 聡子 < 市事務補助員 > 鈴木 玲子・佐久間 紀 < 学習支援員 > 加藤視南子・田村裕美子・生稻 裕子・高山 好代・高木 操 < 給食配膳員 > 柳原三和子 < スクールサポートスタッフ > 古谷野 薫		
< 学校管理医 > 原 徹(内科) < 内科 > 鈴木 正義・小谷有理子・河田 祥吾 < 歯科 > 竹内 徹・林 宏己・堀口 隆 < 眼科 > 佐伯 雅基 < 耳鼻科 > 小林 直樹 < 薬剤師 > 久保 等		

8. 校務分掌

[illegible]

公文書	文書受理		和泉													
	発送文書		教頭		和泉											
	和泉	作成文書	教育課程		教科等		教科書		出席統計	長欠報告	保健統計	保健セ	スクールバス			
			黒政	川上	各主任	須田	和泉	吉野薫	吉野薫	鈴木三	鈴木三	鈴木玲				
異動・転出入			要録		施設台帳		備品台帳	調査統計	服務	共済互助	給食					
		川上	須田	川上	須田	高橋	鈴木玲	鈴木玲	和泉	和泉	和泉	鈴木玲				
経理	和泉	県会計	市会計	給与	就学援助	特学奨励費										
		和泉	鈴木玲	和泉	鈴木玲	鈴木玲	高橋									
		保健会計	ベルマーク	募金	職員会計											
		鈴木三	黒政	石井希	和泉											
		PTA	給食	名札												
	教頭	鈴木玲	鈴木玲													
備品等	教頭	共通	各教科	視聴覚	児童図書	清掃用具	机椅子	スリッパ	拾得物	ストーブ	パソコン					
		教頭	主任	福田	高橋	日高	吉野薫	鈴木玲	鈴木玲	尾形	福田					
		教師図書														
	須田															
施設	A棟	3階	6年教室	廊下	学友会室	PC	図書室	便所	学年室	算ル-ム	多目的室	LAルーム	なかよし7			
				高橋	(倉庫)	福田	高橋	坂本				高橋	坂本			
		2階	3年教室	廊下	理科室	家庭科	オープンR	便所	学年室	算ル-ム	英ルーム	LAルーム	ボールスト-ブ	倉庫		
				吉野薫	吉野薫	吉川		荒井								
		1階西側	ことばの教室		昇降口	男便所	女便所	カウンセリングルーム	な学年室	女更衣室						
					黒政	黒政	鈴木三	鈴木三	庄司歩	坂本						
		1階東側	給湯室	便所	倉庫	保健室	会議室	会議室前掲示	印刷室							
			鈴木玲	佐久間	鈴木玲	佐久間	鈴木三	鈴木玲	黒政	鈴木玲						
			男更衣室	職員室	校長室	事務室	昇降口	放送室	玄関	掲示板						
			川上	黒政	和泉	和泉	黒政	福田	須田	田中						
	B棟	3階	5年教室	廊下	音楽室	6年教室	学年室	便所	4年2組							
			担任	中田	風間	担任	吉野高	福田	御子神							
		2階	2年教室	廊下	図工室	学年室	便所	4年1組								
			担任	天野	御子神	川上	風間	田中								
		1階	1年教室	廊下	オープンスペース	給食室	学年室	便所	営繕室	言葉・会議室						
	C棟	2階	担任	渡邊	渡邊	吉田佳	渡邊	吉田佳	佐久間	須田						
			教室	廊下	オープブルーム	便所	学年室	資料室								
		担任	出山	尾形	石井希	庄司歩	尾形									
		屋外施設	福田	体育館	体育館倉庫	体育館袖	体育館便所	遊具	グランド	プール	体育倉庫					
	体育部			体育部	体育部	鈴木三	体育部	体育部	体育部	体育部						
体育部	学校園		ゴミ捨場	屋上	掲示板											
	吉野薫		佐久間	教頭	田中											
他	佐久間	水上倉庫	C昇降口	石油倉庫	玄関倉庫	B西倉庫	格納庫									
		佐久間	佐久間	佐久間	佐久間	佐久間	佐久間									
連携	教頭	PTA	幼稚園		保育園	中学校	校外指導部	評議員								
		教頭	黒政	川上	渡邊	渡邊	中田	黒政	教頭							
		学警連	民生委員	共済	学生協	施設開放	PC・ネット	安心安全サポ-ター	学童クラブ	放課後子ども教室						
		田中	鈴木玲	和泉	和泉	教頭	福田	教頭	教頭	教頭						

体育部	
1年	吉田佳
2年	日高
3年	川上
4年	田中
5年	吉川
6年	福田
なかよし	荒井

厚生	運営委員会	黒政	各学年
----	-------	----	-----

9. 沿革

- 明6.7 館山小学校設置、長福寺を仮校舎とする
- 12.6 館山・上須賀・沼・宮城の各校を統合する
- 23.7 館山町上天王下御霊台に校舎を建設する
- 大3.4 館山町・豊津村合併で両校統合、館山尋常小学校
- 11.3 現地校に校舎建設開始、途中関東大震災にあい、以来6か年で4棟の校舎新築
- 昭2.5 講堂竣工、10月本館竣工
- 4.9 第5校舎新築する
- 16.4 館山市館山国民学校と改称する
- 22.4 館山市立館山小学校と改称する
- 29.7 創立80周年記念事業として校庭を拡張する
- 43.3 「授業の急所」を明治図書より発刊する
- 46.8 鉄筋三階建防音校舎の建築工事を開始する
- 49.3 同数室の第一・第二・第三期工事竣工する
- 50.4 文部省教育課程（理科）研究指定校となる（昭50～51年度）
- 52.10 同上 全国公開研究会開催する
- 54.4 文部省指定校（心身障害児理解推進）となる（昭54～55年度）
- 54.4 県教委より安房博物館協力校の委嘱を受ける（昭54～56年度）
- 54.7 校舎増築工事竣工する
- 55.11 文部省指定校心身障害児理解推進全国公開研究会を開催する
- 56.10 県健康優良校表彰を受ける
- 58.7 校地・校庭・校舎・環境整備充実運動開始
- 59.5 校門わき彫刻設立、その他校地・校庭・校舎などの環境整備
- 60.3 体育遊具施設設置
- 61.4 玄関内装整備
- 61.7 水上小との交歓会20回目を迎える
- 62.3 体育遊具施設（アスレチック）完成
- 62.4 ことばの教室開設
- 63.9 体育倉庫完成
- 63.10 県音楽教育公開研究会を開催
- 平元.2 体育遊具施設（アスレチック）完成・校庭東側に植樹（ヒマヤラスギ17本）
- 2.4 県特殊教育センター研究協力校（平成2・3年度）
- 2.12 玄関トロフィー戸棚完成
- 3.11 財団法人・才能開発教育研究財団より才能開発実践教育賞を受ける
- 4.4 千葉県環境学習モデル校として指定される
- 4.8 校舎1棟（外壁・屋上・内装・床）全面改修、体育館内トイレ新設
- 5.8 校舎2棟（外壁・屋上・内装・床）全面改修、体育館壁・床改修
- 7.2 体育館ステージ下パイプ椅子収納台車取り付け
- 8.6 「千葉県夢を育む教育推進地域」及びNTTこねっとプランの指定をうける（～9年度）
- 10.4 千葉県教育委員会より「生徒指導推進地域」の指定をうける（～11年度）
- 14.2 ゴルフ場基金による植栽 榎100本 桜5本など
- 14.3 パソコン40台導入 インフラ整備事業
- 14.4 文部科学省「学力向上フロンティアスクール」の指定をうける（～16年度）
- 15.4 学校評議員委嘱
- 16.12 文部科学省「学力向上フロンティアスクール」公開研究会を開催
- 17.10.11 NEXT学力向上フロンティアスクール公開研究会開催
- 18.10.11 第3回・第4回「授業力」向上実践研究会開催
- 19.10.11 第5回・第6回「授業力」向上実践研究会開催
- 20.10.11 第7回・第8回「授業力」向上実践研究会開催
- 21.10.11 第9回・第10回「授業力」向上実践研究会開催
- 22.10.11 第11回・第12回「授業力」向上実践研究会開催
- 23.3 東北地方太平洋沖地震が発生(11日14時46分 震度5弱)、津波警報発令により児童引き渡しにて下校。
- 23.10.12 第13回・第14回「授業力」向上実践研究会開催
- 24.11.12 第15回・第16回「授業力」向上実践研究会開催
- 25.11.12 第17回・第18回「授業力」向上実践研究会開催
- 26.11 教育功労者表彰 学校教育の部（団体）受賞
- 26.11.12 第19回・第20回「授業力」向上実践研究会開催
- 26.7 体育館・校舎北棟耐震改修工事（～27.3）
- 27.7 校舎東棟・西棟耐震改修工事（～28.3）
- 27.11.12 第21回・第22回「授業力」向上実践研究会開催
- 28.11.12 第23回・第24回「授業力」向上実践研究会開催
- 29.5 「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」研究指定（～31年度）
- 29.11.12 第25回・第26回「授業力」向上実践研究会開催
- 30.7 台湾 崇明國小との学校交流会開催
- 30.11.12 第27回・第28回「授業力」向上実践研究会開催
- 令元.11.12 第29回・第30回「授業力」向上実践研究会開催
- 2.12.4 第31回「授業力」向上実践研究会開催
- 3.11.12 第32回・第33回「授業力」向上実践研究会開催
- 4.4 LA教室開設
- 4.11 第34・35回授業力向上公開研究会開催（12月と2回実施）
- 5.10 第36・37回授業力向上公開研究会開催（12月と2回実施）
- 5.10 創立150周年記念行事
- 6.11 第38回授業力向上公開研究会開催（1回実施）



館山市立西岬小学校

所在地 館山市加賀名 1 5 1
電 話 0470-29-0300
F A X 0470-29-2207

1 学校教育目標

ひとりでできる みんなでできる
～ 将来を見つめ、心豊かに進んで行動できる子どもの育成～

【 めざす学校像 】	【 めざす児童像 】	【 めざす教師像 】
安心感のある学校 「チーム西岬」 子どもたちが生き生き と活動する学校 誰もが安心して楽し く過ごせる学校 保護者、地域に信頼さ れる学校	西岬小のあいうえお ○挨拶、一生懸命、運 動、笑顔、思いやり 学ぶ楽しさを見出 し、進んで学ぶ子 元気に活動し、チャ レンジする子	子どもと共に向上する 教師 認めて、褒めて、励まし て子どものよさを伸ば す教師 子ども、家庭、地域に信 頼される教師 自らも学び、信頼し合え る教師集団

2 経営の方針

- (1)一人一人の教職員が教育目標を具体的に理解し、具現化を目指して自己の力を惜しみなく発揮する学校経営を目指す。
- (2)一人一人の児童が充実した学校生活をおくれるよう、好ましい教育環境と安全・安心な教育を推進する。
- (3)「確かな学力」の向上を目指し、「生きる力」を育む、特色ある社会に開かれた教育課程の編成と実践を行う。
- (4)教職員・児童が自他を大切にし、互いに助け合い向上し合う、明るく心の通う挨拶が響き合う学校を目指す。
- (5)全職員が積極的に経営参加し、創造力と活力に溢れる学校づくりに努める。
- (6)海洋教育、道徳教育の充実を図り、命を大切にし、主体的に活動する児童の育成に努める。
- (7)絶えず研究と修養に努め、資質能力の向上と創意ある教育活動の展開に努める。
- (8)家庭・地域とつながり、よい環境づくりを推進し、信頼される学校を目指す。

3 研究計画

研究主題

「主体的・対話的で深い学びを実現し、自分の考えを自分の言葉で表現できる子の育成」

研修計画

- | | |
|------|---|
| 1 学期 | 研究の組織・方向性の確認と実態把握
要請訪問を活用した授業実践（一人一実践・5月～7月） |
| 2 学期 | 要請訪問を活用した授業実践（一人一実践・9月） |
| 3 学期 | 研修のまとめと次年度の方向性 |

4 日課時程

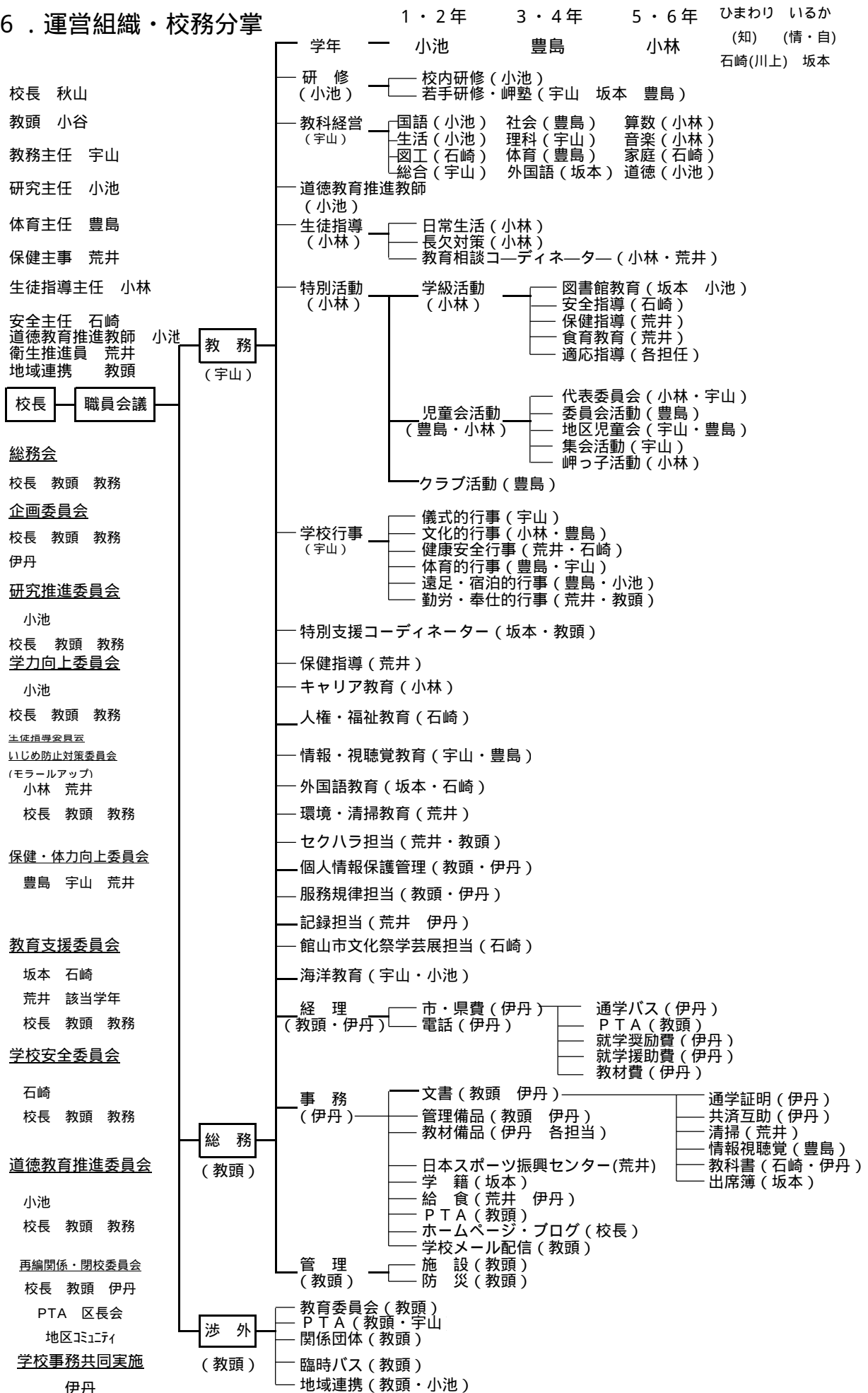
8:10 ～	8:20 ～	9:15 ～	10:20 ～	11:15 ～	12:00 ～	12:30 ～	13:15 ～	13:35 ～	13:50 ～	14:45 ～	14:40 または 15:35
8:20	9:05	10:00	11:05	12:00	12:30	13:10	13:30	13:50	14:35	15:30	15:35
朝 の 会	一 校 時	二 校 時	三 校 時	四 校 時	給 食	昼 休 み	学 び 月・水・木 掃除火・金	帰 り の 会	五 校 時	六 校 時	下 校

月・水 1～2年... 5校時後下校、3～6年... 6校時後下校
火・金 1～3年... 5校時後下校、4～6年... 6校時後下校
木 全校... 5校時後下校

5 学級編成・担当

項 目	児 童 数			氏 名	お も な 担 当
	男	女	計		
校 長				秋山 里和	校務全般
教 頭				小谷 佳範	総務 渉外 PTA 地域連携
教務主任				宇山 望	教務主任 学校行事 理科
1・2年	2	3	3	小池 慶子	研究主任 国語科 生活科 道徳教育 海洋教育
3・4年	5	7	12	豊島 光輝	体育主任 社会科 児童会活動 ICT教育
5・6年	7	6	13	小林 美智	算数科 音楽科 特別活動 生徒指導主任 キャリア教育
ひまわり	1	0	1	石崎 真由美 (川上亜耶香)	図画工作科 家庭科 市学芸展 安全主任 人権・福祉教育
いるか	1	1	2	坂本 英実	外国語 特別支援教育コーディネーター
養護教諭				荒井 澄子	保健主事 衛生推進員 けが防止
事 務 長				伊丹 隆	学校事務 文書管理
学 習 支 援 員				波佐間美和子	特別支援教育学習支援
事 務 補 助 員				田邊 千恵	事務補助 配膳補助
スクールサポートスタッフ				畑 絵里子	事務補助
合 計	16	17	33		

6. 運営組織・校務分掌



7. 沿革

東小学校

明治 7. 4 39. 1 昭和 29. 5	西岬村立塩見小学校(宝蔵寺)及び波左間小学校設置(光明寺)設置 塩見・波左間両校合併。東小学校と称す。 館山市立東小学校と改称
------------------------------	---

西小学校

明治 7. 4 8.10 42. 6 昭和 29. 5 37. 3	西岬村立伊戸小学校設置（7月 円光寺に開設） 川名学区を分割、川名小学校設置 伊戸・川名両校合併。西小学校と称す。 館山市立西小学校と改称 洲崎分校を廃し本校に統合
---	--

- 昭和 57. 4. 1 東小学校と西小学校が統合し、館山市立西岬小学校として開校
- 5.24 校章制定(吉村三芳先生)
- 6.11 校歌作詞作曲依頼(作詞 宋 左近先生 作曲 三善 晃先生)
- 58. 2.13 校舎増築・園舎改築工事完成
- 2.27 開校記念祝賀式を挙行(この日を創立記念日とする)
- 59. 8. 2 講堂新築工事開始
- 60. 3.10 講堂竣工祝賀式ならびに学芸発表会
- 61. 2.27 創立記念学習発表会。交通安全協会西岬支部へ感謝状贈呈
- 62. 8. 5 校門より児童昇降口まで舗装完了
- 11.19 校門付近花壇ブロック工事完了
- 平成 1. 8. 3 本校児童3名人命救助で警察署より表彰
- 2. 8 校庭周辺垣根補修（PTA）
- 3.11.28 創立10周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
- 4. 1.22 県教育委員会「学校保健優良校」表彰
- 7. 3.10 体育倉庫屋根の葺き替え
- 8. 3.10 遊具施設（雲梯）設置
- 8. 4. 1 県教育委員会「夢を育む教育推進指定地域」の指定
- 8.12.20 遊具施設（ジャングルジム）設置（創立15周年記念事業）
- 9. 4. 1 県環境部「環境学習拠点校」の指定(平成9～10年度)
- 9.12.24 三旗掲揚塔周辺花壇整備(PTA)
- 10.10. 6 花壇散水器設置
- 11. 2.15 くだもの山整備(環境学習推進拠点校)
- 11. 3 「総合的な学習」実践資料（環境教育編）まとめる
- 12. 3 「総合的な学習」実践資料 まとめる
- 13.11.17 創立20周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
- 14. 4. 1 文部科学省「学力向上フロンティアスクール」の指定(平成14～16年度)
- 17. 4. 1 県社会福祉協議会「福祉教育推進校」の指定(平成17～19年度)
- 21. 4. 1 県教育委員会「キャリア教育の推進校」の指定
- 23.12. 3 創立30周年記念式典を挙行。記念誌「にしの岬」発行
- 24. 1.26 キャリア教育優良学校文部科学大臣賞受賞
- 25. 3. 1 体育館ステージ幕改修(創立30周年記念事業)
- 26. 1.31 西棟耐震改修工事完了
- 安房地区教育委員会連絡協議会より研究指定校に指定(平成28～29年度)
- 28. 9.27 海洋教育発表会（公開）
- 29.11.30 道徳教育公開研究会
- 令和元. 3 体育館改修工事完了
- 4. 3.16 創立40周年記念事業。記念誌「にしの岬」発行



館山市立房南小学校

所在地 館山市佐野 2 0 7 0
電 話 0 4 7 0 - 2 8 - 0 0 5 9
F A X 0 4 7 0 - 2 8 - 2 5 6 9

・学校教育目標

かしこく なかよく 元気よく

・めざす子どもの姿

1. 確かな学力が身に付いた子 (かしこく)
 - (1) 基礎・基本が身に付いている。
 - (2) 学ぶ意欲がある。
 - (3) 自ら考え、よりよく問題解決(表現)する。
2. 豊かな心をもった子 (なかよく)
 - (1) 挨拶ができる。
 - (2) 認め、協力し合う。
 - (3) 家庭・地域を理解し、愛する。
3. 心身のたくましい子 (元気よく)
 - (1) 健康・安全に気を付ける。
 - (2) 外遊びをする。
 - (3) めあてに向かってがんばる。

・本年度の重点

1. 確かな学力が身に付いた子を育てる
 - (1) 学ぶ意欲の向上
2. 豊かな心をもった子を育てる
 - (1) 「房南小の子どもとたちとの1日」の徹底
 - (2) 縦割り活動
 - (3) ハイパーQ Uの活用
3. 心身のたくましい子を育てる
 - (1) 健康・安全指導の充実
 - (2) 外遊びの推進
 - (3) 個々に目標を持たせ、目標達成に向けてがんばることの推進
4. 特別な支援を要する児童への全校的支援体制の構築
 - (1) その子の特性と支援についての共通理解
 - (2) 個別の指導計画、支援計画の作成と適宜改善
5. 小規模校のよさの発見(小規模特認校に向けての準備)
 - (1) 房南地区のヒト、モノ、コトを生かした教育実践の推進と教育課程への位置づけ

・研修計画

1. 研究主題 主体的に学び続ける児童の育成～単元内自由進度学習始めました～
2. 今年度の取り組み
 - ・教材選定や単元構成、テーマに迫る手立て(学習計画表・支援方法)、学年の発達段階に応じた自由進度学習の進め方などについて検討し、実践する。
 - ・一人一実践のブロック研修
 - ・オープンスクールでの実践

．日課時程

登 校	～ 8:00	○下校 5校時の日 14:45 6校時の日 15:25 木曜日 14:45 1年生 14:00 金曜日 13:55 スクールバス・ＪＲバス 14:55 15:35 14:05（金曜日のみ） ○委員会活動（月１回月曜） ○クラブ活動（年６回月曜） ○代表委員会（月１回昼休み） ○職員打合せ（木曜）	
健康観察・読書	8:00 ～ 8:15		
朝の会	8:15 ～ 8:25		
1校時	8:25 ～ 9:10		
2校時	9:15 ～ 10:00		
業間休み	10:00 ～ 10:25		
3校時	10:25 ～ 11:10		
4校時	11:15 ～ 12:00		
給 食	12:00 ～ 12:40		
昼休み	12:40 ～ 13:10		
清 掃	13:10 ～ 13:25	木曜（清掃なし）	金曜（清掃なし）
5校時	13:30 ～ 14:15	13:00 ～ 13:45	13:00 ～ 13:45
6校時	14:20 ～ 15:05	13:50 ～ 14:35	

．学級編制・担任

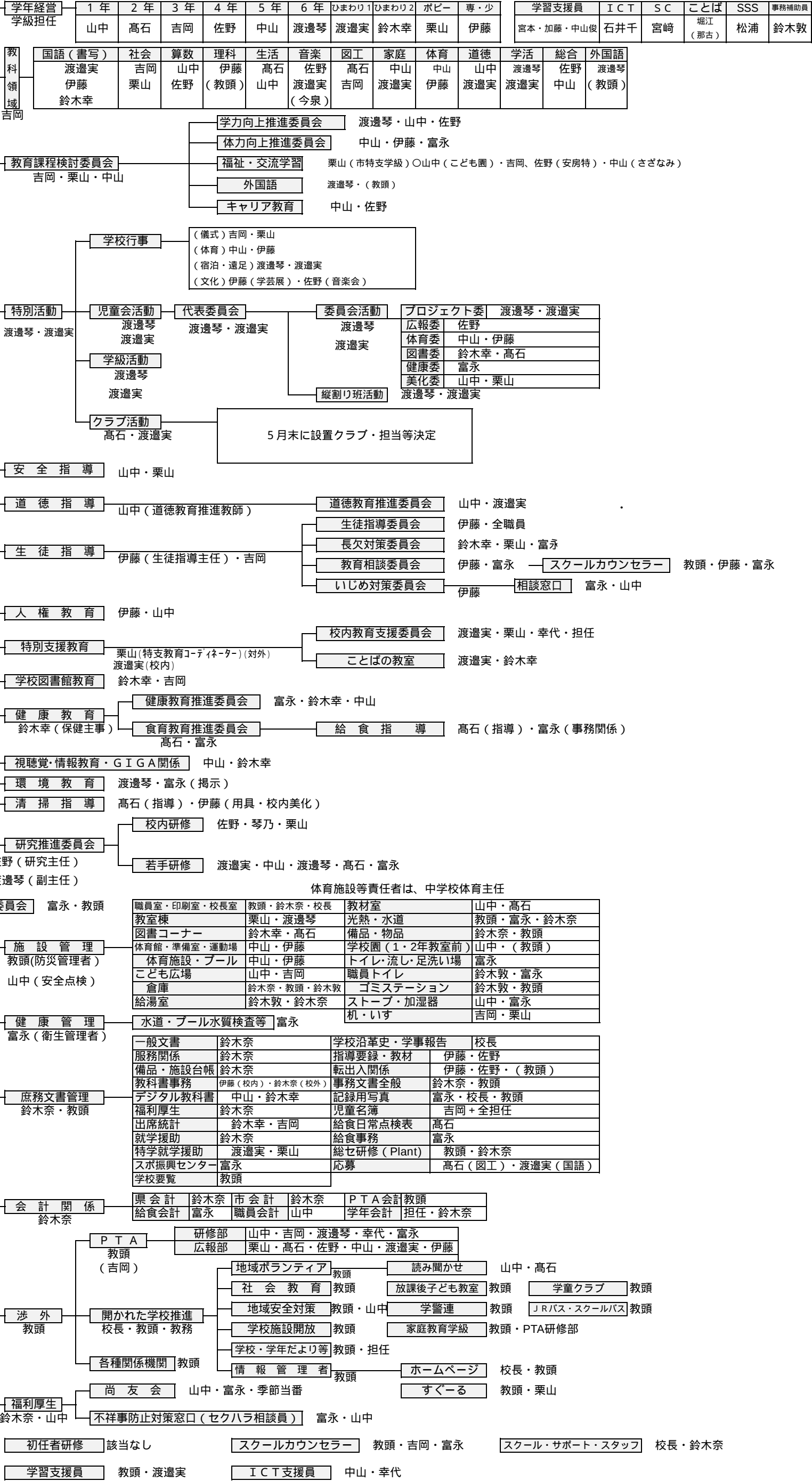
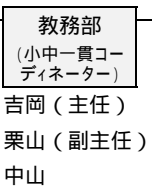
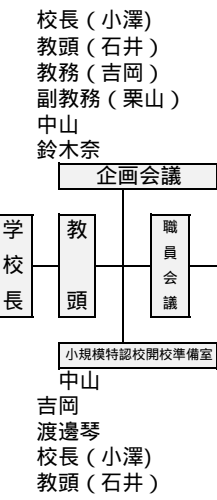
学年・学級	児 童 数			担 任 氏 名
	男	女	計	
1 年	7	8	15	山中 雅代
2 年	5	8	13	高石 ゆかり
3 年	5	3	8	吉岡 志隆
4 年	12	14	26	佐野 朋子
5 年	8	7	15	中山 慎之介
6 年	11	9	20	渡邊 琴乃
ポピー （自閉症・情緒）	（7）	（0）	（7）	栗山 徹
ひまわり1 （知的）	（3）	（2）	（5）	渡邊 実夢
ひまわり2 （知的）	（1）	（3）	（4）	鈴木 幸代
合 計	48	49	97	

校 長 小澤 崇史
 教 頭 石井 恭平
 教 務 主 任 吉岡 志隆
 専科・少人数指導 伊藤 聖基
 養 護 教 諭 富永 綾華
 副 主 査 鈴木 奈菜子
 学 習 支 援 員 宮本 輝和子
 学 習 支 援 員 加藤 佳子
 学 習 支 援 員 中山 俊光
 事 務 補 助 員 鈴木 敦子
 スクールサポートスタッフ
 松浦 武
 ことばの教室
 堀江 浩美（那古小学校）
 A L T
 ジュリー コーピン
 I C T 支援員
 石井 千恵子
 スクールカウンセラー
 宮崎 祐里

令和7年5月1日現在

館山市立房南小学校
校務分掌一覧

【参考】校務分掌の法的根拠
「館山市立小学校及び中学校管理規則」より
第7条 学校においては、調和のとれた学校運営が行われるためにふさわしい校務分掌の仕組みを整えるものとする。
第7条の2 校長は、法令及びこの規則の定めるところにより、所属職員に校務を分掌させる組織及び職員の分掌事項を定めなければならない。



・学校の沿革

- 平成 29 年 4 月
- ・神戸小学校・富崎小学校が統合し、開校
 - ・小中一貫校「房南学園」開校（房南小学校及び房南中学校）

【旧神戸小学校の主な沿革】

- 明治 7 年 4 月
- ・布沼小学校、犬石小学校、佐野小学校の 3 小学校設置
- 明治 12 年 10 月
- ・布沼小学校を藤原小学校と改称
- 明治 20 年 4 月
- ・犬石小学校を大成尋常小学校と改称
- 明治 20 年 5 月
- ・藤原小学校校舎改築により洲宮尋常小学校と改称
- 明治 22 年 10 月
- ・大成尋常小学校を現在地に移転、校舎を新築し、佐野小学校を統合
- 大正 2 年 4 月
- ・大成尋常小学校を廃し、神戸村尋常高等小学校を設立し、洲宮分校を置く
- 昭和 16 年 4 月
- ・神戸村立神戸国民学校と改称
- 昭和 22 年 5 月
- ・神戸村立神戸小学校と改称
- 昭和 29 年 5 月
- ・町村合併により館山市立神戸小学校と改称
- 昭和 36 年 3 月
- ・洲宮分校を本校に統合
- 平成 29 年 3 月
- ・閉校

【旧富崎小学校の主な沿革】

- 明治 7 年 1 月
- ・布良村龍樹院・相浜仮校舎にて開校
- 明治 20 年 7 月
- ・布良・相浜両校を統合し布良尋常小学校と改称
- 明治 22 年 5 月
- ・富崎村立富崎小学校と改称
- 昭和 16 年 4 月
- ・富崎村立富崎国民学校と改称
- 昭和 22 年 4 月
- ・富崎村立富崎小学校と改称
- 昭和 29 年 5 月
- ・町村合併により館山市立富崎小学校と改称
- 平成 24 年 4 月
- ・休校
- 平成 29 年 3 月
- ・閉校

・学区の特色

本校は、神戸地区と富崎地区に区分される。

神戸地区の主産業は農業で、水田を利用した稲作と花、レタスの栽培が盛んである。豊かな自然に恵まれ、安房神社に隣接する千葉県立野鳥の森は「森林浴の森 100 選」に選ばれ、平砂浦海岸の辺りは「日本の道 100 選」にも選ばれ、美しい景色が続いている。

富崎地区は、相浜・布良の 2 つの漁港をもち、昔から漁業を中心に栄えてきた。明治時代はマグロの延縄漁が盛んで、漁師により歌い継がれている「安房節」は、富崎の漁業の歴史を伝えてくれている。また、明治を代表する洋画家・青木繁のゆかりの地としても名高い。

学区は広く、面積は 20.25 平方キロメートルで、市全体の 18% を占めている。最長通学距離は約 3.6 Km であり、布沼・洲宮方面の児童は J R バスを、大神宮・富崎方面の児童は、房南小開校と同時に導入したスクールバスを利用し、通学している。

学区内には、県立安房特別支援学校、東京都大田区立館山さざなみ学校、児童養護施設「ひかりの子学園」があり、交流もさかんである。また、地区住民は学校に対して非常に協力的であり、保護者、地域、学校が連携して教育活動を進めている。



館山市立神余小学校

所在地 館山市神余 1363

電 話 0470-28-0065

F A X 0470-28-2609

1 教育目標

～小さな学校で、大きな夢を育む～
大志を胸に やさしく・かしこく・たくましく生きる神余っ子の育成

目指す子ども像

自分も友達も大切にできる子 意欲をもって生き活き学ぶ子 健康で丈夫な体を持つ子 夢の実現に力強く挑戦する子
(豊かな心) (確かな学力) (健やかな体) (努力を続ける気力)

目指す学校像

家庭・地域から信頼され応援してもらえる学校
安全で安心して過ごせる学校
明るく元気な挨拶が響く学校

目指す教師像

子どもの良さに気づき、その良さを発信できる教師
明るく活力のある教師
高いプロ意識を持ち、授業改善・行事改革に励む教師

2 経営方針

- (1) 生徒指導の機能を生かした教育活動の展開（認める・褒める・励ます そして活かす）
- (2) カリキュラム・マネジメントの確立
- (3) 社会に開かれた教育課程の実現
- (4) 『主体的・対話的で深い学び』の追求
- (5) キャリア教育の推進
- (6) 地域とともに歩む学校作りの推進
- (7) 安心安全で信頼される学校作りの推進

3 本年度の具体的方策

- (1) 読書・読み聞かせの時間を中心とした心の教育の充実（豊かな心）
 - ・読書活動の充実
 - ・地域読み聞かせボランティアの活用（年間17～20名）
 - ・道徳の時間の充実（道徳的思考、道徳的实践力の育成）
 - ・いじめ防止指導対応力の向上
 - ・自他の命の尊厳を理解する場面設定と指導
 - ・職員の組織実践機動力により防災における自助、共助、協働ができる子どもの育成
- (2) 基礎・基本の定着とわかる授業の展開（確かな学力）
 - ・基本の定着と子どもの状況や個に応じた指導の工夫（学校・家庭の共通認識と合意形成）
 - ・ICT 機器を効果的に活用し、児童の理解を深める授業の実施
 - ・デジタル教科書の活用（算数・外国語等）と教材教具の視覚化（モニター・絵図等）
 - ・近隣校との交流学习、交流活動の実施と情報の活用

- (3) 家庭との連携による食育・体育の推進（健やかな体）
- ・正課体育１単位時間内に２教材を取り入れた運動の計画的・継続実践
 - ・健康マラソンを実施し、持久力の向上を図る。
 - ・全校給食の実践と食育指導推進の充実（マナー，偏食）
 - ・食育指導や学校医による歯みがき指導，検診結果による家庭への通知と治療勧告
- (4) 地域と連携した体験活動の充実（努力を続ける気力）
- ・キャリア教育の推進と体験的学習の重視
 - ・地域の良さを理解できる学習体験活動の継続と更なる充実
（ホタル観賞会，鞆鼓舞（郷土芸能）等の教育資材からの学び）
 - ・家庭，地域，関係機関と連携した安全安心な環境の充実
 - ・地域や神余子育て実践グループとの連携とサポート

4 研究計画

- (1) 研究主題 自立した学習者の育成
- (2) 研究内容 児童に自己調整力を育むため，単元内自由進度学習に取り組む。
- (3) 具体的な手立て 単元内自由進度学習について理論研究を行う。
単元(単位時間)内自由進度学習について教材研究を行い，研究授業を実施し，次年度以降に活かす。

5 日課時程

【月～金 午前】

○職員出勤・児童登校	8:00
○全校朝の会	8:00～ 8:15
○学級朝の会	8:15～ 8:25
○１校時	8:25～ 9:10
○２校時	9:20～10:05
○業間活動	10:05～10:20
○３校時	10:20～11:05
○４校時	11:15～12:00
○給食指導	12:00～12:35

【月・木 午後】

○帰りの会	13:15～13:25
○５校時	13:30～14:15
○６校時	14:25～15:10

【火・水・金 午後】

○清掃指導	13:15～13:25
○神余タイム	13:30～13:45
○帰りの会	13:45～13:55
○５校時	14:00～14:45
○６校時	14:55～15:40

○最終下校	４月～１０月	16:20
	１１月～３月	16:00

6 学級編成・担任等

(令和７年５月１日現在)

学年	児童数			担任名	主任教科等
	男	女	計		
１年	1	1	2	吹田美沙紀	生活・図画工作
２年	2	1	3		
３年	3	0	3	神作奈緒子	国語・道徳
４年	1	3	4		
５年	2	2	4	山木 一郎	算数・社会
６年	0	1	1		
かえで	1	1	2	山中 博信	理科・体育
計	10	9	19		

校長	小松 雄志
教務主任	佐野 元美
研究主任	山木 一郎
生徒指導主任	塚本真諭子
保健主事	神作奈緒子
道徳教育推進教師	秋山 良子
養護教諭	神作奈緒子
副主査	秋山 良子
事務補助員	正木 清和
	鈴木 誠一

7 令和7年度 学校組織運営一覧

R7.4.1

学校組織マネジメント
校長(小松)
教頭(佐野)
副主査(正木)

教務会 各委員会

職員会議

企画・教務会	校長	教頭	教務(山木)	副教務(神作)	モラルアップ委員会含む
研究推進委員会	校長	教頭	○山木	塚本	学力向上推進委員会含む
生徒指導適応委員会	校長	教頭	神作	秋山	校内いじめ防止対策委員会含む
ICT推進委員会	校長	教頭	吹田	山木	
教育支援委員会	校長	教頭	山中	○秋山	
学校保健委員会	校長	教頭	山中	○秋山	体力向上委員会含む
学校評議委員会	校長	教頭	中間正一郎	加藤和江	
学校評価委員会	校長	教頭	中間正一郎	加藤和江	宇山弘道 PTA会長 PTA副会長
相談窓口	秋山	教頭			

教育課程(教務主任 山木)

互いに学ぶ(確かな学力)

学年・学級経営 【山木】	1.2年	3.4年	5.6年	かえで	全校
	吹田	神作	山木	山中	塚本
教科学習指導 【山木】	国語(読書指導)	社会	算数	理科	生活 音楽
	神作	山木	山木	山中	吹田 塚本
	図工	家庭	体育	道徳	総合 外国語
	吹田	塚本	山中	神作	山木 塚本
確かな学力 【塚本】	神余タイム	朝読書	特別支援	学習環境・掲示	道徳教育推進教師 研究・研修
	塚本	神作	山中	塚本	神作 塚本

助け合う・夢に向かう(豊かな心)

豊かな心 【神作】	生徒適応指導	長欠統計	教育相談	特別支援	就学指導
	神作	吹田	神作	山中	山中
	人権・福祉	図書館	国際理解	キャリア	情報・視聴覚
	神作	神作	塚本	山中	吹田
豊かな活動 【山木】	学級活動	児童会活動	クラブ	儀式	学芸・芸術
	吹田	山木・塚本	神作	山木	塚本
					健康安全・体育
					遠足・集団宿泊
					勤労生産・奉仕
					山中 山木・神作 秋山

身体をきたえる(健やかな身体)

体力向上 【山中】	健康生活	保健	給食	食育	清掃指導
	秋山	秋山	秋山	秋山	秋山
	体力作り	体育的行事			
	山中	体操	水泳	一輪車・リズム	
		山中	山中	山中	吹田

開かれた学校(地域と歩む)

安全・安心	安全指導	安全点検	避難訓練	交通安全	教職員危機管理	衛生推進
	吹田	吹田	吹田	吹田	教頭	秋山
地域との連携	学校便り	HP・ブログ	学校評価	学校参観	学校支援ボランティア	PTA活動
	校長	山木・校長	教頭	教頭	教頭	教頭

庶務(教頭)

備品 【教頭】	共通	教材教具	備品台帳	職員図書	児童図書	保健関係	給食関係	校具
	教頭	正木・教科主任	正木・教科主任	神作	神作	秋山	秋山	教頭
施設 【教頭】	昇降口	校長室・職員室	保健室	更衣室	職員トイレ	室内階段	ポンプ室	校倉倉庫
	教頭	正木	秋山	正木・秋山	秋山	秋山	教頭	教頭
	A教室	B教室	C教室	D教室	E教室	F教室	ロッカールーム	1階トイレ
	吹田	教頭	山中	山木	塚本	神作	山木	秋山
	パソコン室	図書室	家庭科室	音楽室	理科室	2階資料室	2階トイレ	清掃用具
	吹田	神作	塚本	塚本	山中	塚本	秋山	秋山
	プール	講堂	校庭(遊具)	花壇	外倉庫	防火施設	浄化槽	
	山中	山中	山中	各担任	教頭	教頭	教頭	
整備 【教頭】	落とし物	清掃用具	営繕要求	環境営繕	花壇	行事記録・ポスター等掲示		
	秋山	秋山	教頭	教頭(鈴木)	教頭(鈴木)	秋山		
給食 【秋山】	管理	配膳補助						
	校長	秋山(鈴木)						
事務 【正木】	沿革史	文書・名簿・情報管理	学級編制	指導要録	教科書	就学援助	特別支援奨励費	
	教頭	教頭・正木	正木	山木	山木・正木	正木	正木	
	図書台帳	服務	転出入	渉外	応募	募金	貸与	消耗品
	神作	教頭・正木	山木・正木	教頭・正木	塚本・吹田	山木・正木	正木・教頭	正木
	給与	旅費	図書	市会計備品	給食費	名札		
	正木	正木	神作	正木	秋山	PTAより贈呈		
	振興センター	職員会計	徴収金	PTA会計	振興会会計			
	秋山	幹事	正木・担任	教頭	教頭			
	市振興会	学警連	民生委員	地域	PTA			
	教頭	教頭	校長	教頭	教頭			

8 沿革

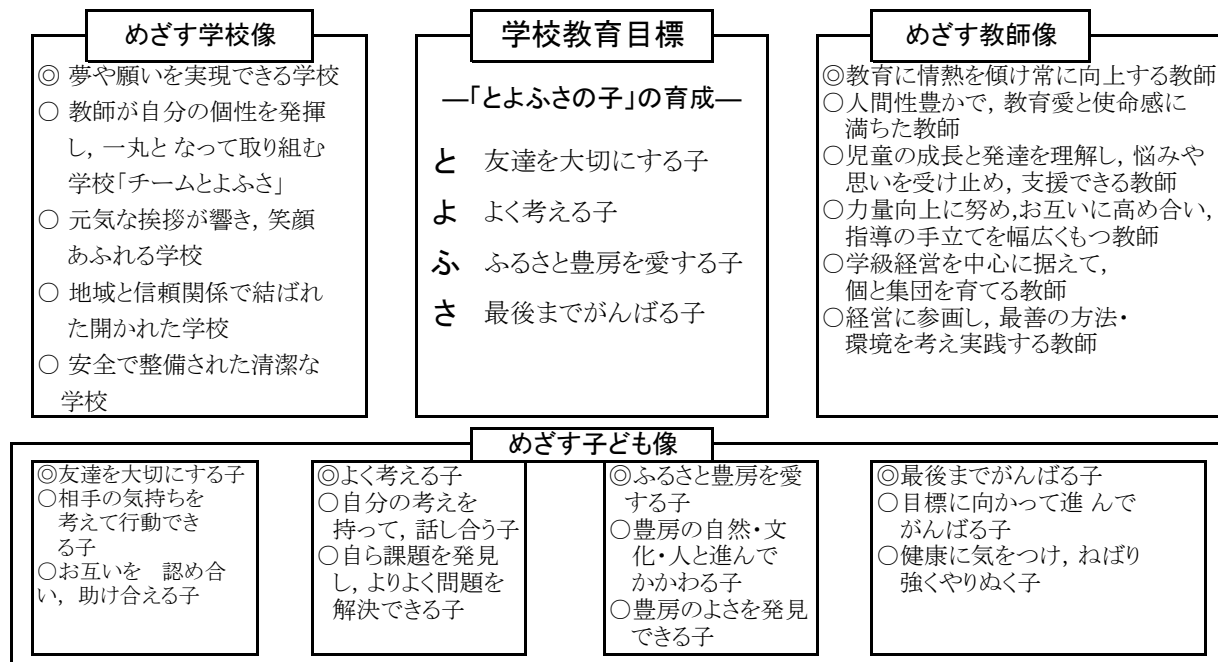
M	7.	2.	神余村安楽院を仮校舎として設立願いを提出	同年3月許可
	7.	4.	30	神余小学校開校式を実施
	9.	1.		児童通学の便をはかって、自性院に文教場を設置
	10.	3.	15	神余村3475番地(山下)新校舎落成
	25.	7.	18	豊房村神余3468番地を買い受け、学校敷地とする
	26.	3.	10	新校舎落成
	40.	5.	4	高等小学校併置認可 同25日開設
T	41.	3.	31	高等科廃止 4月から尋常5年6年を設置
	12.	9.	1	大地震で校舎全壊 バラック1棟と松尾寺庫裡を借用し授業を行う
	13.	3.	14	神余1364の1, 3の3筆を買収(現校地)し、新校舎建設(教室4、付属建物1)
S	13.	10.	5	新校舎竣工(教室4、付属建物1)
	10.	4.	1	高等科設置 神余尋常高等小学校と改称
	11.	1.	1	講堂落成
	16.	4.	1	神余国民学校と改称
	22.	4.	1	豊房村立神余小学校と改称
	22.	12.	10	神余小中PTA結成
	29.	5.	3	館山市立神余小学校と改称
	42.	9.	22	校歌制定 歴代校長・PTA会長写真掲載式
	43.	12.	1	神余百年史刊行
	49.	9.	24	開校百周年記念式典挙行
	53.	6.	15	遊具「三角塔」完成 一輪車購入 市体力づくり研究指定校
	54.	9.	28	県学校保健優良校 優秀賞受賞(体力づくり・健康指導)
H	55.	1.	24	全国教育研究会提案発表(地域と結ぶ体力づくり)
	55.	4.	1	神余中学校閉校にともない小学校独立校舎としてスタート
	58.	10.	12	へき地・小規模校教育研究講座会場校(公開研究会)
	6.	4.	1	県から福祉教育推進校に指定される(3年間)
	8.	4.	1	二中学区5校が県から「夢を育む教育推進地域」に指定される(2年間)
	9.	10.	24	教育用コンピュータ設置
	12.	12.	25	インターネット接続機器設置
	13.	1.	24	テレビ電話機器設置
	13.	4.	1	県から「夢を育む教育推進地域」に指定される
	13.	5.	26	旧校舎とのお別れ会開催(関係者 約450名出席)
	14.	3.	23	新校舎竣工式・新校舎竣工祝賀会開催(関係者 約580名出席)
	14.	4.	1	地教連から「基礎学力を育む推進指定校」の指定を受ける(2年間)
	14.	11.	22	全国公開研究会開催(参加者 約370名)
	15.	4.	1	文部科学省から「学力向上フロンティア事業推進校」の指定を受ける(2年間)
	15.	4.	1	千葉県スモールスクール振興会から「スモールスクール研究指定校」を受ける
	15.	6.	6	プール改修(塗装及び水深調整)
	15.	6.	12	文教施設協会から「公立学校優良施設表彰」を受賞
	15.	7.	12	プール更衣室内装・床を改修
	15.	9.	19	J-KIDS主催・第1回小学校HP大賞「千葉県優良校」を受賞
R	15.	10.	23	公開研究会開催(参加者 約210名)
	16.	11.	1	千葉県教育委員会から教育功労者(団体の部)表彰を受賞(記念碑の設置)
	16.	12.	3	二中学区学力フロンティア公開研究会を開催
	18.	10.	21	千葉県学習フェスティバルにて一輪車パレードを披露
	22.	11.	24	県スモールスクール研究部会指定の授業公開(参加者 約50名)
	24.	3.	6	新校舎竣工10周年記念式典挙行(参加者 約150名 記念品:校章校歌レリーフ)
	25.	3.	13	一部グラウンド整備完了
	27.	3.	9	校名看板新調設置(戸波 百合恵 氏書)
	29.	3.	17	プール配管工事 修繕完了
	31.	1.	4	猪防護柵設置(設置 - PTA)
	2.	9.	9	校舎屋根修復完了
	4.	4.	10	投擲板改修完了
	4.	7.	1	校旗完成
	5.	3.	12	校舎竣工20周年感謝祭(PTA)
	5.	11.	24	全国PTA広報紙コンクール奨励賞受賞
	6.	11.	9	創立150周年記念式典挙行
	6.	11.	15	全国PTA広報紙コンクール小学校の部奨励賞を受賞



館山市立豊房小学校

所在地 館山市大戸266-2
電 話 0470-22-0950
F A X 0470-24-2167

1 学校教育目標



2 学校経営上の重点目標

- (1) 主体的、対話的な深い学びの視点に立った授業改善を図る。
- (2) 本校児童の実態に即した教育活動を展開し、指導実践の共有を図る。
- (3) ICT機器の適切な管理及び効果的な活用方法の探究を進める。
- (4) 家庭・地域との連携を深め、対話と共育の充実を図る。
- (5) 安全・安心な学校づくりを推進する。
- (6) 働きやすい職場環境の整備及び業務の効率化を図る。
- (7) 教育公務員としての信頼の獲得を図る。

3 本年度指導の重点

(1) 学力向上

- ①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ②指導室訪問による指導力向上研修
- ③電子黒板、タブレットの活用
- ④読書活動の充実、読む力の育成
- ⑤「家庭学習のすすめ」による意識づけと個に応じた家庭学習のさせ方
- ⑥歴史副読本「さとみ物語」と館山市出前講座の活用
- ⑦児童個々の特性に応じた支援体制の確立

(2) 生徒指導

- ①認め合い、支え合い、鍛え合える学級集団づくり
- ②元気なあいさつの励行
- ③社会性の向上
- ④Hyper-QUを活用した学級経営改善
- ⑤「学校いじめ防止基本方針」に基づいた対応

(3) 業務改善（働きやすい職場環境の構築）

- ①校務の焦点化・効率化
- ②新しい時代に即した諸計画及び体制の見直し
- ③勤務時間・健康管理を意識した働き方の推進
- ④規律遵守、不祥事根絶

(4) 地域連携

- ①地域の自然・文化・人材を教材とする学習活動
- ②外部講師の積極活用
- ③PTA活動の充実

(5) 体力向上

- ①正課体育で「組み合わせ単位」の実施
- ②ゆうゆうタイム運動の効果的な実施により、一人一人の運動能力を高める
- ③外部講師による指導（保健面）

(6) 安全・安心な学校づくり

- ①安全点検の定期実施
- ②年4回の避難訓練とワンポイント訓練の実施と見直し
- ③保護者への素早く確実な連絡

4 研究計画

(1) 研究主題

自分の考えを表現できる子の育成を目指した授業改善

(2) 研究目標

各教科の指導を通して習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して、相互に考えを伝え合い、思考を深めたりまとめたりしながら課題解決ができる児童の育成を目指し、教育目標の具現化を図る。

(3) 研究内容

- ・教科は指定せず、下学年グループと上学年グループに分かれ、研究主題に沿って授業実践を行う。
- ・一人一実践を行い、指導案づくりから指導主事を講師として指導を受ける。
- ・授業のまとめや振り返りの活動を充実させ、自分の言葉でまとめを書けるようにする。

5 日課時程

※ 掃除あり、6校時ありの火・金曜の時程。月・水・木曜日は別時程で運用する。

8	8	8	8	9	9	10	10	10	11	11	12	12	13	13	13	14	14	15	15
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
00	10	20	25	10	15	00	20	25	10	15	00	30	05	20	25	10	25	15	20
朝の会	朝学習・朝読書	第1校時	休憩	第2校時	ゆうゆうタイム	第3校時	休憩	第4校時	給食指導	昼休み	清掃指導	第5校時	帰りの会	第6校時	下校				

6 学級編成と職員構成

R7.4.1現在

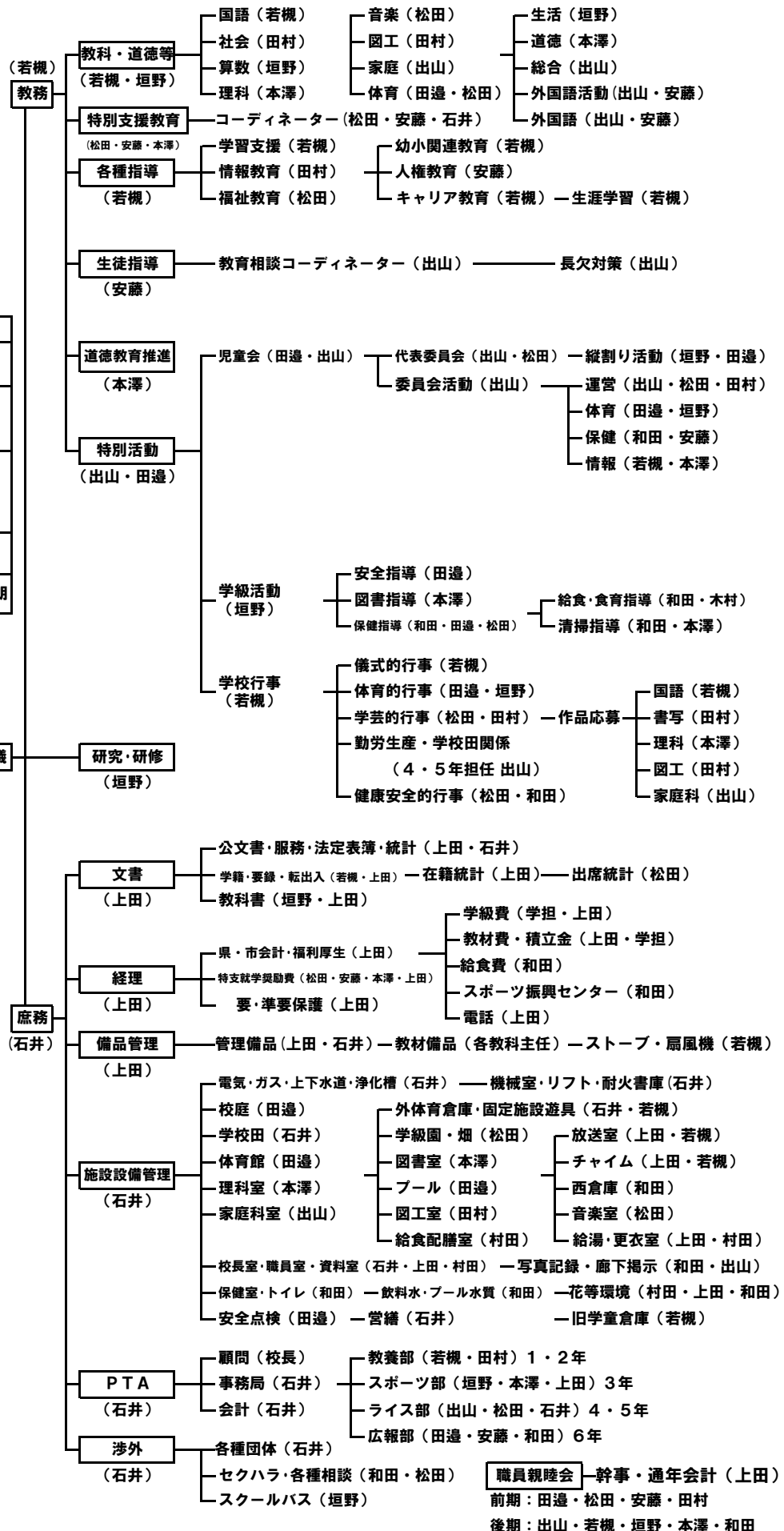
担 当	児童数			職員氏名	主 なる 校務分掌	担 当	職員氏名	備 考
	男	女	計					
校長				津嶋 栄子	校務全般	養護教諭	和田 恵里花	学校保健
教頭				石井 俊道	庶務・渉外・PTA	事務長	上田 朋美	学校事務
教務主任 1年担任	3	2	5	若槻 篤志	教務主任	技 師	木村 千亜紀	通常 給食センター勤務
2年	4	5	9	垣野 真純	研究主任 学力向上	事務補助員	村田 和代	学校用務
3年	5	2	7			学習支援員	上野 さとみ	月～金曜勤務
4年	2	2	4	出山 陽子	総合学習 委員会活動	通級指導教室 (LA)	高橋 洋子	水・金曜勤務
5年	1	2	3			通級指導教室 (言語)	須田 麻称美	火曜勤務
6年	4	0	4	田邊 裕太	体育主任 安全主任	SSS	原田 優里	学校業務補助
ひまわり (知)	6	0	6	松田 千夏	特別支援コー ディネーター	ALT	アンバー・フラビン	外国語活動補助
なのはな(知)	1	3	4	安藤由紀子	特コ・生徒指 導	ICT	前川 美穂	ICT活用補助
たんぽぽ(情)	2	0	2	本澤健士朗	道徳推進・図書	SC	岸波 朱美	月1回勤務
専科				田村 明久	情報教育・図 工			

教務主任	若槻 篤志
研究主任	垣野 真純
学力向上コデ	垣野 真純
生徒指導主任	安藤由紀子
保健主事	松田 千夏
衛生推進教師	和田 恵里花
安全主任	田邊 裕太
道徳教育推進	本澤 健士郎
体育主任	田邊 裕太
国際教育	出山 陽子
情報教育担当	田村 明久
給食主任	和田 恵里花

委員会組織	
研究推進 小中学力向上	垣野
健康推進 (保・体)	和田・田邊
指導支援	松田・安藤 本澤・和田 出山
校内いじめ防止 対策委員会	出山・和田 安藤
道徳教育 推進	本澤 健士郎

校長	教頭	職員会議
----	----	------

校長	津嶋 栄子
教頭	石井 俊道
教務主任	若槻 篤志
1 年	若槻 篤志
2・3 年	垣野 真純
4・5 年	出山 陽子
6 年	田邊 裕太
ひまわり	松田 千夏
なのはな	安藤由紀子
たんぽぽ	本澤 健士郎
専科	田村 明久
養護教諭	和田 恵里花
事務長	上田 朋美
技 師	木村 千亜紀
LA教室	高橋 洋子
ことばの教室	須田 麻称美
学習支援員	上野さとみ
事務補助員	村田 和代
A L T	アンバー・フラビン
ICT支援員	前川 美穂
S.S.S	原田 優里
S.C.	岸波 朱美



8 沿革

明	40.	7	山萩尋常小学校と大戸尋常小学校が合併し、豊房小学校と称する。
		9	高等科を設置し、豊房尋常高等小学校となる。
	43.	7	新校舎完成
大	6.	10	台風により校舎傾き、11月復旧工事を行う。
	12.	9	関東大震災のため校舎がほとんど倒れ、南条八幡神社にて野外授業を行う。
	13.	2	校舎2棟仮建築成る。
昭	14.	1	火災により校舎及び諸設備消失。直ちに校地を拡張し校舎を復旧する。
	16.	4	豊房村立豊房国民学校と称する。
	22.	4	豊房村立豊房小学校と称する。
	23.	7	学校給食開始
	29.	5	館山市と合併し、館山市立豊房小学校となる。豊房小学校PTA結成。
	45.	2	学校給食はセンター方式となる。
	46.	9	旧校舎をとりこわし、鉄筋2階建新校舎の建設工事始まる。
	47.	4	畑小学校・豊房小学校の形式統合成り、9月に実質統合する。
		9	新校舎完成し、畑校舎は廃校となる。
	48.	3	体育館及び校内施設完成
		10	青少年赤十字に加入、入団式举行
	52.	12	JRC公開研究会
	55.	3	プール・体育館・運動場を豊房中学校から移管。豊房小学校専用となる。
	55.	5	第1回 学校田植え
	56.	10	体育館付設更衣室及び便所完成
	57.	1	腕白広場完成
	58.	8	運動場へU字溝設置(65m)
	59.	3	体育館水銀灯3基新設
	62.	8	足洗い場、校門より校舎の舗装道路完成
平	63.	11	安房市町村教育委員会連絡協議会・館山市教育委員会指定(昭和62～63年度) 道徳教育公開研究会
	元.	12	2年教室東土間にアルミサッシ窓設置
		2.	8 本館女子便所新設
		3.	2 新焼却炉設置
			8 給食車進入路舗装工事・玄関入り口改修工事完了
		10	校庭にすべり台設置
		4.	6 プール塗装完了
		5.	2 藤棚下に飼育舎完成
			4 腕白広場改修完了
			8 体育館屋根改修工事完了
		7.	3 腕白広場網改修
			7 体育館前水道設置
		8.	7 ブロック塀耐震工事完了
		9.	1 家庭科教室増築・校舎改修工事完了
			8 館山市防災備蓄倉庫設置
	10.	1	4連式ブランコ 大塚正満氏より寄贈
		2	ゴミステーション設置
		3	はん登棒設置
	11.	3	幼稚園通路屋根鉄骨補強及び樋取替
令	13.	3	学級花壇の柵改修
		8	腕白広場網改修
	14.	3	高鉄棒下に砂場設置
		4	文部科学省より「学力向上フロンティアスクール」に指定(～16年度)
	17.	10	安房市町村教育委員会連絡協議会・館山市教育委員会指定(平16・17年度)算数科公開研究会
	18.	12	豊房小学校ネットデイ事業により校内LANが完成
	19.	7	創立100周年を迎える。
	20.	12	創立100周年記念式典を開催
	22.	4	特別支援学級「たんぼぼ(自閉症・情緒)」を開級
	25.	2	正門前道路の安全対策工事が完了
	27.	2	体育館耐震補強工事完了
	27.	3	東門側道路歩道整備工事完了
	28.	3	体育館カーテン取り付け完了
	29.	3	低学年棟トイレ改修
	29.	4	千葉県教育委員会より「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定(～令和3年度)
	31.	3	ブロック塀一部撤去・修復。エアコン設置工事開始
	2.	4	特別支援学級「なのはな(知的)」を開級
		3.	1 低学年棟トイレ改築
		3.	3 特別支援学級「なのはな(知的)」を開級
		4.	4 第2・3学年複式学級開級
		4.	4 特別支援学級「なのはな(知的)」を再開級
		4.	4 通級指導教室(L. A)開始(館山小よりサテライト)
		6.	4 第4・5学年複式学級開級



館山市立館野小学校

所在地 館山市山本 1028

電話 0470-22-1061

FAX 0470-24-2173

1. 学校教育目標

「新しい時代を切り拓く子ども」の育成
～かしこく やさしく たくましく～

「新しい時代を切り拓く子ども」の姿を、次のような姿ととらえる。

- ・夢・希望・目標をもつ。
- ・礼儀正しく、人を思いやる心、感謝する心をもつ。
- ・仲間や集団、地域や社会の発展に貢献しようとする。
- ・自分を鍛えて高める意欲や態度、能力をもつ。
- ・様々な問題に対決していく、解決しようと努力する。
- ・考えの異なる人とでも、歩み寄り協力していく。

—めざす子ども像—

- <かしこく> 興味や学ぶ意欲をもつ。学習習慣が身に付いている。よく考え、判断・表現し振り返る。学んだことを生かせる。
- <やさしく> 明るく元気に挨拶できる。感謝の気持ちをもつ。自分や友達や、周りの人の良さがわかる。素直な心で生活できる。
- <たくましく> 夢と希望をもつ。粘り強くやり通す。元気に運動し、健康な生活習慣。自分の命を自分で守る。

時間対効果・優先度(「やるべきこと」「やった方がよいこと」「やらなくてもよいこと」)を決めた職務遂行による働き方改革
互いの良さを認め、補い合い、伸びようとする教職員集団(「役割・出番・居場所」が実感できる集団)
常に学び続ける教職員集団(既存の手法に拘らず、自己をupdateし続けることのできる集団)

職員に視点をあてた学校経営目標

2. 具体目標と手立て

「かしこく」	学習意欲の向上	→	指導と評価の一体化、発問の精選と活動の確保
	学習習慣の定着	→	朝自習と家庭学習の充実、「読む・話す・書く」の徹底
	問題解決能力の育成	→	学習過程の工夫、体験学習の活用
	生きて働く知識の育成	→	連続性のある授業づくり、学習を生活に生かす場の設定
「やさしく」	明るい挨拶の習慣化	→	教職員の垂範率先、児童による挨拶運動
	自己有用感の発揚	→	係・委員会活動の充実、個性を伸ばす指導
	感謝の気持ちの育成	→	1日の振り返り、相手の立場に立って考える場の設定
	素直な心の醸成と保持	→	人の意見に耳を傾ける場の設定、共感的人間関係の構築
「たくましく」	適切な目標の設定	→	実態把握に基づいた指導、個別の目標設定
	粘り強い取り組み	→	成功体験による意欲の向上、適切な支援
	体力向上と健康促進	→	正課体育の充実、計画的な保健・食育指導
	安全教育の充実	→	安全学習と安全指導の充実

3. 経営の重点及び努力点

(1) 教育課程の充実と改善

- 特色ある教育活動の推進と地域人材の活用
- 総合的な学習の時間の焦点化
- 日課時程の工夫
- ・さとみ物語を活用した郷土愛の育成
- ・さわやか班による縦割り活動
- ・放課後個別学習
- ・教育内容の充実を図る校外学習
- ・体験活動の系統的な実施
- ・読み聞かせ
- ・福祉教育(3年)
- ・防災教育(4年)
- ・いちご栽培(5年)
- ・キャリア教育(6年)
- ・一部ノーチャイムの活用
- ・さわやかタイムの実施
- ・全校読書

(2) 確かな学力を身につけるきめ細かい指導

- セルフチェックシートの活用や相互授業参観による授業改善
- ICT機器活用による効果的な学習活動の推進
- 実態把握と教材研究をもとに、育てる力と評価規準の明確化を図った授業構成
- 授業時間内に、学んだことの確実な習得、活用する時間とまとめの時間の確保
- 課題の明確化・主体的な自力解決や意見交換等により新たな考え方に気付く場・教材教具の工夫・問題意識が高まる授業構成
- 読み書き・計算の習熟のための朝自習・放課後学習・家庭学習の活用
- 学び方を育てる授業展開、宿題の工夫、家庭学習の習慣化
- 学習意欲を持続させるための計画的な評価

(3) 豊かな心を育てる指導

- 道徳の指導方法の工夫を図り、「考え、議論する道徳」を意識した道徳の実践や評価の工夫改善
- 道徳の時間と他の教育活動(教科・特活・総合的な学習・体験活動)とを関連させた指導の工夫
- 家庭・地域と連携した道徳教育の充実
- 教師と子ども、子ども同士の心が通い合う学級づくり
- 計画的な望ましい人間関係づくり
- Hyper-Qテストの活用と教育相談の充実、心の悩みの早期発見と対応
- 全学年で発達段階に即したキャリア教育の実施

(4) 健やかな体を育てる指導

- 運動に親しむ資質能力の育成 ・運動の楽しさが体得できる授業づくり ・正課体育での運動量の確保
- ・体育的行事での目標設定と運営 ・外遊びの奨励や運動の日常化による体力向上
- 「食育」を中心とした健康教育
- 危険予測能力の育成

(5) 学校全体で特別支援教育の推進

- 教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進のための研修
- 合理的配慮の推進や基礎的環境整備

(6) 地域とともに歩む学校づくり

- 積極的な情報発信（学校・学年だより、ウェブログ等）や授業公開を通して家庭・地域と連携した教育活動の推進
- 学校支援ボランティアの積極的な活用による教材づくり
- 学校関係者評価の活用や、学校評議員の力を生かした学校運営の活性化

4. 校内研究計画

(1) 主たる研究

<研究主題> 「主体的に学び、自分の考えを表現できる子ども」の育成
～算数科におけるＩＣＴ機器の活用の工夫を通して～

<研究の方針>

- 授業力向上
- 学力向上
- その他、児童に関する研修・若手教員研修

(2) 学力向上

<目指す姿>

- 「わかる・できる」を実感し、楽しく学ぶ子ども
- 学習習慣としては ・鉛筆を正しく持って使う ・指名されたら「はい」と返事する ・自学できる（予習・復習）
- ・良く聞き反応、切り替えができる ・よいノートをとる ・宿題をやってくる
- 学習意欲としては ・継続的に集中して学習する ・課題を最後までやり遂げる
- 問題解決力としては ・既習事項を応用できる ・創意工夫し、柔軟に考える

<取り組み>

- 朝学習の時間の活用（漢字、計算、読書など）
- 基礎・基本の定着のために放課後個別指導の時間の確保
- 研修との関連を図った授業改善への取組（指導の見直し、共通理解、相互授業参観、一人一実践）
- 定期的な児童の実態把握（パワーアップチャレンジ、家庭との連携による学習習慣作り）
- 基礎・基本の定着を図るためのパワーアップテストの実施
- 全国学力・学習状況調査の研修
- 読書活動の推進

5. 日課時程

8 05	9 30	10 15	10 25	10 10	11 25	11 10	11 20	12 05	13 45	13 20	13 35	14 40	14 25	15 35	15 20	15 35
学級 タイム	第一 校時	休 み 時 間	第二 校時	業 間	第三 校時	休 み 時 間	第四 校時	給 食	昼 休 み	清 掃	準 備	第五 校時	休 み 時 間	第六 校時	帰 り の 会	下 校

6. 学級編制・担任

	児 童 数			担 任
	男	女	計	
つくし1	8	0	8	臼井奈美子
つくし2	5	1	6	佐久間美穂
つくし3	5	2	7	杉本 真紀
1 年	8	9	17	唐鎌 久乃
2 年	5	3	8	小倉 純子
3 年	16	7	23	柴山 廉
4 年	5	10	15	根本 樹人
5 年	3	9	12	岩崎 由紀
6 年	4	7	11	岩崎 隆栄
合 計	59	48	107	

- 校 長 吉井 典之
- S C 篠田 梓
- 教 頭 森 崇
- ICT支援 前川 美穂
- 教 務 臼井奈美子
- 育児休業 石川美佐子
- 教 諭 佐野由美子
- 育児休業 栗飯原実希
- 養護教諭 要藤 美輝
- 主 事 渡辺 春香
- 学習支援 田中 貴子
- 学習支援 高橋知佐子
- 学習支援 石井 麗奈
- 学習支援 田畑智佳子
- S S S 田畑智佳子
- 事務補助員 川名 康之

令和7年度館野小学校校務分掌



8. 沿革

- 明6.9 山本竜淵寺を校舎にあて、山本小学校を創立
- 19.4 尋常小学校の設立指定、21年5月
- 24. 現校地に校舎新築する
- 昭5.4 館野村立山本尋常高等小学校を館野村立館野尋常高等小学校と改名
- 22.5 学制改革に伴い館野村立館野小学校となる
- 26.7 校舎増築3教室完成
- 29.4 南側校舎5教室改築なる
- 39.3 講堂改築なる
- 43.12 全教室に電源を配線する
- 45.10 校門前石垣造成
- 48.12 館野小創立百周年記念式典を挙げる
- 49.3 ML教室完成
- 51.7 PTA奉仕作業により築山完成
- 53.7 新校舎建設のため南校舎解体、東・北両校舎に教室移動
- 53.8 新校舎建設工事開始
- 54.3 新校舎竣工なる
- 58.2 普通教室(2教室増築、鉄筋コンクリート2階建)竣工なる
- 58.10 創立110周年記念大運動会を挙げる
- 59.10 校地・校庭拡張工事開始
- 60.3 校地・校庭拡張竣工なる
- 61.3 普通教室(2教室増築、軽量鉄骨造り2階建)竣工なる
- 61.11 教育放送公開研究会実施
- 62.3 体育館竣工なる
- 63.7 プール竣工なる
- 平元.7 ジャンボ雲梯設置(山崎氏寄贈)
- 元.11 健康優良学校として県教育長より表彰さる
- 2.4 県教委より学校体育の研究指定を受ける
- 2.10 菜の花体操実践校として県知事より表彰を受ける
- 3.11 「学校体育」公開研究会開催
- 4.11 「県学校体育」研究大会公開研究会実施
- 5.11 文部省より「学校保健体育優良校」として表彰される
- 7.4 県教委より「小学校英語教室」の研究指定を受ける
- 7.4 安房市町村教育委員会連絡協議会より道德教育の研究指定を受ける
- 7.4 館山市教育委員会より道德教育の研究指定を受ける
- 8.11 県道德教育研究指定「道德」公開研究会開催
- 10.2 県小学校「英語教室」等研究協議会会場
- 10.4 2学級増となりオープンルームを普通教室とする
- 11.4 障害児学級(知的障害)設置 つちのこ学級とする 1学級増となりプレハブ棟を改修する
- 11.10 5年生児童数増により、2学級になる
- 12.10 校庭周辺生垣ベラカンサ撤去
- 13.2 生垣にまきの苗木を植樹する
- 13.9 いちごビニールハウス設立
- 14.4 情緒障害学級(つちのこ2)設置
- 14.4 県より「福祉教育推進校」の指定を受ける
- 15.3 創立130周年記念文集「びやくしん」発行
- 16.2 福祉教育研究安房地方大会で実践研究を発表する
- 17.5 プール本体塗装
- 17.9 運動場西側校庭整備
- 19.4 文部科学省「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校の指定を受ける
- 19.4 特別支援学級(情緒)設置、つくし学級とする
- 20.4 特別支援学級(知的)設置、つくし学級2とする
- 20.6 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校としての英語活動公開学習会を開催
- 20.10 英語活動公開学習会を開催
- 20.11 「千葉県学校体育優良校」を受賞する
- 21.4 県より「ちばっ子元気に」食と農の体験事業実施校の指定を受ける
- 21.12 地教連より「食育教育奨励賞」を受賞する
- 23.8 校舎屋上防水工事
- 24.8 屋上高架水槽交換
- 26.1 校舎耐震改修工事
- 26.5 県より「地域における食育指導推進事業」の指定を受ける
- 27.10 地域における食育推進事業公開
- 30.12 体育館天井等非構造部材耐震対策工事竣工
- 令元.7 「NIE実践指定校」認定~2
- 2.7 いちごビニールハウス再建
- 3.3 体育館網帳新調
- 3.4 地教連「学校課題研究推進指定校」指定
- 4.10 地教連指定「学校課題研究推進指定校」公開研究会
- 6.1 150周年記念行事開催
- 6.11 「館山市立小中学校再編計画(北条小学校、九重小学校との統合)」策定
- 7.3 校庭北側センダン伐採



館山市立九重小学校

所在地 館山市安東3
電 話 0470-22-9803
FAX 0470-22-9794

1 学校教育目標

あったかハートで、きらりと輝く個性を持ち、パワフルに生きる九重っ子の育成

<目指す姿> ・進んで学びぬく子 ・思いやりのある子 ・健康で元気な子

<卒業後も再編後も自分らしく生きる九重っ子の育成>

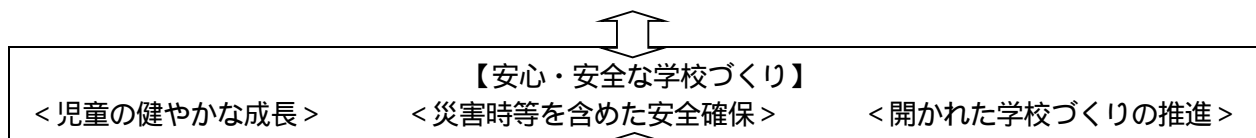
～足し算の教育の推進，寄り添う教育の推進～

2 重点目標

- ・知育 かしくく：毎日の授業や家庭学習を大切にする継続した学び
- ・徳育 やさしく：自分や友達のよいところをたくさん見つける素直な心
- ・体育 たくましく：自分の目標達成に向けていつも挑戦する気持ち

【気づき・考え・実行する】

【知育（学力の向上）】	【徳育（社会性の育成）】	【体育（体力の向上・安全指導）】
1．学年に応じた学習規律、学習習慣の確立 ・学習用具の準備 ・時間遵守 ・話の聞き方、発表の仕方 ・家庭学習の充実、家庭との連携 ・読書活動の推進 ・朝学習の継続（基礎・基本の充実） 2．子どもが成就感をもつ授業 ・自ら学び、思考し、表現する力を育成する日常実践（授業＋αでの継続的な取組） ・「個」と「集団」が相乗的に高めあう学習展開（話し合い活動、ノート活用） ・個に応じた指導の展開 ・ユニバーサルデザインを活かした授業展開 ・さとみ学習の充実 3．特別支援教育コーディネーターを核とした（特別）支援教育の充実 ・通常学級、特別支援学級の連携を重視 ・特別支援学級の学びの確保（自立活動） ・特別支援教育支援員による授業観察と協議 4．タブレット等、ICT 機器の有効活用 ・使用場面の共有（これまでの財産の活用） ・活用場面の工夫（基礎・基本の定着、学力向上、支援が必要な子への活用等） 5．外国語教育の充実 ・ALTとの連携による授業の充実 ・日常的に使用する機会の創出	1．自他の心や命を大切にできる教育の推進 ・道徳教育推進教師を核とした道徳教育の充実 ・学級・学校間交流活動の推進 ・キャリア教育の推進 ・福祉教育の推進 ・環境教育の推進 2．生徒指導の充実（「全職員が学級担任」） ・いじめ対策基本方針の遵守 ・生徒指導の機能を生かした授業づくりの推進 ・生徒指導会議等の充実と活用 ・各種会議、ブロック会議、日常の情報交換 ・状況把握→情報共有→対応 ・教育相談の充実 （H・QUの有効活用、SCの活用） ・家庭との連携（良い行いを含めた電話、連絡帳等による丁寧なやりとり） 3．子どもの主体的活動の推進 ・自主的・実践的態度の育成（特別活動、委員会活動等） ・異年齢集団による班活動（すずかけ班）の充実（すずかけレク等の計画的継続的な実施） ・家庭、地域との連携（たより等による積極的な広報活動）	1．教科体育の充実 ・運動量の確保 ・スポーツテストの結果活用（課題に応じた運動の継続） ・目標の明確化 ・スポーツテストの記録更新 2．外遊びの奨励 ・昼休みの有効活用 ・外でみんなで遊ぶ意識付け（強制にならない）（ルールやマナーの体感的な習得） 3．各種大会への積極的な取組 ・春季運動会（5月） ・館山市体操教室（6月） ・校内マラソン大会（11月） ・校内縄跳び集会（1月） 4．健康・安全教育の推進 ・食育と保健指導の充実 ・歯と口の健康教育 ・朝食の大切さを学ぶ ・早寝、早起き、朝ごはんの習慣を育成 ・アレルギーに対する意識の高揚と対処の仕方の習得 ・自分の命は自分で守る意識の醸成 ・状況に合わせた的確な感染症対策



【教職員の資質向上】	【保護者との信頼関係】	【地域との連携】
1. 計画的・組織的な研修 (ブロック組織の活用) 2. 人事評価制度の活用 3. 教育目標達成への具体的 取組 4. 「不祥事0」の職員集団づ くり	1. 授業参観・家庭訪問・学期 末 PTA・行事等を積極的 に実施 2. 情報発信に努める 3. 学校評価の活用 4. 集金業務等の適正な運用	1. 情報発信に努める (学校だより、ブログ、新聞等) 2. 授業・行事等の公開 (運動会等) 3. 学校評議員制度の活用 4. 地域人材・自然・文化の活用 (教科、行事等) 5. 地域行事への積極参加

3 研究計画

(1) 主たる研究

- < 研究主題 > どの子にも「わかる」「できる」が実感できる授業づくり
- < 研究目標 > 「どの子にも『わかる』『できる』が実感できる授業」を実現するために有
 効な手立てを明らかにする。

(2) 学力向上に向けて

基礎基本の定着に向けた朝学習

ア 朝学習 月…読書 火…情報活用能力 水…漢字 金…計算

イ 計算チャレンジ

ウ 漢字・言葉のきまりチャレンジ

エ ちばっ子チャレンジの活用

授業を支える日常の取り組みの工夫

ア 読書の奨励…ブックリストの活用

イ 書く活動…「自分の言葉で書く」ことの積み重ね・習慣づけ

ウ 授業改善のための「セルフチェックシート」の活用

学習のきまり

家庭学習…手引きの活用、3年生後半から自学スタート

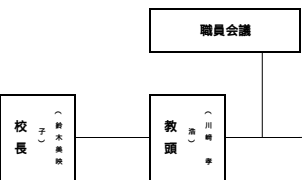
学期末復習テスト期間…自分で計画を立て学習する力(2週間) 4年生以上

4 日課時程(基本型)

8:00	8:10	8:30	9:25	10:20	11:15	12:00	12:35	13:15	13:35	13:55	14:50	15:45
朝の会	朝学習	第一校時	第二校時	第三校時	第四校時	給食	昼休み	清掃	帰りの会	第五校時	第六校時	完全下校

5 校務分掌一覧

教 務 会
校長・教頭・教務
運 営 委 員 会
校長・教頭・教務・義道・佐久間・栗原
研 究 推 進 委 員 会 (兼 学力向上推進委員会)
校長・教頭・教務・ 斉藤・義道・佐久間
生 徒 指 導 委 員 会 (兼 不登校対策委員会・校内いじめ防止対策委員会)
校長・教頭・教務 安田・〇小倉・石井
校内いじめ防止対策委員会(学校が調査主体になった場合)
校長・教頭・教務・安田・学年代表・石井 (・SC・PTA役員・評議員・学校医・市教委指導主事)
学校保健・体力向上推進委員会
校長・教頭・教務・ 細川・安田・石井
教 育 支 援 委 員 会
校長・教頭・教務・ 馬賀・佐久間・鈴木・小倉・石井 (必要に応じて交流学級担任)
学 校 安 全 委 員 会
校長・教頭・教務・ 鈴木
モ ラ ー ル ア ッ プ 委 員 会
校長・教頭・ 教務・安田・細川



○教務主任	松本 謙吾
○研究主任	斉藤みなみ
○生徒指導・教育相談主任	安田健一郎
○不登校対策主任	小倉 綾司
○保健主事	佐久間 京
○給食・食育主任	石井 佳奈
○安全主任	鈴木 玲子
○体育主任	細川 真波
○道德教育推進教師	義道由加里
○特別支援教育コーディネーター	川崎 孝浩 馬賀菜穂子
○労働安全衛生推進者	川崎 孝浩 石井 佳奈
○学校管理医	小野塚 泉・田村病院
○学校歯科医	森 義勝・森歯科
○学校薬剤師	小山博司・サ-ブ 薬局

教 務 部	学年学級等	1 年	義道	2 年	細川	3・4 年	松本
松本謙	5 年	斉藤	6 年	安田	馬賀	専科	馬賀
	ひまわり 1 (知)	佐久間	ひまわり 2 (知)	鈴木	ひまわり 3 (自情)	小倉 (川名)	
	教科等	国語 (書写)	馬賀	社会	小倉 (川名)	算数	佐久間
	松本	生活	義道	音楽	義道	図画工作	松本
	特別活動	体育	細川	外国語	斉藤	道徳	義道
	学級活動	鈴木					
	児童会活動	安田		児童委員会	安田・斉藤		
				放送委員会	義道・小倉		
				図書委員会	馬賀・鈴木		
				体育委員会	細川・松本		
クラブ	学校行事	松本		健康的	松本		
				文化的安全・体育的	細川・石井		
				道徳・集団宿泊的	安田・斉藤・松本謙		
				勤労生産・奉仕的	鈴木		
	道徳教育	義道					
	特別支援教育	馬賀・佐久間					
	生徒指導	教育相談	安田・石井				
	安田	不登校対策	小倉				
	人権教育	佐久間					
	キャリア教育	斉藤					
環境教育	環境教育	小倉					
	情報教育 (ICT)	小倉					
	図書館教育	馬賀					
	保健指導	石井					
	給食・食育指導	石井					
	清掃指導	佐久間					
	安全指導	鈴木					
	研究・研修	斉藤					
	行事等記録・写真	細川・校長・石井					
	応募	佐久間・各教科主任					

管 理 部	学校安全	防災管理	川崎・杉本
川崎	川崎	安全点検	鈴木
	相談窓口	学校教育相談	川崎・石井
	川崎・石井	セクハラ等相談	川崎・石井
	学校給食	全館	石井
	施設	1 年教室	義道
		配膳室	石井・杉本
	川崎	2 年教室	細川
		教材室	栗原・栗原
		階段下倉庫	川崎・杉本
		3・4 年教室	松本
川崎	ひまわり 1 教室	佐久間	ひまわり 2 教室
	図書室	馬賀	2 階トイレ
	すずかけルーム	安田	放送室
	体育館	細川	体育館 1 階
	プール	細川	更衣室
	受水槽・減圧機	石井	東倉庫
	備品	管理備品	栗原
	栗原	清掃用具	佐久間
		作業耕作用具	川崎・杉本
	個人情報保護	川崎	
栗原	校務支援システム	松本	

庶 務 部	公文書・一般文書	文書受理	栗原	発送文書	栗原
栗原	栗原	学籍・転出入	松本・川崎	指導要録	松本
		教科用図書・製図本等	栗原・佐久間	施設台帳	栗原・川崎
	諸帳簿	沿革誌	鈴木美	卒業生台帳	鈴木美・川崎
		服務整理簿	鈴木美・川崎・栗原	研修承認簿	鈴木美・川崎・栗原
	栗原	給食検査簿	鈴木美	給食当番衛生観察票	石井
	経理	県・市会計	栗原	給与	栗原
	栗原	特支就学奨励費	栗原・佐久間	学校納入金	栗原
		ｽｽﾞｰｸ振興ｷｬﾝﾍﾞｰﾝ	石井	各種募金	安田
	福利厚生	親睦会	佐久間		
	栗原	福利厚生事務・会計	栗原		

渉 外	PTA	庶務	川崎	会計	松本謙	顧問	前P会長(貝本)	鈴木美
川崎	川崎	専門部	広報部	細川・石井・栗原・鈴木玲				
			厚生部	安田・斉藤・松本・小倉				
			文化部	義道・佐久間・馬賀				
	ブログ	鈴木美	メール連絡網	川崎				
	学校評議員会	川崎						
	教育後援会	川崎						
	地区諸団体	川崎						
	こども園	川崎						
	放課後子供教室	川崎						
	学童	川崎						
栗原	施設開放	川崎						
	学警連	安田						

6 学級編制・担任等

(1) 児童数

項目\学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	5
児童数	13	3	10	10	12	10	58
ひまわり1	3				2	1	6
ひまわり2			2	2			4
ひまわり3	2				1	1	4

(2) 職員構成

職名	氏 名	主な校務分掌	職名	氏 名	主な校務分掌
校 長	鈴木美映子	経営全般	教 諭	佐久間 京	ひまわり1組担任
教 頭	川崎 孝浩	企画・調整・渉外・特別支援教育コ・ディネーター	教 諭	鈴木 玲子	ひまわり2組担任 安全主任
教 諭	松本 謙吾	3・4年担任・教務主任	講 師	小倉 綾司	ひまわり3組担任 不登校対策主任 (育児休業)
教 諭	義道由加里	1年担任 道徳教育推進教師	(教諭)	(川名 天理)	
教 諭	細川 真波	2年担任・体育主任	養護教諭	石井 佳奈	保健衛生・給食主任
教 諭	斉藤みなみ	5年担任・研究主任	副主査	栗原亜弥子	庶務・経理
教 諭	安田健一郎	6年担任・生徒指導主任	支援員	鈴木 直美	特別支援教育学習支援員
教 諭	馬賀菜穂子	専科・特別支援教育コ・ディネーター	事務補助員	杉本 啓	学校用務・給食

7 沿革

明治 6.12	二子小学校開校	3.12	体育館天井塗装工事完了
7.4	竹原小学校・水玉小学校開校	5.10	運動場大規模改修
7.8	安東小学校・江田小学校開校	8.10	パソコン設置(8台)
8.4	二子小学校・安東小学校を合併し、二子小学校と改称	11.4	千葉県福祉教育推進校に指定(～13年)
11.6	竹原小学校・水玉小学校を合併し、竹原小学校と改称	14.2	千葉県福祉教育研究安房地方大会にて実践発表
18.4	江田小学校を竹原小学に合併	14.3	屋内用(体育館)鉄棒設置
24.4	二子小学校・竹原小学校を合併し、九重小学校と改称	14.4	特別支援学級(知的)開設
30.12	安東3番地(現在地)に校舎を新築移転	14.7	職員室空調機設置
31.5	高等科を併置し、九重尋常小学校と改称	16.5	プール全面塗装、プールサイド一部改修
大正 12.9	関東大震災により、校舎全壊	18.6	校章取付け
13.7	校舎新築竣工	18.7	玄関前インターホンの設置
昭和 16.4	国民学校令により、九重村立九重国民学校と改称	19.2	ネットデイ開催による校内LANケーブルの敷設
22.4	新学制により、九重村立九重小学校と改称	20.4	キャリア教育推進研究指定校に指定(県教委)
29.5	館山市に合併し、館山市立九重小学校と改称	21.4	特別支援学級(自閉・情緒)開設
35.7	新校舎竣工(7教室)	21.9	体育館屋根全面改修
40.3	保健室・宿直室竣工	22.4	食育活動支援事業に係る研究指定校に指定(県教委)
44.8	プール竣工(25m6コース)	24.4	安房地方教育委員会連絡協議会より研究指定校に指定
48.10	理科準備室増設	25.3	九重幼稚園閉園式
52.1	校地拡張(2,194.5㎡)総校地(11,271.5㎡)	25.11	安房地区教育委員会連絡協議会指定
54.3	鉄骨屋内運動場竣工	26.2	公開研究会(算数科)
56.2	鉄筋2階建普通教室棟竣工	27.4	プールの水、完全水道化工事完了
58.11	給水施設設備	28.2	九重学童クラブ設立
60.3	アスレチック完成	28.6	校舎・体育館耐震補強工事完了
61.3	鉄筋2階建特別教室棟竣工(4教室)	令和元.5	プール底盤平滑工事完了
62.8	体育倉庫完成	3.4	普通教室、音楽室エアコン設置
平成元.10	子ども銀行大蔵大臣・日銀総裁表彰	4.4	一人一台タブレット導入
2.10	九重小学校創立百周年記念事業実施		図書室改修工事完了(普通教室へ)
3.6	プール用自家水道設備整備		



館山市立第一中学校

所在地 館山市那古954番地

電 話 0470-27-2021

FAX 0470-27-2022

1. 学校教育目標

「心豊かで活力ある生徒の育成」

- (1) 自他を敬い 礼儀正しく 心豊かな生徒
- (2) 自ら学び 自ら考える 意欲ある生徒
- (3) 健康で明るく 心身を鍛える 活力ある生徒

2. 経営の方針

(1) 生徒が主役の学校づくり

○生徒が夢を育み、学ぶ楽しさを実感できる学校

子供の特性を把握し、「3つのあい」(伝えあい・認めあい・磨きあい)で生徒の活気を醸成する。

(2) 信頼される教職員による学校づくり

○全職員が積極的に経営参加する学校

自覚と誇り・やりがいを持ち、それぞれの「よさ」を発揮し、信頼を得る。

(3) 家庭・地域と共に歩む学校づくり

○家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たし、一体となって教育にあたる学校

地域・家庭・学校が連携する意識を持ち、強固な信頼関係を構築する。

3. 経営の重点及び具体的な取組

(1) 安心・安全な学校

○命と尊厳を守る指導・支援と物的・人的環境整備

○「認めあい」...社会性の育成を図る道德教育の充実

(2) 学力向上の推進

○基礎的・基本的な知識・技能の習得→課題の工夫、家庭学習の習慣化

[全国学力・学習状況調査(国数)→県平均]

○朝ドリル→基本的な学力の定着、学習習慣の定着

○学習規律の確立→「授業の約束」の浸透、『姿勢』『反応』『声量』への意識を高める。

○個に応じた授業実践→授業力向上推進コーディネーターを活用し、わかりやすく、

魅力ある授業の工夫。ICT機器を有効活用し、学習に対する意欲化を図る。

○言語活動の充実→

「伝えあい」主体的で対話的なコミュニケーション能力の育成と読書活動(朝読書)の推進

○家庭学習の充実→

計画的に課題を出すことにより家庭学習の習慣化を図る。

(3) 積極的な生徒指導の推進

○発達段階に応じた学年・学級経営の充実(個が生きる集団づくり、H-QUテストの活用)

○生徒の主体的な活動を引き出す場の設定と工夫

○インクルーシブ教育の視点に立った配慮と支援の実践→特別支援教育委員会の充実

○教育相談体制の整備(迅速で的確な対応)

○長欠対策→初期対応の重要性和連携(つながり) 学習の保証を!

○短学活の充実→学級目標達成の手立て

(4)特別活動・部活動の自主的活動の推進

○目的に適した行事の計画・評価・改善

○「3つのあい」に基づく、生徒主体の教育活動の推進
(地域社会等に貢献する意欲や態度の育成)

○部活動を通じた人間力の向上

(「磨きあい」 責任感・連帯感の育成)

(5)進路指導の質的向上

○進路指導体制の整備とガイダンス機能の整備(個に応じた生き方指導の充実と 人間力の育成)

「3つのあい」の取り組みで、活気ある学校をつくろう！

1 3つのI(わたし、のアイ) わたし...主体

家庭(育てる場)

地域(認める場)

学校(共に学ぶ場)

2 3つの合い(合い、のアイ)

伝え合い=双方向のコミュニケーション能力や表現力

認め合い=お互いの良さを相互に評価できる肯定的な態度や感受性

磨き合い=お互いに力を合わせながら理想に向かって活動する実践
行動

3 3つの愛(愛、のアイ)

自他を愛し

一中を愛し

地域に愛される学校に！

家庭・地域・学校が
それぞれの役割を果たし



3つの合い(伝え合い・
認め合い・磨き合い)の
取り組みで



3つの愛を実現しよう！

4. 研究計画

(1)研究主題

自己の学習の状況を把握し、主体的に学習に取り組む生徒の育成
～「目標」と「振り返り」を意識させて～

(2)研究・研修の目標

様々な活動(学級や学年の活動, 学校全体の行事)において目的を明確にし, その上で目標をもたせ, 計画的に活動させ, 振り返ることで, 生徒の主体的に取り組む態度を育てる。

日々の授業の中で, 学習課題(目標)を明確にし, 前時との関連を考え, 自力解決の時間を設け, 最後に振り返る時間を取り, 自分のできたことを考えることで, 自ら学ぼうという態度を育てる。

(3)今年度の具体的な取り組み

生徒に自分の仕事や役割を自覚させるとともに, 定期的(毎週・毎月・学期ごと)に振り返りをする。振り返りの目的の1つが、自分の状況を把握することであることを意識させる。

生活ノートや行事の振り返りの際に, 記述する内容を明確にし, 自分の気持ちを表現できるようにする。

授業や行事, 各活動において, 生徒自身に目標を持たせるとともに, 「3つのあい」(伝えあい・認めあい・磨きあい)の場面を作ることで, 生徒が学習や学校生活に主体的に取り組めるようにする。

本時の授業の学習課題(問題)を提示する。また, 定期的に振り返りの時間を設ける。学習課題は青、まとめは赤で囲む。

思考し表現する力を高める実践プログラムを活用した授業づくりに努める。

学習規律を徹底させたり, シラバスや振り返りシートを活用したりすることで, 生徒自身が努力目標を知り, 毎時間の達成感を味わえるようにする。

相互授業参観を定期的の実施し, 教師の授業力向上に努める。

5. 日課表

○木曜日は職員会議、研修日。○木曜日は、清掃カットで帰りの会。

日 課	時 程	月	火	水	木	金
予 鈴	7:55					
朝読書	8:00～ 8:10	教務会				
学 活	8:10～ 8:25					
1	8:35～ 9:25			特別支援委員会	総務会	
2	9:35～ 10:25			道徳		
3	10:35～ 11:25					
4	11:35～ 12:25			研究推進委員会		
給 食	12:30～ 12:55					
休 憩	12:55～ 13:20					
5	13:25～ 14:15		生徒指導委員会			1年学活・総合
6	14:25～ 15:15	2年学活	3年学活		学活 生徒会活動 会議・研修	総合
清 掃	15:20～ 15:35					
学 活	15:40～ 16:00					

6. 学級編制・担任等

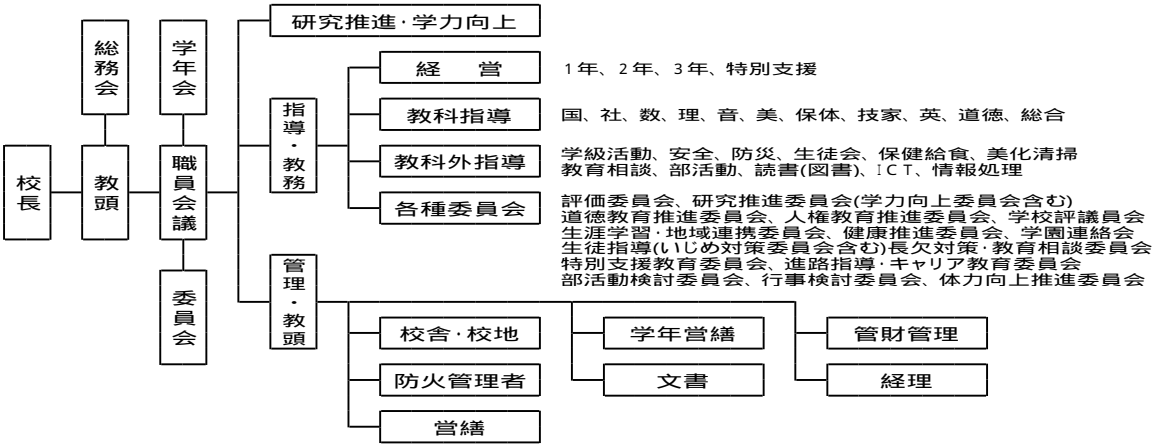
(1) 生徒数一覧

	1年		2年		3年		全校	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1組	12	15	12	11	16	9	40	35
2組	10	17	10	12	17	7	37	36
さざなみ(知)	4	2					4	2
やまびこ(知)			3	1	2	1	5	2
さわやか(情)			4		1		5	0
あおぞら(肢)						1	0	1
	26	34	29	24	36	18	91	76
合計	60		53		54		167	

(2) 職員一覧

教務室		1 年		2 年		3 年	
校長	小池 弘	主任	木曾美恵子(英語)	主任	稲田幸実(英語)	主任	真田光義(保体)
教頭	原田辰司	副主任	安田淳(少人数・数)	副主任兼さわやか担任	山田美喜(国 特支・情)	副主任	宮崎宏明(社会)
教務主任	入野祐一(英語)	1組担任	三平和輝(数学)	1組担任	金子侑生(社会)	1組担任	三平尚弥(数学)
養護教諭	出口裕子	2組担任	柴寄優也(国語)	2組担任	堀川瑞希(理科)	2組担任	鎌田涼平(理科)
事務職員	渡邊由衣	さざなみ担任	飯田一貴(体 特支・知)	副担任	篠原知也(音楽)	やまびこ担任	川田朝美(特支・知)
教科講師	福原和章(技術)	教科講師	花澤智子(家庭)	初任者指導	神作正孝	あおぞら担任	鈴木歩(美 特支・肢)
事務補助員	笛田新一	カウンセラー	栗山麻美	サポータースタッフ	小磯英明	授業コーディネーター	丸上俊雄
学習支援員	深谷孝恵	学習支援員	佐野景子	ICT支援員	石井千恵子		

7. 運営組織・校務分掌



8. 沿革

昭 24 . 4 . 1	昭和22年に開校された那古・船形両中学校を統合し、館山市立第一中学校開設の許可を受ける
4 . 7	館山市立第一中学校開校式（那古中・船形中を統合）
6 . 1	館山市正木1206番地に校舎竣工、授業開始 初代校長 佐藤 直右 着任
25 . 3 . 5	校歌制定（作詞 白鳥省吾 作曲 森義八郎）
34 . 4 . 1	2代校長 田中 正 着任（船形小学校長から）
11 . 25	文部省指定産業教育研究発表会開催
38 . 12 . 15	日本職業指導協会研究指定校として公開研究会開催
40 . 6 . 29	県道德教育研究指定校として公開研究会開催
41 . 4 . 1	3代校長 庄司 恒治 着任（西岬中学校長から）
12 . 10	県特殊教育公開研究会開催
49 . 4 . 1	4代校長 遠藤 一郎 着任（市教委学校教育課長から）
50 . 3 . 4	館山市那古954番地に新校舎建築着工
51 . 4 . 1	5代校長 庄司 厚 着任（教育庁安房地方出張所管理課長から）
4 . 27	新校舎竣工式開催
53 . 4 . 16	体育館竣工式
10 . 25	文部省指定生徒指導全国公開研究会開催
54 . 4 . 21	プール建設着工（7.6 竣工式）
55 . 4 . 1	6代校長 吉田 久雄 着任（朝夷教委学校教育課長から）
12 . 11	館山一中跡地記念碑建立（同窓会）
4 . 1	7代校長 金房 保 着任（館山市教委社教文化課長から）
60 . 7 . 4	彫刻「くがい」藤森 民雄 作 設置
62 . 4 . 1	8代校長 大田和 正之 着任（丸山町立丸山中学校長から）
平 元 . 4 . 1	9代校長 福原 仲次 着任（鋸南町立第一中学校長から）
3 . 5 . 31	県教委指定学校安全公開研究会開催
4 . 4 . 1	10代校長 辻 實 着任（市教委学校教育課長から）
7 . 4 . 1	11代校長 川田 繁 着任（市教委学校教育課長から）
11 . 17	県教委・地教連・市教委指定生徒指導推進地域研究会開催
9 . 4 . 1	12代校長 田口 秀雅 着任（館山市立房南中学校長から）
13 . 4 . 1	13代校長 平野 明文 着任（県立大房少年自然の家所長から）
14 . 10 . 10	校舎大規模改修工事完了
15 . 4 . 1	14代校長 佐野 正之 着任（館山市立豊房小学校長から）
20 . 4 . 1	15代校長 下妻 洋也 着任（鋸南町教育委員会教育課主任指導主事から）
20 . 10 . 25	体育館耐震補強工事完了
22 . 4 . 1	16代校長 小峰 昇 着任（県立君津高等学校教頭から）
5 . 31	太陽光発電装置竣工
11 . 19	文部科学省指定「人権教育研究」実践発表会開催
23 . 9 . 7	武道館屋根改修工事終了
25 . 1 . 7	地震、大津波想定避難訓練 {芝崎地区避難指定場所 健人館へ避難を試行}
25 . 4 . 1	17代校長 平島 昭一 着任（県教育庁教育振興部体育課学校体育室長から）
28 . 4 . 1	「学力・学習状況」検証事業研究指定校（平成28～30年度）
29 . 4 . 1	18代校長 吉野 芳明 着任（館山市立館野小学校長から）
31 . 4 . 1	19代校長 鈴木 賢一 着任（千葉県教育委員会（放送大学学園派遣）から）
令 3 . 4 . 1	20代校長 小宮 雄三 着任（市教委教育総務課長から）
4 . 11 . 15	県教委指定 特色ある道德教育推進校における研究事業 道德公開研究会開催
5 . 4 . 1	21代校長 庄司 憲弘 着任（市教委教育総務課教育推進室長から）
7 . 4 . 1	22代校長 小池 弘 着任（千葉県教育委員会南房総教育事務所から）



館山市立館山中学校

所在地 館山市北条1452
電 話 0470-22-0531
FAX 0470-22-0898

1 学校教育目標

「自立」と「共生」
～社会の変化に対応し、逞しく生きる生徒の育成～
修文練武

(1) 知 育

【自己実現に向けた学力の向上】

基礎学力の定着(館山中スタンダード)
思考力、表現力の育成(館山中スタンダード)
ICT機器を活用し、次代を見据えた教育の推進
「さとみ学習」等を中心とした郷土学習の推進

(2) 徳 育

【共生できる社会性の育成】

自主的・主体的な諸活動の実践
他を思いやり協力していく意識の向上
社会生活に向けての規範意識の向上
h - QUを活用した集団づくりの実践

(3) 体 育

【健康で豊かな生活を営むための体力の向上】

規則正しい生活習慣の育成
部活動の活性化による心身の向上
心身の健やかな成長を目指した健康教育の推進
栄養教諭・栄養職員を核とした食育教育の推進

2 目指す子ども像

- ・自ら考え主体的に行動する生徒
- ・他者を理解し共に支えあう生徒
- ・心身ともに健康な生徒

3 経営の方針

安心安全な学校づくり

- ・事故を未然に防ぐ安全教育の推進
- ・安全確保を第一とした学校運営
- ・開かれた学校づくりの推進

(1) 保護者との信頼関係

- ・授業参観・行事への参加依頼
- ・各種たよりやブログによる情報発信
- ・学校評価の活用
- ・PTA活動、懇談会の積極活用

(2) 教職員の資質向上

- ・常に組織で対応する職員集団
- ・コンプライアンス意識の向上
- ・授業力向上を目指した館中スタンダードの構築
- ・指導力向上を目指した研修の推進

(3) 地域との連携

- ・情報発信に努める
- ・授業や行事の公開
- ・地域人材や自然・文化の活用
- ・地域の行事への積極的な参加

4 研究計画

(1) 研究主題

学力向上を目指した授業づくり
～館山中スタンダードの構築を目指して～

研究主題の理由

本校の最重要課題として、「学力向上」が挙げられる。全国学力学習状況調査において、観点別に分析すると、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」とともに、県平均を下回っている。そのため、日々の授業や各単元を通して、バランスよく指導していくことが求められる。特に「書くこと」に関しては、筋道を立てて考えたり、自分の言葉で表現したりすることに大きな課題が見られる。全国学力・学習状況調査の経年分析においても、記述式の正答率が特に低い。この点は、学力向上を図る上で、改善を図るべき事項であると考えられる。

県が提唱する、「思考し表現する力」を高める実践モデルプログラムの「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」の学習過程を、本校の授業で振り返ると、後半に進むにつれ、十分に活動時間を設けることが難しくなる傾向がある。そのため、結果として生徒は、自分の考えを書く時間が不足し、粘り強く取り組むことが苦手な実態もあることから、選択式、短答式、記述式の順に、全国・県の正答率と比較し、大幅に低くなっていると考えられる。

また、本校は若手職員が多いため、授業力向上の手立ての実践、授業を安心して進められるようにしていくことが、求められている課題の1つである。そこで、館山中の授業スタイル（館山中スタンダード）を確立することで、どの先生が授業を行っても同じように行うことが大切と考える。

そのような状況から、令和6年度より、館山中学校の授業スタイルの確立を目指すこととした。1年間の取組を通して成果と課題が挙がり、更に生徒の実態に沿った実践を進めることが重要である。また、これまでよりもICT機器の活用を積極的に授業に取り入れ、生徒の興味・関心を高め、学びに向かう態度や、主体的で深い学びのある授業を展開することも視野に入れる。

以上のことにより、学校全体で共通した課題の改善や、授業展開の仕方の確立という理由から本研究主題を設定した。

(2) 生徒の実態

生徒の様子

本校の生徒は全体的に明るく活発で、体育祭、合唱コンクールなどの学校行事、部活動に一生懸命取り組むことができる。学校行事や部活動をふくめ、仲間と協力して活動できる生徒が多い。学習面においてもグループ活動を行うと仲間と協力しながら、積極的に学習を進めることが

できる。また、仲間どうして教えあう姿も見られる。しかし、テスト等の結果を見ると、学力の著しい2極化現象が見られる。学習を苦手とする生徒は、学習意欲が乏しく、学習内容が理解できない。学習に一生懸命に取り組めない。この負のスパイラルが学力差につながっていると考えられる。また、学習を苦手とする生徒は、学習に対する気持ちが弱く、粘り強く取り組めない生徒もいる。

テスト結果

本校の課題である記述式の正答率を分析すると特に「書くこと」の力が弱いことがわかる。本校の研究主題にある学力向上を図るうえで最も取り組むべき課題である。今年度も全校共通、教科横断的な視点も踏まえて、授業のまとめは「自分の言葉で書く」ことに特化して取り組んでいく。

若手教員が急増する中で、「館山中スタンダード」を確立することで、どの先生が授業を行っても同じように展開できる校内の指導体制を構築したいと考えている。

本校の学力テストの平均点（R7.1月実施）

学年	国語	数学	理科	社会	英語	合計
2 学年	4 7 . 0	4 4 . 0	4 8 . 0	4 5 . 0	6 0 . 0	2 2 4 . 0
3 学年	3 8 . 5	4 2 . 2	4 7 . 7	4 1 . 3	5 8 . 0	2 2 7 . 7

（３）研究内容

（１）館山中スタンダードの構築

全教科統一の取り組み

ア 基礎基本の定着

- ・授業冒頭で前時の復習を行う。
- ・各授業者の計画的な展開の上で、適宜、理解定着の場面を設ける。
- ・授業の目標を青で囲む。

イ 単元を通して「書くこと」に重きを置いた時間を設ける

- ・自分の言葉で学習のまとめを書く。
- ・授業内において、記述形式の問題に、定期的に取り組む場面を設定し、経験を積む。
- ・校内研修、教科部会等で取組の状況を確認の上、より効果的な取組について協議する。

ウ 「授業を受ける姿勢」の徹底

- ・全職員が内容把握の上、徹底を図る。
- ・適宜内容を確認し、修正を図る。

エ ICT機器の活用

- ・活用場面一覧を参考にしながら、実践を図る。
- ・校内研修や教科部会等で、取組の状況を確認の上、より効果的な取組について協議する。
- ・研修会を開催し、職員のスキル向上を図る。

各教科の取り組み

ア 教科部会の定期的な実施

- ・お互いの実践状況を確認し、適宜、助言し合う。
- ・各教科の授業力向上について協議し、実践を図る。

イ 「授業力向上推進コーディネーター」との連携

- ・各授業者が助言を受け、より良い授業の実践につなげる場とする。
- ・適宜、授業者から日々についての質問や相談等を気兼ねなく行い、今後の教育活動につなげる場とする。

ウ 昨年度１月に各教科で示した改善策の実践

- ・各教科で協議した内容を確認の上、実践を図る。

（２）特別研修

保健関係の研修、教育相談の研修、若年層職員を対象とした研修等、生徒や職員の状況に応じて研修を行う。

(3) その他

以下の研修を計画し、実施する。

- ・不祥事根絶について
- ・危機管理について

5 日 課 表

	6 校 時 日 課	5 校 時 日 課
生 徒 登 校	8 : 0 0	8 : 0 0
朝 読 書	8 : 0 0 ~ 8 : 1 0	8 : 0 0 ~ 8 : 1 0
朝 学 活	8 : 1 0 ~ 8 : 2 0	8 : 1 0 ~ 8 : 2 0
1 校 時	8 : 3 0 ~ 9 : 2 0	8 : 3 0 ~ 9 : 2 0
2 校 時	9 : 3 0 ~ 1 0 : 2 0	9 : 3 0 ~ 1 0 : 2 0
3 校 時	1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 2 0	1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 2 0
4 校 時	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 2 0	1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 2 0
給 食	1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 5 0	1 2 : 2 0 ~ 1 2 : 5 0
昼 休 み	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 1 5	1 2 : 5 0 ~ 1 3 : 1 5
5 校 時	1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 1 0	1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 1 0
6 校 時	1 4 : 2 0 ~ 1 5 : 1 0	
清 掃	1 5 : 1 5 ~ 1 5 : 3 0	1 4 : 1 5 ~ 1 4 : 3 0
帰りの学活	1 5 : 3 5 ~ 1 5 : 5 0	1 4 : 3 5 ~ 1 4 : 5 0
部 活 動	1 5 : 5 5 ~	1 4 : 5 5 ~
最終下校時刻	4 月 (17:45) 5 ~ 7 月 (18:00) 9 月 (17:45、17 : 30) 10 月 (17:15) 11 月 ~ 1 月 (16:45) 2 月 (17:00、17:15) 3 月 (17:30)	

6 学級数・生徒数

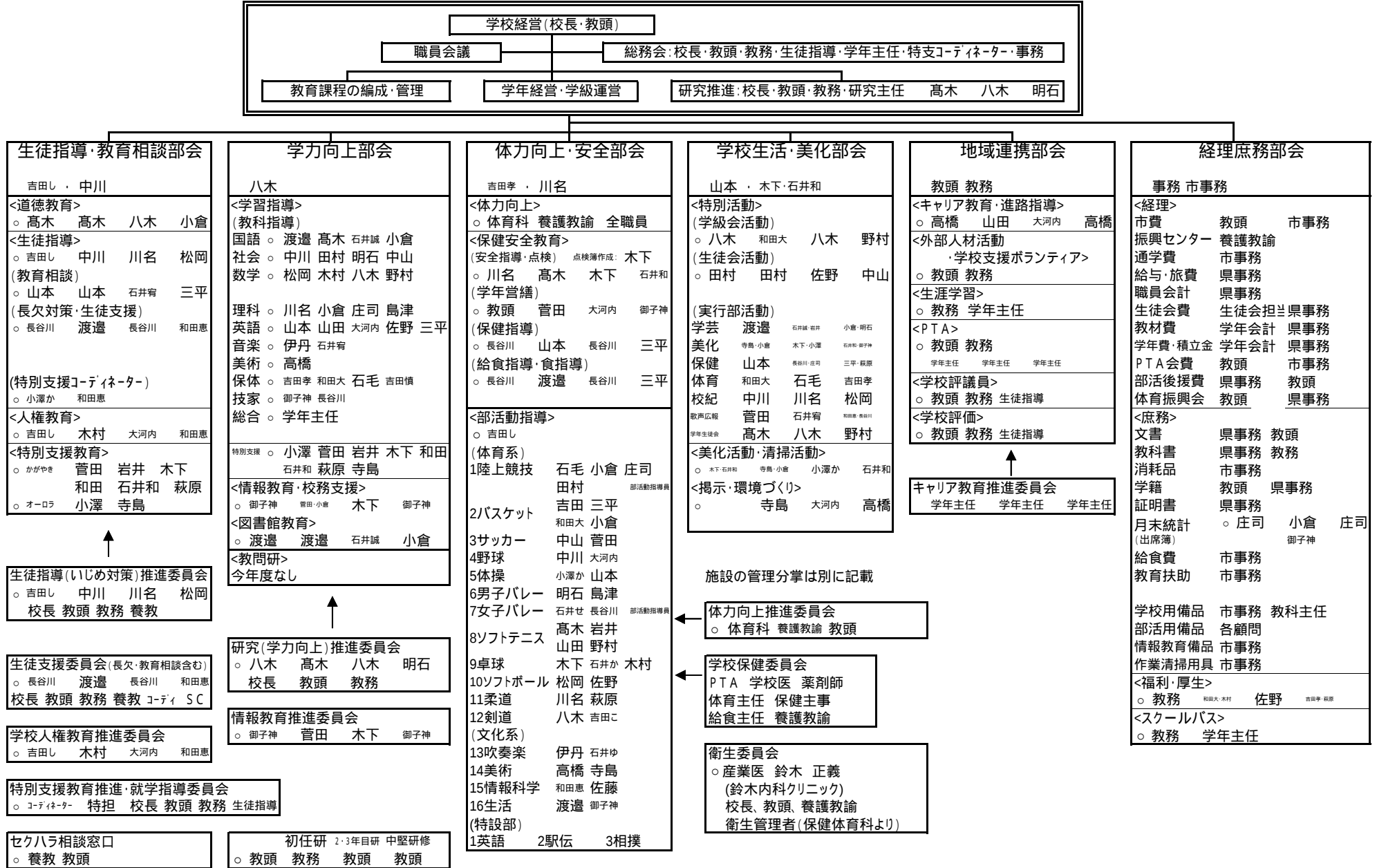
	学級数
1 年	6
2 年	6
3 年	6
かがやき	6
オーロラ	2
合 計	26

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	男子	女子	合 計
1 年	37	37	38	37	38	38	113	112	225
2 年	42	41	42	41	41	41	110	138	248
3 年	41	41	41	40	40	41	133	111	244
							356	361	717

7 職員一覧

校 長	神子 純一	進路指導主事	明石 晃	事務職員	石井 恵子	学 習 支 援	金木佐千子
教 頭	荒井 正宗	生徒支援主任	長谷川牧実	事務職員	礒貝 歩美	学習支援員	豊崎きぬ子
教 頭	松坂 和哉	生徒支援副主任	佐藤 賢吾	初任者指導	神作 正孝	学習支援員	笹嶋 暁子
教務主任	伊丹 裕子	特別支援コーディネーター	小澤 香織	スクールカウンセラー	鈴木 文子	スクールサポートスタッフ	小山 治賢
生徒指導主事	吉田 慎吾	副コーディネーター	和田 恵子	事務補助員	山形 邦枝	長期研修生	川上 徹也
生徒指導副主事	中川 翔矢	養護教諭	小瀧 清美	事務補助員	岩崎 忠孝	授業力向上	吉田慎一郎
研究主任	八木 悠貴	栄養教諭	加藤 美和	学 習 支 援	田村 邦子		
	1 学年		2 学年		3 学年		
主 任	山田 めぐみ	英語・テニス	大河内 啓佑	英語・野球	高 橋 敦 子	美術・美術	
副主任	中川 翔矢	社会・野球	川 名 虎 喜	理科・柔道	明 石 晃	社会・男バレー	
1 組	中川 翔矢	社会・野球	八 木 悠 貴	数学・剣道	松 岡 豪 伸	数学・ソフト	
2 組	和 田 大 穂	保体・バスケ	石 毛 才 織	保体・陸上	小 倉 優 佳	国語・陸上	
3 組	山本 佳奈子	英語・体操	石 井 誠 也	国語・女バレー	吉 田 孝 平	保体・剣道	
4 組	木村 心淑美	数学・卓球	石 井 宥 輔	音楽・吹奏楽	島 津 陽 一	理科・男バレー	
5 組	田 村 泰 久	社会・陸上	佐 野 唯	英語・ソフト	中 山 大 成	社会・サッカー	
6 組	高 木 修 平	国語・テニス	川 名 虎 喜	理科・柔道	野 村 香 苗	数学・テニス	
かがやき	菅田 健太郎	特支・サッカー	岩 井 駿	特支・テニス	和 田 恵 子	特支・情報科学	
			木 下 郁	特支・卓球	石 井 和 希	特支・卓球	
					萩 原 皓 人	特支・柔道	
オーロラ	寺 島 秀 典	特支・美術	小 澤 香 織	特支・体操	三 平 和 子	英語・バスケ	
副担任	宮 本 泰 輔	理科・バスケ	長谷川 牧実	家庭・女バレー	御子神 潤一	技術・生 活	
副担任	渡 邊 多 見 子	国語・生活	庄 司 亨	理科・陸上	明 石 晃	社会・男バレー	
生徒支援	佐藤 賢吾						

令和7年度 校務分掌



9. 沿革

令 3 . 4 . 1	第二中学校と第三中学校を統合し、館山中学校開校 初代校長 吉田慎一郎 着任
0 3 . 4 . 8	開校式
0 3 . 4 . 9	第 1 回入学式（新入生226名）
0 3 . 1 1 . 3 0	校歌披露式
0 4 . 3 . 1 1	第 1 回卒業式（卒業生241名）
0 4 . 4 . 6	第 2 回入学式（新入生244名）
0 5 . 3 . 1 0	第 2 回卒業式（卒業生249名）
0 5 . 4 . 1	2 代校長 神子 純一 着任
0 5 . 4 . 7	第 3 回入学式（新入生248名）
0 6 . 3 . 1 3	第 3 回卒業式（卒業生227名）
0 6 . 4 . 9	第 4 回入学式（新入生248名）
0 7 . 3 . 7	第 4 回卒業式（卒業生250名）
0 7 . 3 . 1 0	新校舎竣工式
0 7 . 3 . 1 8	閉設式
0 7 . 4 . 1 0	開設式
0 7 . 4 . 1 1	第 5 回入学式（新入生225名）
0 7 . 4 . 2 5	お披露目会



館山市立房南中学校

所在地 館山市佐野2070
電話 0470-28-0042
所在地 0470-28-0495
E-mail bounante@city.tateyama.lg.jp
bounante@city.tateyama.chiba.jp

1 学校教育目標

【豊かな心を持ち、自ら考え実践する生徒の育成】
「房南中が好きです ～進んでやろう 大切にしよう 夢中になろう～」

- (1) 目指す生徒の姿
進んで考え、正しく判断し、的確に表現できる生徒(思考力・判断力・表現力)
豊かな心を持ち、自他を大切にし、共に高め合う生徒(人間性)
心身共に健康で、最後までたくましくやり抜く生徒(健康・体力・意志力)
ふるさと房南を愛し、組織や社会に貢献できる自立した生徒(自立と社会性)
- (2) 目指す学校の姿
明るく、楽しく、笑顔があふれる学校(活力)
清潔で、整った、あたたかい学校(環境整備)
生徒が安心して生活できる学校(安全と信頼)
- (3) 目指す教職員の姿
教育公務員として信頼される教職員(信頼醸成)
生徒に寄り添い、よさを引き出す教職員(誠意と情熱)
研究と修養に努め、自らを高める教職員(向上心)
協力して学校経営に参画する教職員(協調と協働)

2 学校経営の方針

- (1) 全職員協働による学校経営
- (2) 生きる力の育成
- (3) 自主性・自立心の確立
- (4) 信頼される学校づくり

3 学校経営の重点

- (1) 新しい教育活動への積極的な取組
- (2) 表現力の育成とICT機器の有効活用
- (3) 存在感を味わえる生徒指導と学年・学級経営
- (4) 安心・安全な教育活動と学校環境

4 具体的な取組

- (1) 目指す生徒を育成するための取組
「説明」「発表」「協議」の場を大切に学習活動
ICT機器の活用促進(各教科・領域での日常的な活用と持ち帰り)
「考え、議論する道徳」授業の充実と相互授業参観の実施
いじめの早期発見と早期解決に向けた、全教職員による情報共有と組織的な対応
生徒の共感的理解と教育相談活動の充実
目標に向かって運動に取り組む資質・能力の育成
Hyper-QUのアセスメントに基づく学級経営と個別の支援
生徒一人一人が達成感を味わえる学校行事や部活動
- (2) 目指す学校をつくるための取組
生徒一人一人の安全意識の向上、施設・設備の点検の徹底による、安心で安全な教育活動の展開
積極的な情報発信による学校理解の促進
適正な予算執行と学校徴収金の処理、教職員の服務規律の遵守による信頼される学校づくり
授業力向上推進コーディネーター制度を活用した授業力向上と授業改善
職員個人の資質能力の向上と、新しい取組への挑戦
相談体制の充実による職員の経営参画意識の向上と、組織の活用促進
計画的な教材や学校備品の購入による教育環境の充実

5 研究計画

(1) 研究主題

生徒が自ら「思考し、表現する力」の育成

(2) 研究主題設定の理由

これまでの学力分析から生徒の思考力の弱さが見られ、学校の課題として、思考力の向上の必要性を感じる。一昨年度からの継続研修の振り返り活動のさらなる定着から、知識の定着の確認と思考力の向上の確認につなげていきたい。また、授業中の生徒の「聞く姿勢」や「問いかけへの反応」ができていないが、積極的な意見発表に結びつかない状況にある。1学年1学級で、ほとんどの生徒が小学校から同じメンバーで過ごして、わざわざ言葉で伝えなくても、わかり合える環境にあることも明確な意見を述べない一因となっている。これらの解消を図るために、表現する力の向上も視野に入れた研究主題を設定した。

(3) 研究のねらい

千葉県の取り組みである「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用して、思考し、自分の考えを形成する活動や、自分の考えを文章や口頭で表現する効果的な活動を、各教科で考察する。また定期的な学習振り返り活動を通して、自分の思考を表現に置き換える習慣をつけ、「思考し、表現する力」の育成を目指す。さらに、振り返りを次の学習につなげることで、学びに対して主体的に向かう姿勢を養う。

(4) 研究仮説

すべての授業の中で、思考し、自分の考えを形成する活動や、自分の考えを文章や口頭で表現する活動を取り入れ、それを習慣化すれば、生徒の「思考し、表現する力」が高められるであろう。学習振り返りシートを活用し、自分の思考を文章として表現することを積み上げれば、自分の考えを文章として表す力の向上も望めるであろう。

学級活動を通して、自身の発言が受け入れられる雰囲気づくりを行うことで、学びに対して主体的に向かう姿勢を育成できるであろう。

(5) 研究内容

授業：自分の思考を文章や口頭で表現する場面を設ける。（実践モデルプログラムを活用）

学習振り返りシート：継続可能な方法で、全教科で取り組む。

➡ 記述表現を充実させるための手立てを考察する。

職員が授業のセルフチェックシートを2週に一度、週案提出日に合わせて各自実施し、授業改善する。

日々の教育活動全般を通して、表現活動を重視した取組を行う。

短学活でのスピーチ、学級での話し合い、生徒会実行部活動、学校行事、縦割り活動等

6 日課表

	火曜日～金曜日	月曜日	主な週予定
朝読書	8:00～8:10	8:00～8:10	○月・木 朝の打合せ
学活	8:10～8:20	8:10～8:20	○月(第2週) 校内研修
1校時	8:25～9:15	8:25～9:15	○水(第3週) 総務会
2校時	9:25～10:15	9:25～10:15	○月(第4週) 職員会議
3校時	10:25～11:15	10:25～11:15	○火(4校時) 生徒指導委員会
4校時	11:25～12:15	11:25～12:15	○水(4校時) 主任会
給食	12:15～12:40	12:15～12:40	
昼休み	12:40～13:05	12:40～13:05	4月 下 18:00
清掃	13:10～13:20		5～7月 校 18:15
5校時	13:30～14:20	13:10～14:00	9月 17:45
6校時	14:30～15:20		10月1～2週 校 17:30
学活	15:25～15:45	14:05～14:25	8月・10月3週～ 17:00
諸活動		14:30～15:20	11月・12月 16:45
体力・部活	15:55～	木曜日清掃なし 下校時刻を15分早める	1月～2月2週 17:00
			2月3・4週 17:15
			3月 間 17:30

7 学級編成・担任(学級数5 男子:28 女子:28 計:56)

1年				2年				3年			
担当	氏名	男子	女子	担当	氏名	男子	女子	担当	氏名	男子	女子
主任	田中恵美子	7	11	主任	庄司 尚子	10	7	主任	海地 誠治	11	7
担任	島津 裕司			担任	鈴木 翔太			担任	久我 明穂		
副主任	牧野 利雄										
グリーン学級(知)				グリーン学級(知)				グリーン学級(知)			
担任	大塚 朝子	3	1	担任	大塚 朝子	2	0	担任	大塚 朝子	1	1
				ふれあい学級(情)							
				担任	今泉沙弥香	0	2				

8 校務分掌

○教務主任	栗原 裕生
○生徒指導主事	島津 裕司
○研究主任	田中恵美子
○進路指導主事	海地 誠治
○保健主事	今泉沙弥香

学年担当職員				
1年	田中	島津	牧野	
2年	庄司	鈴木	今泉	
3年	海地	久我	大塚	

教務	教科指導	国語	海地	社会	島津	数学	栗原	理科	久我
	栗原	音楽	今泉	美術	安藤	保体	鈴木		
		技術	牧野	家庭	大塚	英語	田中	庄司	
	道徳指導	島津	鈴木	久我	道徳教育推進教師	庄司			
	特別活動	学級活動	鈴木	久我	島津				
		生徒会	前期	久我	鈴木	後期	鈴木	島津	会計 今泉
	久我	実行部	生活部	島津	大塚	学芸部	久我	海地	
		環境部	栗原	庄司	保体部	鈴木	牧野	山中	放送部 今泉 田中
	部活動	剣道部	鈴木	海地	バスケットボール部	久我	田中	中山(小)	
		陸上競技部	牧野	大塚	野球部	島津	栗原		
	島津	吹奏楽部	今泉	庄司					
		英語部	田中	庄司					
	TT指導	栗原	牧野						
	総合的な学習の時間	栗原							
	生徒指導	島津	教育相談	山中	SC	不登校対策	山中	久我	
	安全指導	牧野							
	保健指導	今泉	山中	鈴木					
	食育・給食	山中							
	特別支援教育	大塚	今泉	特別支援教育コーディネーター	大塚				
	人権教育	海地							
	図書館教育	海地							
	生涯学習	教頭	栗原						
	ICT	牧野	栗原						
庶務	キャリア教育	庄司	田中	海地	進路指導	海地	久我	大塚	
	小中連携	栗原	田中	庄司	今泉				
	福祉教育	栗原							

総務会・主任会	学年経営
---------	------

令和七年度 房南中学校 校務分掌

校長	教頭	職員会議
----	----	------

庶務	施設・設備	校舎南1階	職員室・校長室・会議室	栗原	職員トイレ	山中
			玄関・事務室	相川	保健室	山中
			放送室	今泉	生徒昇降口	大塚
			相談室	山中	東トイレ	小学校
	教頭	校舎南2階	進路指導室	海地	コンピュータ室	海地
			屋上出入口階段	田中	英語教室	田中
	防火管理責任者	校舎北1階	生徒会室	小学校	木工金工室・準備室	牧野
			家庭科室・準備室	大塚	西トイレ	山中
	教頭	校舎北2階	音楽室・準備室	今泉	小学校	理科室・準備室
			美術室	今泉	小学校	美術準備室
			配膳室	印南	西トイレ	山中
			体育館部室	久我	武道館	鈴木
			体育倉庫・部室	鈴木	グラウンド	島津
			多目的ホール	栗原	図書室	海地
			旧変電室	教頭	普通教室	各学級担任
	掲示	栗原	ポスター等掲示物	記録・写真	各学年1名	
	営繕	施設設備の管理保管・営繕計画と内部指示・外部との渉外	教頭			
	教頭	中規模の営繕	印南	小規模の営繕は各管理担当職員で		
	備品	作業具	印南	清掃用具	栗原	職員図書・雑誌
	栗原	教具・教材	各主任	部活動	各顧問	視聴覚放送機器
事務		事務機器	相川	冷暖房器具	教頭	印南
		公文書等受入	相川	文書処理	教頭	学籍・転出入
		消耗品	相川	服務・証明	相川	給食
		図書	海地	教科書	栗原	相川
		月末統計	久我	通知票・指導要録	栗原	校務支援システム
		県・市会計	相川	電話	相川	購買
		職員会計・共済・互助会	相川	就学援助・特別支援奨励	相川	
		生徒会会計	今泉	学校徴収金	相川	各学年会計担当
		P T A	教頭	広報部	庄司	環境部
		小中体連	教頭	鈴木	学警連	教頭
渉外		地域支援ボランティア	教頭	栗原	学校開放	教頭

各種委員会	生徒指導・長欠対策・いじめ防止対策	島津	鈴木	海地	山中	栗原	SC
	研究推進・学力向上	田中	鈴木	久我	栗原		
	進路指導	海地	久我	大塚	庄司	田中	栗原
	健康体力推進	山中	鈴木	今泉			
	特別支援教育	大塚	今泉	田中	庄司	海地	栗原
	働き方改革・モラルアップ	教頭	田中	庄司	海地	栗原	
	セクハラ等相談	教頭	山中				

校長・教頭・教務は必要に応じてメンバーに入る。

9 沿 革

昭 22	5	神戸村・富崎村によって組合立房南中学校を開校 (旧館山海軍砲術学校予備学生舎を使用)
26	5	本校舎内に千葉県立安房第二高等学校房南分校を設置(短期家政科)
29	5	館山市立房南中学校と改称(館山市に合併)
36	10	技術家庭科室建築(160㎡)
43	3	千葉県立安房南高等学校房南分校閉校
44	4	新校舎建築着工
44	4	新校舎完成 5月より授業開始
46	10	体育館新築工事着工
47	6	体育館竣工
		放送センター開設に伴い三元装置・LL教室を設置 視聴覚教育開始
		野球場バックネット新設
51	3	給水塔・自転車置場・給食受入室完成
53	4	県教委より学校安全推進地域研究中心校の指定
7	7	学校環境整備(造園・植樹)
8	8	プール竣工
54	9	体育文化活動後援会設立
55	1	学校安全優良校として県教育委員会表彰受賞
3	3	PTAが健康安全研究の協力で安房地方学校保健会より表彰受賞
11	3	学校安全教育の功績により県教育委員会表彰受賞
56	3	第1回若潮マラソン大会会場
4	4	柔剣道場竣工式
57	1	全日本交通安全協会より交通安全教育の功績により全国表彰受賞
3	3	日本学校安全会より学校安全教育の実践・研究の成果に感謝状受賞
11	6	安全教育の功績により千葉県知事表彰受賞
58	6	PTA運営及び活動の功績に県PTA連絡協議会長表彰受賞
10	10	学校安全教育の功績により文部大臣表彰受賞
59	7	学校安全教育の功績により内閣総理大臣表彰受賞
61	9	開校40周年記念として同窓会より校旗寄贈
62	8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場(ベスト16)
63	4	農園にビニールハウス設置
5	5	県教委より「心身障害者理解推進教育研究指定校」の委嘱
8	8	関東中学校剣道大会男子団体連続出場(ベスト8)
10	10	トイレ水洗化・水洗便所3棟・集合浄化槽新設
平 元	10	県教委指定「心身障害者理解推進教育」公開研究会
2	1	房南中学校舎建設推進委員会発足
2	2	校舎建設市長陳情・議会へ請願(採択)
8	8	3棟屋板修理完了
12	12	3棟床張替完了
3	2	校舎建設市長・議長へ請願
5	5	千葉県福祉教育推進校の指定
7	7	バックネット修理
10	10	体育館屋根塗装
5	3	房南中学校新校舎建設委員会に改名 焼却炉設置
8	8	地質調査開始
6	9	新校舎新築工事着工
7	8	新校舎完成
9	9	新校舎鍵引渡式 授業開始
8	1	新校舎竣工式
9	9	館山市教育委員会マイスクール推進事業研協力校の指定(地域人材活用開始)
10	9	柔剣道場屋根修理完了
11	7	県中学校剣道大会男子団体優勝
11	7	プール塗装工事完了 県総合体育大会剣道男子団体優勝 女子準優勝
8	8	全国中学校剣道大会男子団体出場
12	7	県総合体育大会剣道大会男子団体優勝 男子5位 女子個人優勝
8	8	関東中学校剣道大会女子団体3位
11	11	全国中学校剣道大会女子団体ベスト8 女子個人敢闘賞
12	12	子育てフォーラムin房南開催
13	1	県中学校剣道大会女子団体優勝 女子個人優勝
7	7	体育館耐震工事
8	8	県総合体育大会剣道大会女子団体優勝 女子個人優勝
11	11	全国中学校剣道大会女子団体出場 女子個人3位
14	8	県中学校剣道大会女子団体優勝 女子個人優勝 同3位
12	12	県総合体育大会剣道大会女子団体優勝 女子個人優勝
15	8	全国中学校剣道大会5年連続出場
16	4	県中学校剣道大会男子団体優勝 女子個人3位
12	12	関東中学校剣道大会男女団体出場
17	3	学童農園 食育活動研究指定
8	8	県中学校剣道大会男子団体準優勝
17	3	日本教弘教育賞優良賞受賞 体育館西側のき裏補修工事
18	3	関東中学校剣道大会女子団体出場
19	3	体育館南側のき裏補修工事
8	8	バリアフリー改修工事 体育館南側窓アルミサッシ交換
10	10	陸上競技走り幅跳び関東・全国大会出場
20	8	小中高等学校等連携授業公開
21	3	体育館北側後部アルミサッシ交換
12	12	陸上女子JrオリンピッククラスB砲丸投出場
23	8	体育館北側前部アルミサッシ交換
24	8	陸上女子砲丸投関東大会出場
25	8	体育館床改修
26	3	教職員用コンピュータ購入
27	3	千葉県国体剣道競技練習会場 県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
28	3	関東陸上競技棒高跳11位
29	3	和のコンサート開催
30	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
31	8	県中学校新人陸上競技大会棒高跳優勝
32	8	全国中学校陸上競技大会棒高跳出場
33	8	一貫校建設へのボ・リング調査
34	8	関東陸上競技棒高跳7位
35	8	県総合体育大会陸上競技大会棒高跳優勝
36	8	房南学園竣工式
37	8	房南学園開校
38	8	関東中学校剣道大会男子団体出場
39	8	台風15号被災箇所補修工事完了
40	8	GIGAスクール構想環境整備完了
41	8	台湾澎湖縣立馬公國民中學来校 交流会実施

歴 代 校 長

初 代	昭和22年	和田 隆治 先生着任
2 代	昭和25年	長井 清 先生着任
3 代	昭和28年	鈴木 勝次 先生着任
4 代	昭和34年	鈴木 喜一 先生着任
5 代	昭和40年	勝又 秀雄 先生着任
6 代	昭和42年	佐野 初男 先生着任
7 代	昭和44年	左右加 寛 先生着任
8 代	昭和44年	首藤 倫己 先生着任
9 代	昭和47年	松田 正夫 先生着任
10 代	昭和52年	館石 竹男 先生着任
11 代	昭和56年	加瀬 一郎 先生着任
12 代	昭和60年	出山 恒男 先生着任
13 代	昭和61年	小松 雄光 先生着任
14 代	平成元年	宮本 昌弘 先生着任
15 代	平成5年	平島三千男 先生着任
16 代	平成7年	田口 秀雄 先生着任
17 代	平成9年	平野 明文 先生着任
18 代	平成11年	黒川 修 先生着任
19 代	平成14年	池田 公男 先生着任
20 代	平成16年	安田 茂 先生着任
21 代	平成18年	山口 正義 先生着任
22 代	平成21年	石橋 寿一 先生着任
23 代	平成27年	干場 立一 先生着任
24 代	平成29年	小柴 信弘 先生着任
25 代	平成31年	松山 毅 先生着任
26 代	令和3年	川名 厚 先生着任
27 代	令和6年	土橋 純也 先生着任

館山市立船形こども園

所在地 館山市船形406-7
電 話 0470-27-2524
F A X 0470-27-2524

1. 保育教育目標

『やさしく、たくましく生きる子どもを育てる』

目指す子ども像

- * なかよく力いっぱい遊ぶ子
- * 心豊かな思いやりのある子
- * 健康で明るく元気な子

2. 経営方針

- 0歳児から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
- 家庭や地域社会・他園・小学校と緊密な連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。
- 子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を充分に発揮し、健全な心身の発達が図れる環境設定を用意する。
- 養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3. 経営の重点

- ・ 家庭と連携を取りながら、基本的生活習慣の確立や社会性、道徳性が身につくように援助する。
- ・ 集団生活の中で人との関わりの楽しさを知り、異年齢間の育ち合いや望ましい人間関係を築く場とする。
- ・ 相手の思いを受け入れたり、自分の考えや思いを伝える力を育てる。
- ・ 地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4. 研究計画

(1) 研究テーマ

「夢中になって遊ぶ子どもの育成をめざして」

(2) 研究内容

- ・ 夢中になって遊ぶ環境設定を探る。
- ・ 保育の振り返りや、職員間でのカンファレンスを行い、保育の内容の改善や質の向上に努める。
- ・ 小学校教育との円滑な接続に向けた視点から、実践内容を記録として残す。

5. 日課表

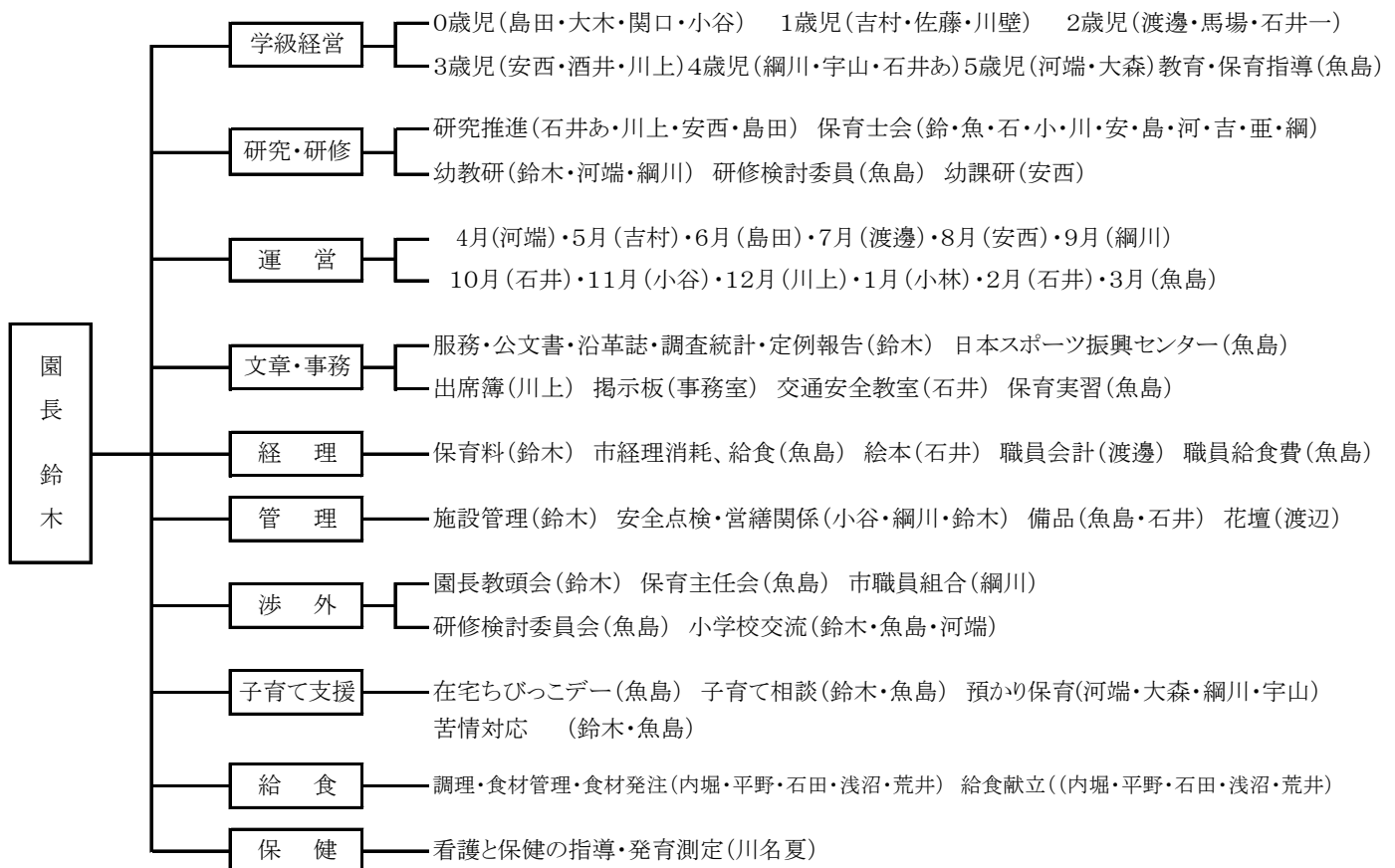
	7:00	8:50	9:00	12:00	13:30	14:00	15:00	16:00	18:00
4, 5歳児(短時間児)		登園	降園、預かり保育						
4, 5歳児(長時間児)	随時登園	移動	幼保一元化カリキュラムに基づく指導			午睡		おやつ、遊び	
0～3歳児	遊 び			午睡				随 時 降 園	

6. 学級編成・担任

(令和7年5月1日現在)

組名	年齢	男	女	合計	担任名	職名	氏名
ちゅうりつ組	0歳児	2	4	6	小谷香子・島田理沙・大木綾子(会)・関口奈緒(会)	園 長	鈴木 直子
も も 組	1歳児	7	3	10	吉村萌海・佐藤智子(会)・川壁美紀(会)	保育主任	魚島 真紀
さくら組	2歳児	5	8	13	渡邊亜美・馬場一枝(会)・石井一美(会)	看護師	川名 夏美(会)
たんぼぼ組	3歳児	8	2	10	川上あゆみ・安西 渉・酒井英里香(会)	調 理 士	内堀 啓子(会)
すみれ組	4歳児	8	8	16	石井あゆみ・綱川星奈・宇山桃代(会)		平野 朝美(会)
ゆり組	5歳児	9	4	13	河端真弓・大森千佳子(会)		石田 梢(会)
合 計		39	29	68	フリー 川間るみ子(会)・渡邊由子(会)		浅沼 裕子(会)
					* (会)・・・会計任用職員	保育補助員	荒井 絵美(会)
						保育補助員	鈴木智恵子(会)
							渡辺 美樹(会)

7. 運営組織・園務分掌



8. 沿革

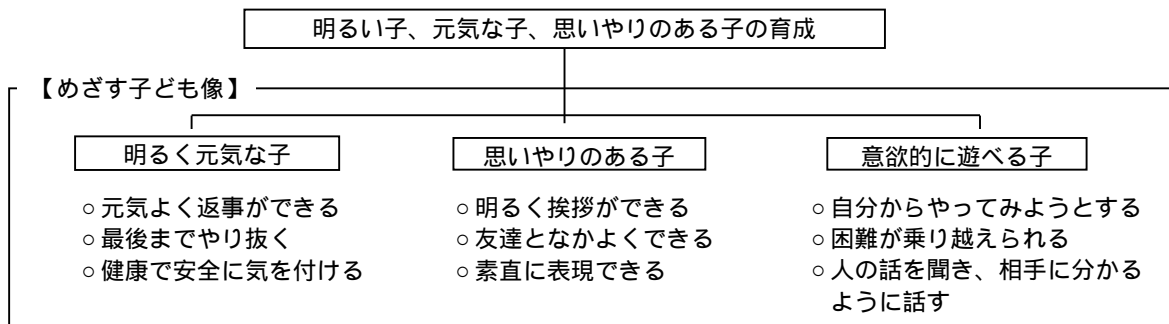
- 昭和33. 4 館山市立船形小学校附属幼稚園として設立。学級数1、園児数35名
41. 4 小学校附属制を廃し、館山市立船形幼稚園となる。
43. 4 二年課程認可 学級数 年長2、年少1 園児数92名
45. 4 兼務園長制を廃し、専任園長制となる。
51. 4 専任園長制を廃し、船形小学校長兼務となる。
57. 4 年齢別学級の編制をとる。学級数 年長2、年少1 園児数94名
58. 3 新園舎竣工341㎡、鉄筋コンクリート平屋建、保育室4、教材室1、機械室1、職員室1
- 9 アスレチック設置
60. 2 館山市教育委員会指定健康教育(はだか、はだし)公開研究会
- 平成 元. 12 砂場遊具用倉庫完成
3. 9 船形幼稚園めだかクラブ、関東管区表彰を受ける。
4. 5 船形幼稚園の園歌できる。(作詞 柴山齋、作曲 佐野正己)
5. 4 平成5・6年館山市教育委員会指定研究委嘱される。
7. 1 船形幼稚園めだかクラブ、交通安全優良団体全国表彰を受ける。
7. 3 館山市教育委員会指定研究発表「自分を表現し、生き生きと遊べる子の育成」
7. 7 全校幼稚園教育研究会岐阜大会において船形幼稚園研究提案を発表する。
8. 5 船形幼稚園父母の会、千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会より表彰を受ける。
10. 10 学校給食導入
12. 5 大型遊具設置(少子化対策事業)
13. 4 平成13・14年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。
14. 2 館山市教育委員会指定研究報告を行う。
18. 4 平成18・19年度館山市教育委員会指定研究委嘱される。預かり保育実施(月～金曜日3時まで)
19. 2 館山市教育委員会指定研究報告、誌面にて発表。
24. 11 幼保一元化施設整備工事完了。
25. 4 船形幼稚園と船形保育園が幼保連携型認定こども園となり、館山市立船形こども園として開園する。
27. 7 総合遊具設置



館山市立那古幼稚園

所在地 館山市那古272
電話 0470-27-4502
FAX 0470-27-4502

1. 教育目標



2. 経営方針・重点

(1) 経営方針

経営：「あしたも行きたい幼稚園」をめざし、生きる力の基礎を養い、創意ある教育課程の実施。地域に開かれ、保護者に信頼される園づくりと園評価の実施。小学校との円滑な接続を意識した幼稚園経営。

保育指導：教育目標の実現をめざす教育計画の着実な実践。多様な遊びを通して豊かな感性や道徳性の育成。発達段階に即した指導と変容的確な把握。読書の推進。

生活習慣：豊かな心の育成と望ましい人間関係づくりをすすめる。自立心と好ましい生活習慣が身につくよう援助。

健康教育：体を動かし、健康で安全に生活しようとする意欲・多様な動きを経験し、健康的な生活をしようとする実践力の育成。食に関する指導の充実。

キャリア教育：当番活動等を通して、自発的・主体的な活動を促す。

研修：教師の資質・能力を高める実践研究を行い、研修活動に積極的に参加する。教育要領に基づく指導計画のPDCAサイクルの実施。

環境：園内運動施設や自然環境、絵本や教具等の整備・活用。

(2) 重点

明るく元気な子の育成

○ 幼児が十分に体を動かし、健康で安全な生活を送れるようにしながら、しなやかな心と体の発達を促す。

思いやりのある子の育成

○ 集団生活の中で人のかかわり方を知り、望ましい生活態度や習慣を身に付けられるようにする。

意欲的に遊べる子の育成

○ 遊びを作り出して、意欲的に打ち込める環境を用意する。

(3) 開かれた幼稚園づくりの推進

いつでも参観できる開かれた幼稚園づくりと園情報の発信

ボランティアや保護者との連携による諸活動の推進

預かり保育の実施等、「子育て支援センター」としての役割を果たすよう努力

3. 研究計画

(1) 研究テーマ「道徳性の芽生え」を支援する保育のあり方～小学校教育への接続を見据えて～

(2) 研究内容 思いやりや生命を大切にできる心を育てる支援。

自分の思いを自分なりに表現する環境や活動の工夫をする。

家庭や小学校との連携を深め、就学へつながる道徳性の芽生えのあり方を探る。

4. 日課表

7:30	8:00	9:00		14:00	15:00		16:30	18:00
	準備	←	教育課程時	→	預かり保育	記録 清掃	教材研究 職員会議	準備 事務
預かり保育 (なかよし保育)			預かり保育(なかよし保育)					
* 園内研修			木曜日					
* 幼小教研			第2水曜日					
* 園長教頭会			第1火曜日					

5. 学級編制・職員構成

(令和7年5月1日現在)

職 名	氏 名	組 名	年 齢	在籍数		
				男	女	計
園 長	山口 幸司					
教 頭	中山 宏子					
教諭主任	福原 友子	さくら	5 歳	8	3	11
教 諭	石井 貴哉	つばめ	4 歳	5	2	7
派遣教諭	平柳 敦子	計		13	5	18
派遣教諭	小原 明加梨					
教諭及び 教諭担任	田中 馨					
支援員	磯部 一美					
用務員	糟谷 節子					

6. 運営組織・園務分掌

山口 幸司 (園長) 全般	中山 宏子	教務...儀式・〇ちびっ子デー 事務...公文書・服務・定例報告・調査統計・防災 管理...施設管理
	平柳 敦子	教務...〇研究・交通安全教室・〇誕生会・〇園外学習 ◎ちびっこデー・◎用品・◎保健・〇幼小交流 事務...市経理(預かり保育)・学籍、出席簿・営繕 市内出張・給食 管理...安全点検・◎情報管理・図書・〇備品 渉外...交通安全教室
	福原 友子	教務...学級経営・研究・〇運動会・発表会 〇誕生会・◎園外学習・幼小交流 事務...市経理(消耗)・〇教材絵本・◎備品 〇保健・日本スポーツ振興センター 管理...〇安全点検・飼育栽培・視聴覚教材
	石井 貴哉	教務...学級経営・◎運動会・誕生会・〇発表会 事務...教材絵本・市経理(消耗以外)・〇用品 掲示 管理...〇安全点検・教材・〇情報管理・環境整備

7. 沿革

- 昭 29.4 那古小学校50周年記念事業の一環として、那古小学校附属幼稚園として創設される。
- 32.4 小学校校舎増改築成り、幼稚園は西側校舎3教室にて、一応経営が正常化される。
- 41.4 幼稚園の附属制を廃し、館山市立那古幼稚園となる。
- 43.4 2年年少組を増設される。
- 45.4 兼務園長制を廃し、独立専任園長制になる。
- 51.4 専任園長制を廃し、兼務園長制となる。
- 52.4 3学級となり、混合学級(年長・年少)設置。
- 54.4 入園児の増加により、4学級となる。
- 56.4 3学級となり、混合学級となる。
- 57.4 入園児の増加により4学級となる。
- 57.5 市教委より2ヵ年間の研究指定を受ける。
- 60.4 入園児の減少により3学級となる。
- 61.2 新園舎竣工。
- 61.4 アスレチック設置。
- 62.4 入園児の増加により4学級となる。
- 63.11 62・63年度市教委指定による公開研究会を行う。
- 平 元.4 交通安全教育推進地域事業の中心園として市教委より指定を受ける。併せて日本交通安全普及協会から2ヵ年間の交通安全教育の研究指定を受ける。
- 元.11 市教委指定による交通安全教育推進地域事業の中間発表を行う。
- 2.4 入園児の減少により3学級となる。
- 2.4 日本体育・学校健康センター指定により、2ヵ年間の交通安全教育に関する研究指定を受ける。
- 2.11 交通安全教育推進地域事業公開研究会(全国)を開催。
- 3.4 入園児の減少により、2学級となる。
- 4.3 日本体育・学校健康センター指定 第27回学校安全研究大会において研究発表。
- 4.7 シャワー室設置。
- 11.1 全日本交通安全協会より、交通安全優良団体表彰を受ける。
- 12.1 大型遊具設置(少子化対策事業)
- 13.4 市教委より2ヵ年間の研究指定を受ける。

- 14.4 入園児の増加により、3学級となる。
- 15.2 13・14年度市教委指定による研究報告会を行う。
- 16.4 入園児の減少により、2学級となる。
- 17.1 那古幼稚園50年記念事業により園歌・園章を制定する。
- 18.4 市教委より2ヵ年間の研究指定を受ける。
- 20.2 研究報告書『より豊かに表現できる子をめざして』刊行。
- 26.4 市教委より2ヵ年間の研究指定を受ける。
- 28.3 研究報告書『友達のよさに気づき、協同して遊ぶ子どもをめざして』刊行。
- 令 3.4 県教委より「特色ある道德教育推進校」(2ヶ年)研究指定を受ける。
- 4.4 長時間預かり保育(なかよし保育)開始。
- 4 県教委指定「特色ある道德教育推進校」公開研究会3回実施。
- 5.11 千葉県教育委員会教育功労者賞受賞。



館山市立館山幼稚園

所在地 館山市沼47

電 話 0470-22-0632

FAX 0470-22-0632

1. 教育目標

「楽しく遊べる子ども」を育てる。

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------------|
| (1) 仲よく遊べる子ども | ・ 友達の思いに気づく子 | ・ 経験を生かして遊べる子 |
| (2) 力いっぱい遊べる子ども | ・ 伸び伸びと体を動かして遊ぶ子 | ・ 健康や安全に気をつける子 |
| (3) 遊びを創り出せる子ども | ・ 自分からやってみようとする子 | ・ 自分の思いや考えを遊びの中で表現できる子 |

2. 経営方針・重点

(1) 経営方針

- ・ 友達とのかかわりをもつ力を育てる。
- ・ 幼児が十分に体を動かし、主体的にかかわれるような環境の整備を図る。
- ・ 健康で安全な生活の基礎的な習慣の育成を図る。

(2) 指導の重点

- ・ 家庭との連携を深め、「基本的生活習慣」・「規範意識」・「道徳性」の芽生えを培い、互いに認め合う温かな人間関係づくりに努める。
- ・ 身近な環境にかかわることができるよう、幼児理解に基づいた意図的・計画的な環境構成に努める。
- ・ 館山小学校・地域・家庭との連携を図り、小学校への円滑な接続ができるようにする。
- ・ 防災教育の充実と家庭・地域と連携した、安全で信頼される幼稚園づくりの推進に努める。

3. 研究計画

(1) 研究テーマ『豊かな体験を通して、主体的に遊ぶ幼児の育成をめざして』

～遊びを支える教師の援助の在り方を探る～

(2) 内容

- ・ 身近な環境に関わる体験の中で幼児の育ちの過程を追いながら、必要な援助や環境構成を探る。
- ・ ティーム保育やカンファレンスを通して幼児の育ちを客観的に捉え、必要な援助を共通理解する。
- ・ 幼児期の経験と小学校教育とのつながりを見据え、目の前の子どもたちとのかかわり方を検討し、実践する。

4. 日課表

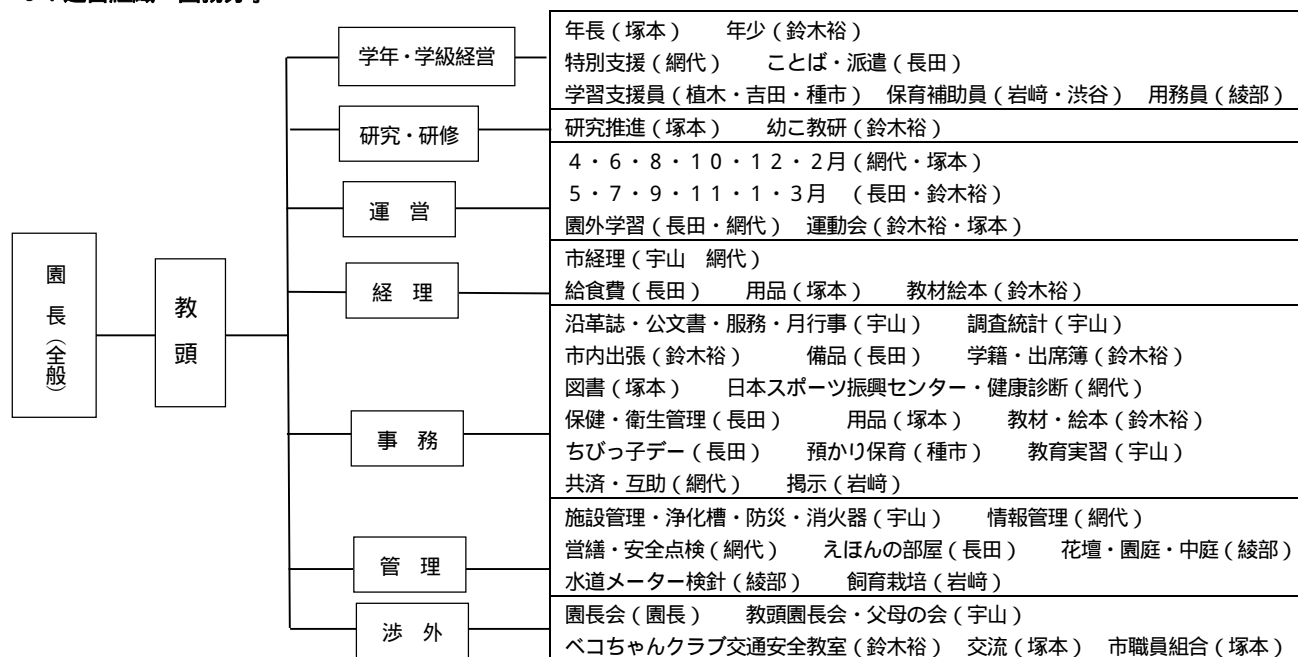
8:15	8:45		14:00	15:00		16:45	月(第2)	職員会議
準備	幼稚園教育課程時		預かり保育	清掃・教材研究		火木金	学年会	園内研修
				園内研修・研修・反省記録・事務			教材準備	

5. 学級編制・職員構成

(令和7年5月1日現在)

職 名	氏 名	組 名	年齢	在 籍 数			職 名	氏 名
				男	女	計		
教 諭	鈴木 裕紀	みかん	4歳	3	6	9	園 長	鈴木 賢一
教 諭	塚本 友紀子	ゆ り	5歳	11	3	14	教 頭	宇山 かおる
教諭主任	網代 さおり	いちご	4歳	(2)	(0)	(2)	用務員	綾部 恵美子
教諭主任	網代 さおり	いちご	5歳	(3)	(0)	(3)	学習支援員	植木 陽子
		4歳児合計		5	6	11		吉田 美紀子
		5歳児合計		14	3	17		種市 祥子
		合 計		19	9	28	保育補助員	岩崎 綾香 渋谷 幹紀

6. 運営組織・園務分掌



7. 沿革

- 昭和5. 4. 10 園児93名を收容し、開園式を挙げる。館山尋常高等小学校内(館山317)に園舎を定める。
小学校長が園長を兼務する。
20. 4. 1 第2次大戦のため、1ヶ年休園となる。
21. 4. 5 園児190名を旧城山海軍兵舎跡に收容し開園する。
28. 4. 3 園児323名に増加のため、小学校の講堂に2組を收容。
29. 1. 1 園児160名、3組が新園舎に移る。
31. 6. 10 園舎を改築して城山より移転、全園児を收容する。
9. 6 県有地191坪を借用、園庭を拡張する。
42. 2. 10 文部省指定公開研究会
43. 11. 1 南園舎3教室を新築する。
45. 4. 1 専任園長制となる。
48. 10. 1 園舎2教室を新築する。
51. 4. 1 専任園長制を廃し、小学校校長兼務となる。
52. 12. 1 市教委指定研究公開研究会 「生き生きとした子ども像を求めて」
56. 12. 6 安房・君津地区公立幼稚園協会指定公開研究会
57. 11. 30 新園舎用地造成工事完了
59. 3. 15 新園舎完成
60. 1. 31 遊戯室完成
60. 12. 11 市教委指定研究公開研究会 「楽しく遊べる子どもを育てる」
62. 12. 10 市教委指定研究公開研究会 「幼児の社会的適応を考える」
- 平成3. 11. 27 市教委指定研究公開研究会 「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
7. 10. 19 第33回千葉県国公立幼稚園PTA研究協議会「館山大会」開催 於館山市民センター
7. 11. 21 市教委指定研究公開研究会 「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
8. 5. 17 平成8年度千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会定期総会開催
10. 4. 1 平成10・11年度千葉県指定「生徒指導推進地域」
10. 8. 31 教材室1を給食配膳室に改築工事完了
10. 10. 1 給食開始となる。
11. 11. 17 平成11年度新規採用教員研修会で公開保育と研究発表
12. 2. 2 市教委指定研究会公開研究会 「人とのかかわりをもつ力を育てる指導のあり方」
16. 2. 16 市教委指定研究会公開研究会 「小さな気付きから広がる幼児の世界」
17. 11. 18 特別支援振興大会参加
20. 10. 22 平成20年度新規採用教員研修会で公開保育と研究発表
21. 3. 市教委指定研究誌面報告(研究紀要発行)
28. 12. 2 館山小学校幼稚園合同「授業力」向上実践研究会授業公開
29. 11. 2 館山小学校幼稚園合同「授業力」向上実践研究会授業公開
30. 3. 市教委指定研究報告 「意欲的に遊びや友達とかかわる幼児をめざして」
- 令和4. 10. 5 令和4年度幼稚園等初任者研修で公開保育
6. 3. 18 市教委指定研究誌面報告(研究まとめ発行)

館山市立西岬幼稚園

所在地 館山市加賀名 151

1. 教育目標とめざす子ども像

(1) 教育目標

友達と仲良く 楽しく遊ぶ子どもの育成
～ひとりでできる みんなでできる～

(2) めざす子ども像

- 思っていることを はっきり話せる子
 - ・ 自分からやってみようとする子
 - ・ 健康や安全に気をつける子
 - ・ 友達と一緒に食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする子
 - ・ 基本的生活習慣が身についている子

(3) めざす教師像

- ・ 元気にあいさつができる子
- ・ 自分の思いや考えを遊びの中で表現できる子
- 明るく 思いやりのある子
 - ・ 友達に親切にし、譲り合える子
 - ・ 素直に感動できる子
- 仲良く 力いっぱい元気に遊べる子
 - ・ 戸外で伸び伸びと体を動かして遊べる子
 - ・ 子どもの目の高さで話を聞き、子どもの思いや願いに気づく教師
 - ・ 一人一人の子ども良さや可能性を認め、伸ばしていく教師
 - ・ 子どもの育つ環境を工夫できる教師
 - ・ 互いに信頼し、協力しあう教師
 - ・ 保護者・地域から信頼される教師

2. 西岬幼稚園教育のめざす姿

* 教育目標達成のための教育課題やめざす子ども像について、共通理解を図る。

- ・ 集団生活の中で人とかかわり方を知り、望ましい生活態度や習慣を身につける。
- ・ 自然や身近な動植物に親しませる。
- ・ 幼児が、教師や他の園児、西岬小学校児童・教職員・地域の人々との温かい触れ合いをとおして、人とかかわることの楽しさを味わえるような日々の活動や交流を計画する。
- ・ 幼児が自分の思いを言葉で伝え合うことや、規範意識の芽生えを培うことができるような指導・援助に努める。
- ・ 身近な環境に進んでかかわることができるように、幼児理解に基づいた意図的、計画的な環境構成に努める。
- ・ 幼児の活動の様子や、心身の健康状態、食習慣等を把握し、発達の過程や地域の環境に合わせた指導計画の工夫や改善に努める。
- ・ 防災教育の充実と家庭・地域と連携した安全で信頼される幼稚園づくりの推進に努める。

3. 研修計画

(1) 研究主題

「仲間づくり」 ～言葉で伝え合う子どもたちを求めて～

(2) 研修内容

- ・ 子どものありのままの姿からその内面（どんな思いをもっているのか）を探り、理解を深める。
- ・ 子どもが自分の思いを出していく過程を追いながら、伝え合いの基礎を培う教師の援助を探る。
- ・ 子どもの興味・関心に合った環境構成の工夫をする。
- ・ 遊びの中で子ども同士をつなぎ、伝え合いを促していく教師の援助を探る。
- ・ コミュニケーション能力を育てる教材を研究し、実践する。
- ・ 絵本の読み聞かせをとおして豊かな言語表現や聞く力を育てる。
- ・ 教育研究会や講習会、実技研修会に積極的に参加する。

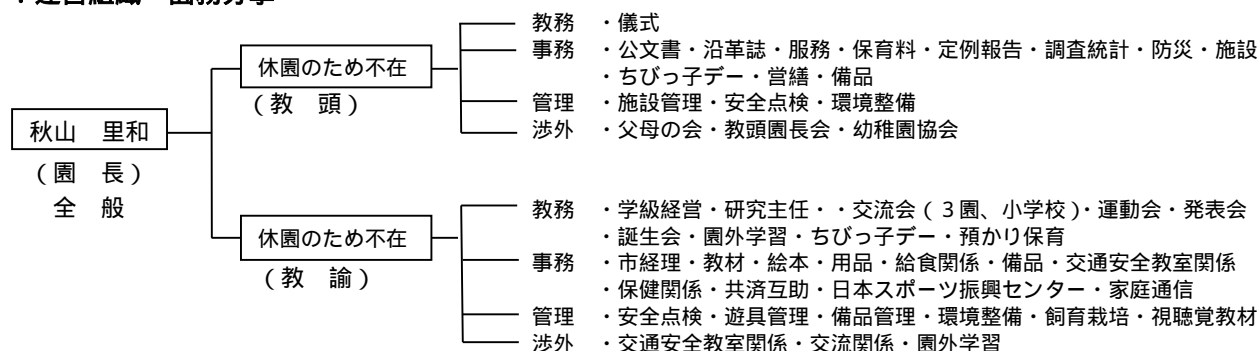
4. 日課表

8:00	8:40		14:00	15:00	16:30
準備		教育課程時		預かり保育	
(月～金)					整理清掃・環境整備・週案作成 教材研究・教材準備 職員会議・事務処理・研修

5. 学級編制・職員構成

職 名	氏 名	組 名	年 齢	在 籍 数		
				男	女	計
園 長	秋山 里和					
教 頭	休園のため不在					
教 諭	休園のため不在	か に	4	0	0	0
		え び	5	0	0	0
計				0	0	0

6. 運営組織・園務分掌



7. 沿革

昭41	5	4	館山市立西岬幼稚園として設立(1年課程)
42	8	31	砂場新設
42	11	8	安房地区公立幼稚園協会指定公開研究会
43	4	1	2年課程実施
45	4	1	館山市東小学校長兼務制を廃し、独立専任園長制となる
48	11	20	園歌制定
49	10	22	千葉県国公立幼稚園PTA連絡協議会より父母の会表彰される
51	4	1	専任園長制廃し、館山市立東小学校長兼務園長となる
53	12	7	館山市教育委員会指定公開研究会開催
58	2	27	園舎改築・記念式典挙行
58	3	28	園舎移転(館山市見物65番地より加賀名151番地へ)
61	1	25	倉庫新設
平成元	7	29	すべり台新設
3	6	29	ニューアスレチックジム新設
4	6	5	ニューアスレチックジム増設
6	10	4	シャワー室完成
12	2	5	職員用トイレ新設
14	4	1	複式学級編成となる
15	9	3	すべり台撤去
16	4		市教委より2年間の研究園に指定
16	7	17	すべり台新設
18	2	20	市教委指定合同研究報告会
19	10	20	木製アスレチック撤去・太鼓橋撤去
19	11	9	ニューアスレチック撤去
24	10	6	ジャングルジム新設
25	1	16	ベコちゃんクラブ、全日本交通安全協会より表彰を受ける
28	2	27	ブランコ・すべり台撤去
28	3	30	ブランコ新設
令和2	4	1	休園

館山市立房南こども園

所在地 館山市犬石 1496
 電 話 0470-28-2431
 F A X 0470-28-2431

1 保育・教育目標

『安心して元気に遊べる子どもを育てる』

- あひさつができる子 ○思いやりのある子 ○力いっぱい遊べる子

2 経営方針

- 0歳児から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
- 家庭や地域社会・小学校と連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。
- 子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を十分に発揮し健康な身心の発達が図れる環境設定を用意する。
- 養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3 経営の重点

- 家庭と連携を取りながら基本的生活習慣の確立や社会性、道徳性が身に付くよう援助する。
- 集団生活の中で人との関わり楽しさを知り、異年齢児の育ちや望ましい人間関係を築く場とする。
- 相手の思いを受け入れ、自分の考えや思いを伝える力を育てる。
- 地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4 研究計画

- (1)研究テーマ 『生き生きと遊ぶ子どもの育成をめざして』 ～小学校教育への接続を踏まえた保育の在り方を探る～
 (2)研究の内容 幼児期に培った力が小学校へ引き継がれるように、発達や学びの連続性を踏まえた保育の在り方を探り、保育内容を見直し、指導の改善を図る。

気持ちの安定を基盤に他者との触れ合いの中で自己を発揮し、自ら環境に関わり、遊びに取り組むことが出来る援助及び環境構成の在り方を探る。

保護者と連携し、家庭と協力し合いながら基本的生活習慣や生活リズムの定着を図り、自立を促す。

5 日課表

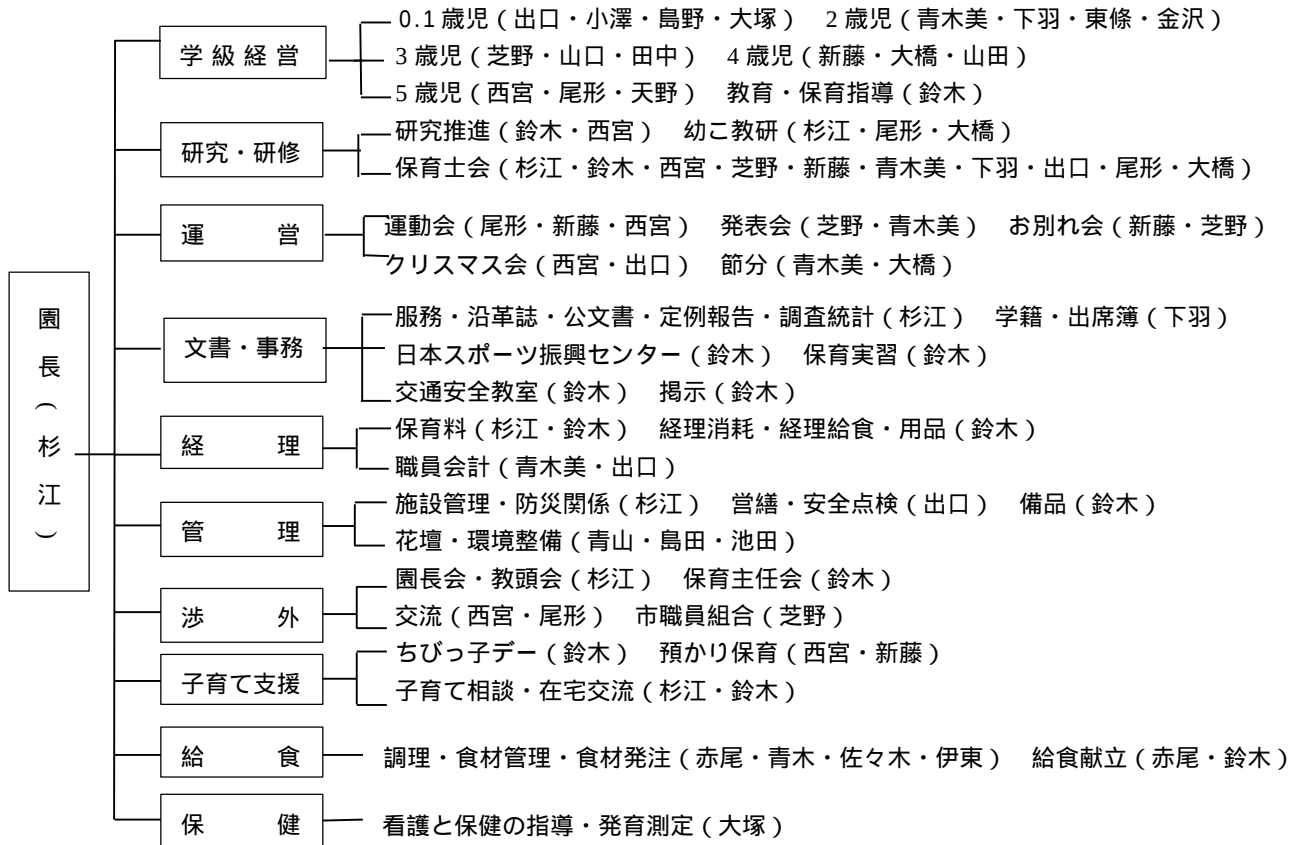
		7:00	8:50	9:00	10:00	11:00	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
4 ～ 5 歳児	短時間児	登園										預かり保育	降園		
	長時間児														
0 ～ 3 歳児	随時登園	移動										随時降園	遊び		
	随時登園														
		幼保一元化カリキュラムに基づく指導										おやつ			
		○午睡										○午睡			

6 学級編制・担当

(令和7年5月1日現在)

組 名	年 齢	男	女	小計	合計	担 任 名	職 名	氏 名
ちゅうりっぷ も も	0歳児	0	0	0	6	出口 琴音 小澤 真弓(会) 島野 由子(会)	園 長	杉江ひろ子
	1歳児	2	4	6				
さくら	2歳児	3	6	9	9	青木 美奈子 東條 公子(会) 下羽 ゆか 金沢 綾(会)	主幹保育教諭	鈴木 由美
	3歳児	6	6	12				
たんぽぽ	3歳児	6	6	12	12	芝野 史野 山口 博子(会) 田中 早葵(会)	調理士	赤尾真友子(会) 青木 恵子(会) 佐々木千恵(会) 伊東 昌恵(会)
	4歳児	4	8	12				
すみれ	4歳児	4	8	12	12	新藤 愛美 山田 奈央(会) 大橋 弘子	看護師	大塚利恵子(会)
	5歳児	4	9	13				
ゆ り	5歳児	4	9	13	13	西宮 真理子 天野 節子(会) 尾形 尚子	保育事務補助	青山はつみ(会) 島田 奈緒(会) 池田太香恵(会)
計		19	33	52	52			

7 運営組織・園務分掌



8 沿革

昭和 30. 9. 5	館山市神戸小学校附属幼稚園設立(本校に 2 組、洲崎分校に 1 組)
昭和 34. 6. 3	本校園舎落成
昭和 36. 4. 1	洲宮分園を廃し、本園に統合する
昭和 37. 3.13	安房地区幼稚園協会主催研究会
昭和 41. 4. 1	附属幼稚園を廃し、館山市立神戸幼稚園と改称する
昭和 45. 4. 1	園長専任制実施
昭和 49. 6.20	物置竣工
昭和 51. 4. 1	園長は小学校長兼任となる
昭和 52.10.28	館山市教育委員会指定による公開研究会
昭和 55. 3. 1	幼稚園新園舎落成
昭和 62. 6.10	通園路舗装
平成 2. 3.14	アスレチック新設
平成 2. 3	倉庫新設
平成 4.10.21	平成 3・4 年度館山市教育委員会指定公開研究会
平成 6. 9	昇降口改修工事完了
平成 12. 3	AV コーナー脇倉庫シャッター改修工事完了・園舎南側フェンス全面張り替え
平成 13. 2.13	館山市教育委員会指定による研究発表会
平成 17. 4. 1	閉園した富崎幼稚園を統合
平成 18. 2.20	館山市教育委員会指定合同研究報告会
平成 18. 2.28	開園 50 周年記念式典開催、50 周年記念誌発刊
平成 19. 9.30	交通安全功労団体として、関東管区警察局長・同交通安全協会連合会長より表彰
平成 20.11.30	幼保一元化改修工事完了
平成 21. 4. 1	房南保育園と幼保一元化となり、館山市立房南こども園として開園する
平成 24. 9.10	滑り台設置
平成 26. 1.17	交通安全優良団体として(一財)全日本交通安全協会会長より表彰される。
平成 28.12.1	太鼓橋撤去
平成 28.12.8	いもむし平均台・4 方向トンネル設置・門扉新設
令和 5.11.11	鉄棒設置

館山市立豊房幼稚園

所在地 館山市大戸 265-6

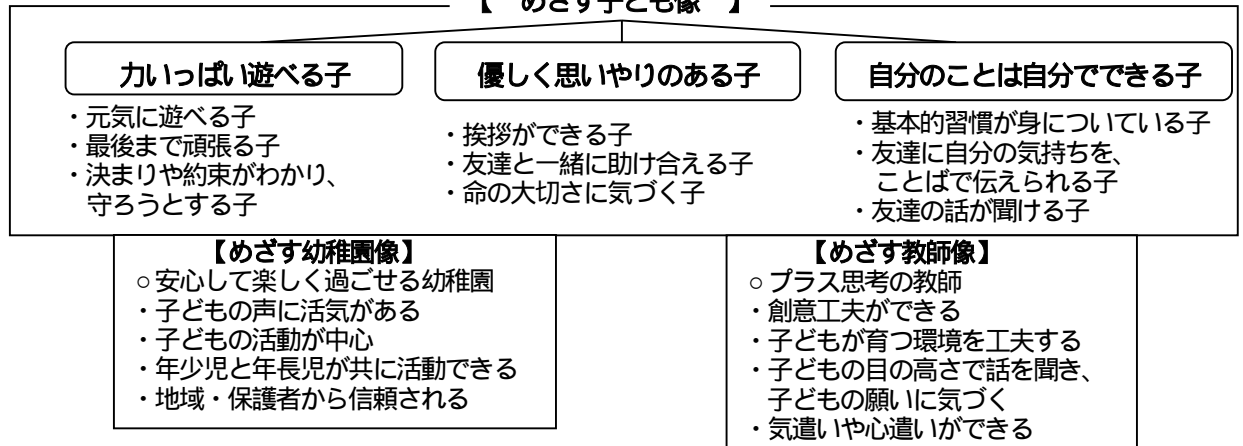
電 話 0470-23-5841

F A X 0470-23-5841

1. 教育目標

元気で明るく、心豊かな子どもの育成

【 めざす子ども像 】



2. 経営方針・指導の重点

(1)経営方針

- ・教育目標の実現をめざし、日々の教育実践の積み上げに努める。
- ・一人一人の持ち味や良さを見つけ、自由で楽しい中にも節度ある園生活を推進する。
- ・子どもの側に立った教育環境の整備・充実に努める。
- ・保護者・地域社会と連携し、開かれた園活動に努める。
- ・職員の資質・力量を高める研修の充実に努める。

(2)指導の重点

- ・一人一人を見つめ、遊びを柱として総合的な指導に努める。
- ・友達の話を聞き入れたり、自分の思いを言えたりできるように援助する。
- ・家庭との連携を深め、「基本的生活習慣」・「規範意識」・「道徳性」が身につくように援助する。
- ・家庭や小学校、地域の人たちと緊密な連携を図り、多様な経験をとあして「生きる力」の基礎を育てると共に、小学校への円滑な接続ができるようにする。
- ・預かり保育実施・子育て相談等、「子育て支援センター」としての役割を果たすように努力する。
- ・災害時等の避難行動の仕方を身に付け、安全に気を付けて行動できる等、防災についての意識づけに努める。

3. 研究計画

(1)研究テーマ 「自分の考えを伝え合いながら遊ぶ子どもの育成」

～言葉による伝え合いを育むための教師の援助を探る～

(2)研究内容

- ・子どものありのままの姿からその内面を探り、理解を深める。
- ・子どもが自分の思いを出していく過程を追いながら、伝え合いの基礎を培う教師の援助を探る。
- ・子どもの実態に合わせて環境構成や教材の工夫をし、豊かな言語表現や聞く力を育てる。

4. 日課表

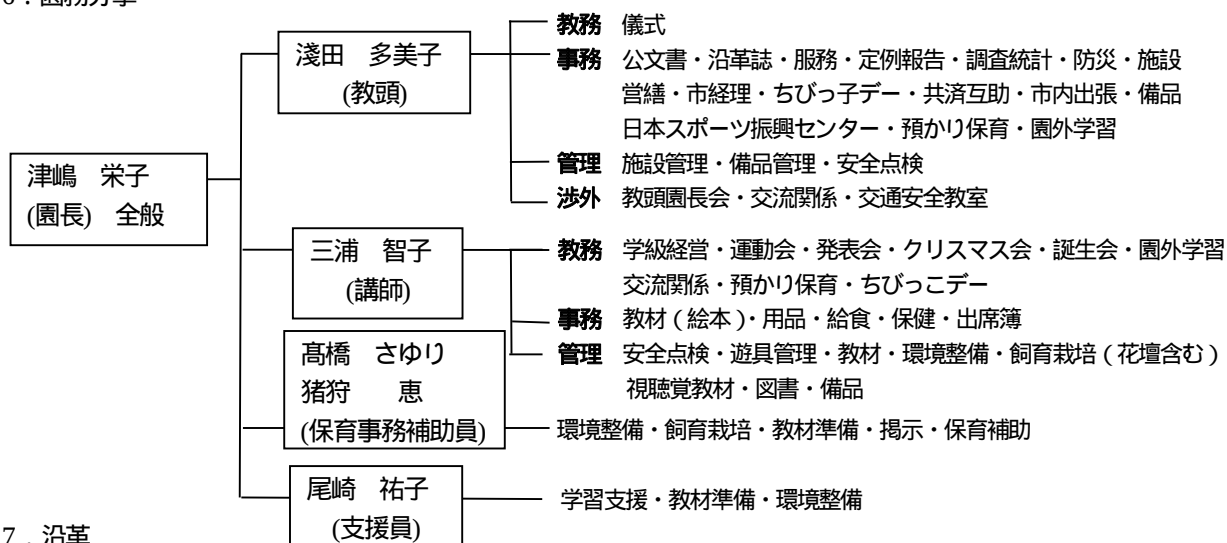
8:00	8:45	14:00	15:00	16:30
準備	→ 教育課程時 ←	預かり保育	清掃・教材研究・準備・記録 職員会議・研修・事務処理・職員作業等	

5. 学級編制・職員構成

(R 7 年 5 月現在)

職 名	氏 名	担 当	在 籍 数		
			男	女	計
園 長	津嶋 栄子				
教 頭	浅田 多美子				
講 師	三浦 智子	5 歳児 (ひばり組)	1	2	3
		4 歳児 (さくら組)	4	1	5
支援員	尾崎 祐子				
保育事務補助員	高橋 さゆり				
	猪狩 恵				
計			5	3	8

6. 園務分掌



7. 沿革

- S47.9 館山市立豊房幼稚園創立 5 歳児のみ 1 学級編成
- 47.11 館山市立豊房小学校図書室を借用し、保育を開始する。
- 48.3 園舎落成式
- 49.4 専任園長制を廃し、館山市立豊房小学校校長兼務となる。
館山市立豊房小学校教頭・養護教諭兼務となる。
増置教員が配置される。
- 55.4 幼児用アスレチック完成
- 58.11 幼稚園の歌発表会
- 61.9 保育室の床・壁面・ベランダ等の改修工事完成
- 62.8 4 歳児学級開設・2 年課程実施
- H 1.4 園舎東側に用具室完成
- 5.8 シャワー室及び小学校との通路完成
- 9.9 預かり保育実施 (火・金曜日のみ 3 時まで)
- 10.10 学校給食導入
- 10.10 豊房幼稚園ベコちゃんクラブ関東管区表彰
- 11.9 大型遊具設置 (少子化対策事業)
- 12.1 幼稚園補助員配置される。
- 14.5 園舎屋根の塗装、テラスの補修
- 14.8 PTA、父母の会による山林伐採作業
- 15.8 テラスの鉄柱塗装・幼稚園補助員制度終了
2 連式ブランコ及びテラス前の水道の屋根取り付け
豊房幼稚園ベコちゃんクラブ全日本交通安全教会より表彰
- 18.1 アスレチック、グローブジャングル撤去
- 19.8 市教育委員会指定研究・ (H 2 4 . 3 研究紀要発行)
- 22~23 旧鉄棒撤去 新鉄棒設置
- 26.3 園舎耐震補強・改修工事完了
- 27.2 築山校門側へ移動
- 28.3 旧大型遊具撤去・新大型遊具設置
- 31.3 保育室エアコン設置・園庭ブロック塀一部工事
- 4 園児数 5 歳 4 名、4 歳児 3 名のため複式学級編成となる
- R5.3 父母の会解散



館山市立館野幼稚園

所在地 館山市山本 1 0 2 8

1. 教育目標

生き生きとした子どもの育成

- (1) 楽しく遊べる子
- (2) 思いやりのある子
- (3) 最後までがんばりぬく子

2. 経営方針・重点

(1) 経営方針

- ア 主体的に遊びに取り組み，豊かな経験のなかから，心と身体の調和のとれた子どもを育てる。
- イ 身近な人に親しみ，かかわりを深めるなかで，人とのかかわる基盤を育てる。
- ウ 小学校及び家庭や地域社会との連携を密にした経営の推進を図る。

(2) 重 点

- ア 子どもが興味をもち，多様な遊びを生み出せるような環境を工夫する。
- イ 一人ひとりが安定した気持ちで園生活が過ごせるような配慮と援助のあり方を探る。
- ウ 年少・年長児が共に活動する場を多く取り入れ，子ども同士の育ち合いや思いやりの気持ちを育てていく。

3. 研究計画

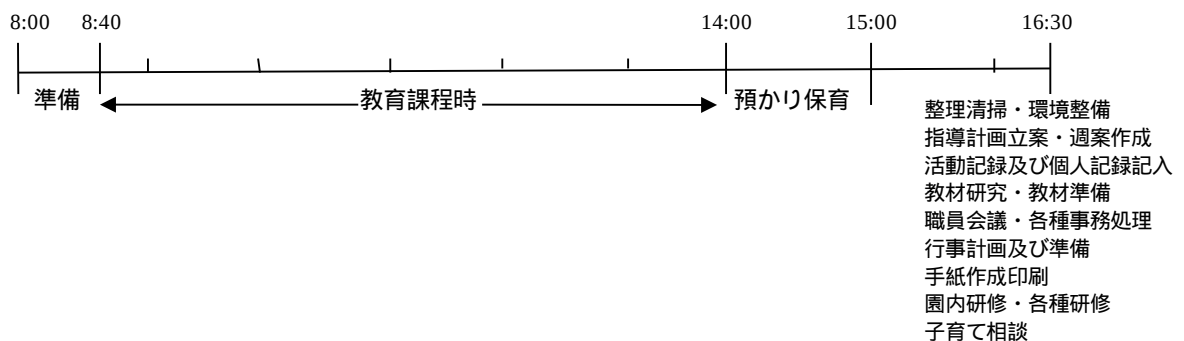
(1) 研究テーマ

遊びから学ぶ子どもの育成 ～心が動く遊びを通して～

(2) 研究内容

- ・子どもの遊びの姿を深く読み取り，一人ひとりの心の動きから学びを捉える。
- ・心を動かし，楽しみながら遊び込める環境の工夫と援助について探る。
- ・経験している学びを理解し，次の体験に必要な教材の工夫をしながら，学びをつなげる。
- ・保育の振返りや職員間でのカンファレンスを行い，保育内容の改善や質の向上に努める。

4. 日課表



5. 学級編制・担任

(令和7年4月1日現在)

職 名	氏 名	組 名	年 齢	在 籍 数		
				男	女	計
園 長	吉 井 典之					
教 頭	休園のため不在	* 豊房幼稚園と兼務				
教諭主任	休園のため不在	いちご	4 歳	0	0	0
		ひまわり	5 歳	0	0	0
保育補助員	休園のため不在					
計				0	0	0

6. 運営組織・園務分掌



7. 沿革

- 昭 46. 4 幼児教育の重要性和地域の要望により、館野小学校敷地内に開園、園児 24 名
開園と共に父母の会発足、園長は北条幼稚園長が兼務となる。
- " 49. 4 専任園長制を廃し、館野小学校長兼務園長となる。
- " 54. 3 園舎改築工事竣工
- " 54. 4 新園舎竣工と共に、4 歳児の就園はじまる。2 学級編制となる。5 歳児 37 名 4 歳児 22 名計 59 名。
- " 55. 2 定員(60 名)を上回る入園希望があり、教育委員会により定員(100 名)の決定がなされた。
- " 55. 4 園児数 5 歳児 32 名、4 歳児 47 名のため混合学級編制となる。
- " 55. 6 年齢別学級編制で 3 学級となる。5 歳児 55 名 2 学級、4 歳児 25 名 1 学級
- " 58. 2 園庭造成される(借用地)。
- " 59. 3 資料室増築される。
- " 60. 3 校庭拡張にともない園庭造成される(園庭遊具を移動)。
- " 60. 4 1 学級減じ 4 歳児 1 学級、5 歳児 1 学級となる。
- " 61.11 市教委指定による放送教育公開研究会を行う。
- " 62. 2 園庭借用地を返却し、体育館わきに固定遊具移動。
- " 63. 3 裏の空を駐車場として借用する。
- 平元. 2 砂場完成 屋外掲示板設置
- " 2. 8 玄関前にコンクリートを流し整備する。
- " 7. 9 遊具倉庫新設
- " 9. 4 市教委より 2 年間の研究園に指定。
- " 10. 2 園歌ができる。園歌歌詞額、父母の会により作成
- " 10. 3 大型遊具設置(少子化対策事業による)
- " 14. 9 門扉設置
- " 15. 4 市教委より、2 年間の研究園に指定
- " 16. 9 館野幼稚園ベコちゃんクラブ関東管区表彰を受ける。
- " 20. 4 教頭兼務(九重幼稚園)となる。
- " 22. 4 市教委より 2 年間の研究園に指定
- " 23. 1 ベコちゃんクラブ、全日本交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受ける。
- " 24.12 新体育倉庫完成
- " 25. 4 教頭兼務(西岬幼稚園)となる。 ~平成 27.3 まで
- " 26. 1 園舎耐震改修
- " 29. 4 教頭兼務(西岬幼稚園)となる。 ~令和 2.3 まで
- 令 2. 4 園児数 5 歳 4 名、4 歳児 6 名のため複式学級編成となる。 教頭兼務(豊房幼稚園)となる。
- " 4. 3 父母の会解散(役員負担軽減のため)
- " 6. 3 休園

館山市立九重こども園

所在地 館山市安東 7 5 1
電 話 0470-22-9800
F A X 0470-22-9800

1. 保育・教育目標

- 『安心してよく遊ぶ子どもの育成』（0歳～2歳）
『やさしく、明るく、たくましい子どもの育成』（3歳～5歳）
- あいさつのできる子
 - 決まりを守り、なかよく元気に遊ぶ子
 - やさしく思いやりのある子

2. 経営方針

- 0歳から就学前までの一貫した教育、保育方針に基づいて、乳幼児の育成を行う。
- 家庭や地域社会・他園・小学校と緊密な連携を図り、協力し合って活動的な運営に努める。
- 子ども達が発達に応じた教育を受けながら、安心して自己を充分に発揮し、健全な心身の発達が図れる環境設定を用意する。
- 養護と教育が一体となって、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を育成する。

3. 経営の重点

- ・ 家庭と連携を取りながら、基本的な生活習慣の確立や社会性、道徳性が身につくように援助する。
- ・ 集団生活の中で人との関わり方の楽しさを知り、異年齢間の育ち合いや望ましい人間関係を築く場とする。
- ・ 相手の思いを受け入れたり、自分の考えや思いを伝える力を育てる。
- ・ 地域の自然や人との触れ合いの中で、優しさや思いやりの心と感性を育てる。

4. 研究計画

- (1) 研究テーマ 「主体的に遊び、学ぶ幼児の育成」
～遊びを通しての総合的な指導～
- (2) 研究内容
- * 発達の段階にふさわしい環境を整える。
 - * 日々の保育を振り返り、効果的な指導方法を検討する。
 - * 就学に向けたカリキュラムを活用し、道徳性の芽生えの在り方を探る。

5. 日課表

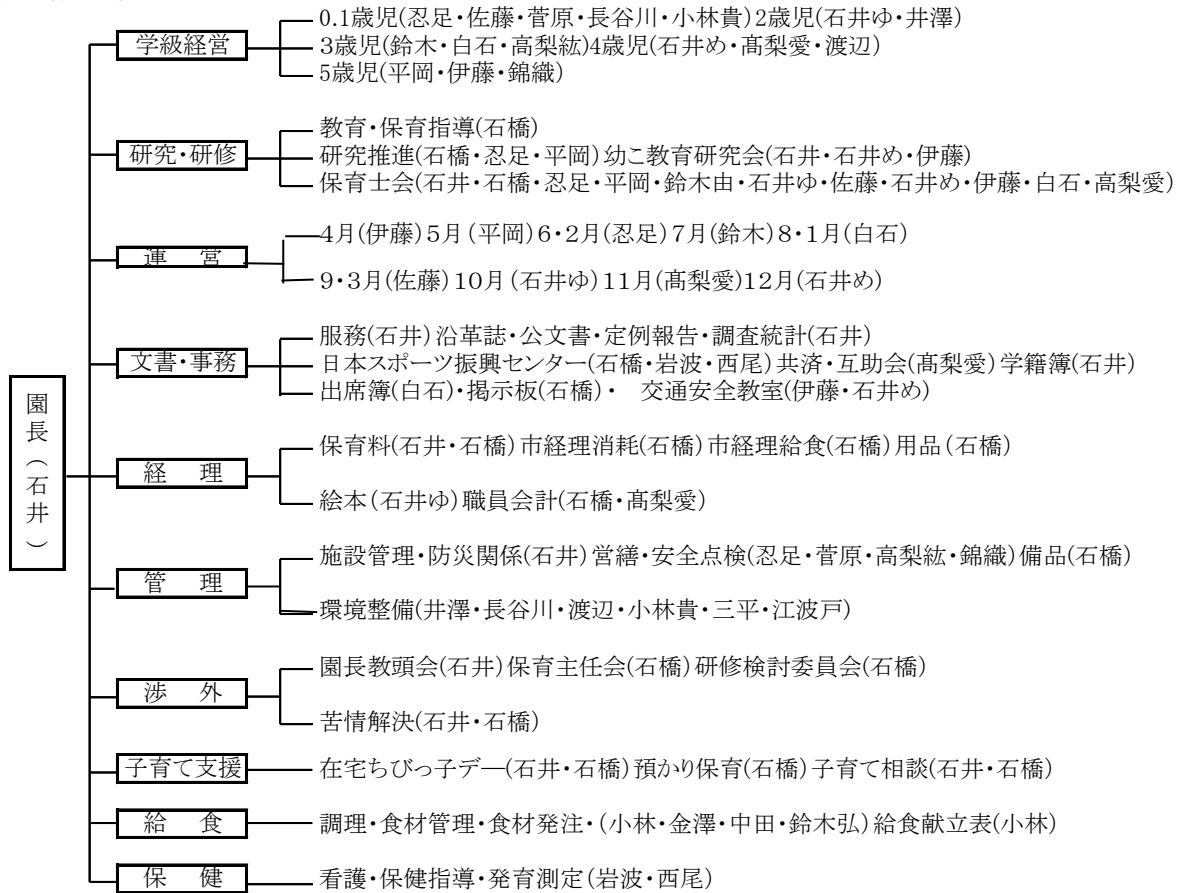
		7:00	8:50	9:00	12:00	14:00	15:00	16:00	18:00
4・5歳児	短時間児		登園	◎幼保一元化カリキュラムに基づく指導 ～午睡～			降園 預かり保育		
	長時間児		遊						
0～3歳児		随時登園	遊び	移動				おやつ	あそび 随時降園

6. 学級編制・担当

(R7. 5. 1現在)

組名	年 齢	男	女	小計	合計	担 任 名	職 名	氏 名
ちゅうりつぽも	0歳児	2	1	3	13	忍足 由美・佐藤有希子	園 長	石井千恵子
	1歳児	4	6	10		菅原 知子(会)・長谷川彩七(会)	主幹保育教諭	石橋 雅代
						小林 貴子(会)	調理師 (再) (会)	小林 園生 金澤千恵美 中田由美子 鈴木 弘子
さ く ら	2 歳児	4	5	9	9	石井ゆかり・井澤 純子 (会)		
た ん ぽ ぽ	3歳児	6	5	11	11	鈴木由美子 ・白石 美里 高梨 紘子(会)		
す み れ	4歳児	6	12	18	18	石井めぐみ・高梨 愛美 渡辺 晴香(会)	看護師(会)	岩波 明子 西尾 智美
ゆ り	5歳児	8	4	12	12	平岡由貴子・伊藤 佳織	保育補助兼保育事務(会)	三平 航輝
						錦織 久代 (会)	保育補助員(会)	江波戸美枝子
合 計		30	33	63	63	(会) は会計年度任用職員	(再) 再任用職員	

7. 運営組織・園務分掌



8. 沿革

- 昭和46. 4. 10 九重幼稚園として創立(園長は北条幼稚園長が兼務) 1年課程、1学級、園児25名
- 49. 4. 1 専任園長制を廃し、九重小学校長兼務園長となる。九重小学校教頭・養護教諭兼務となる。
- 51. 3. 31 九重小学校教頭・養護教諭兼務を解かれる。
- 53. 4. 1 増置教員が配置される。
- 56. 3. 29 園舎改築竣工式挙行
- 61. 8. 25 遊具倉庫完成
- 63. 3. 30 アスレチック設置
- 平成 4. 3. 27 園舎増改築(保育室1改築・室内倉庫増設)
- 4. 4. 1 2年課程実施(4歳児就園始まる)
- 6. 9. 30 関東管区交通安全協会より表彰される。
- 9. 1. 22 全日本交通安全協会より表彰される。
- 9.11. 4 預かり保育実施(火・金曜日のみ 3時まで)
- 10.10. 1 学校給食導入
- 11. 3. 9 幼稚園の歌「あくしゅして」完成発表会
- 12. 1. 21 大型遊具設置(少子化対策事業による)
- 14. 4. 1 広域交流職員として、鴨川市より1名配属される。
- 15. 4 市教委より2年間の合同研究指定を受ける。
- 17. 2. 23 合同研究報告会を行う。
- 17. 6. 20 職員室空調機設置
- 18. 4 預かり保育実施(月～金曜日 3時まで)
- 20. 4 教頭兼務となる(館野幼稚園)
- 22. 4 市教委より2年間の共同研究指定を受ける。
- 24.11. 30 幼保一元化改修工事終了
- 25. 4. 1 館山市立九重保育園と幼保一元化施設となり、館山市立九重こども園として開園する。
- 27.11.28 遊具新設(ポップロック)
- 28.2.29 九重小学校・こども園(幼児棟)耐震工事終了

学 校 教 育

小・中学校一覧

(令和7年5月1日現在)

番号	学校名	校長名	所在地	電話	児童生徒数	学級数	教員数
1	船形小	水上 賢治	船形 4 0 5 - 2	27-2528	68	9	12
2	那古小	山口 幸司	那古 2 7 2	27-2644	194	11	18
3	北条小	石川 康浩	北条 4 5 6	22-2141	559	27	42
4	館山小	鈴木 賢一	館山 3 1 7	22-2155	314	19	28
5	西岬小	秋山 里和	加賀名 1 5 1	29-0300	33	5	10
6	房南小	小澤 崇史	佐野 2 0 7 0	28-0059	97	9	14
7	神余小	小松 雄志	神余 1 3 6 3	28-0065	19	4	8
8	豊房小	津嶋 栄子	大戸 2 6 6 - 2	22-0950	44	7	12
9	館野小	吉井 典之	山本 1 0 2 8	22-1061	107	9	15
10	九重小	鈴木 美映子	安東 3	22-9803	58	8	13
小学校計					1,493	108	172
1	第一中	小池 弘	那古 9 5 4	27-2021	167	10	21
2	館山中	神子 純一	北条 1 4 5 2	22-0531	717	26	49
3	房南中	土橋 純也	佐野 2 0 7 0	28-0042	56	5	13
中学校計					940	41	83

(令和7年度学校基本調査資料による)

幼稚園・認定こども園一覧

(令和7年5月1日現在)

番号	園名	園長名	所在地	電話	園児数				学級数	教員数
					3歳児	4歳児	5歳児	計		
1	船形こ	鈴木 直子	船形 4 0 6 - 7	27-2524	(10)	(16)	(13)	(39)	(3)	(24)
2	那古幼	山口 幸司	那古 2 7 2	27-4502	-	7	11	18	2	5
3	館山幼	鈴木 賢一	沼 4 7	22-0632	-	11	17	28	3	5
4	西岬幼	秋山 里和	加賀名 1 5 1	29-0044	-	-	-	-	-	-
5	房南こ	杉江 ひろ子	犬石 1 4 9 6	28-2431	(12)	(12)	(13)	(37)	(3)	(18)
6	豊房幼	津嶋 栄子	大戸 2 6 5 - 6	23-5841	-	5	3	8	1	2
7	館野幼	吉井 典之	山本 1 0 2 8	23-1287	-	-	-	-	-	-
8	九重こ	石井 千恵子	安東 7 5 1	22-9800	(11)	(18)	(12)	(41)	(3)	(20)
合計					33	69	69	171	15	74
(私)	白百合こ	石垣 徹	船形 8 0 2	27-3303	30	27	27	84	5	17
(私)	O U R S	米倉 和昭	北条 4 0 2 - 2	22-0700	58	50	48	156	6	32
合計					88	77	75	240	11	49

(こども園は短時間児 + 標準時間児の合計人数)